

# (仮称) 流山市こども計画策定に関するニーズ調査 報告書【概要版】 (案)

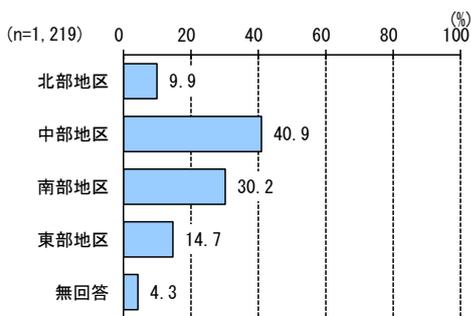
## ○ 調査の概要

対象者	・本市に在住する就学前のこども（0～5歳）をもつ保護者 2,000件 ・本市に在住する小学生（6～12歳）をもつ保護者 2,000件
実施期間	令和6年6月3日から令和6年6月21日
実施方法	郵送配布、郵送回答またはオンライン回答
回答結果	・就学前のこども 有効回答数 1,219件 有効回答率 61.0% ・小学生 有効回答数 1,225件 有効回答率 61.3%

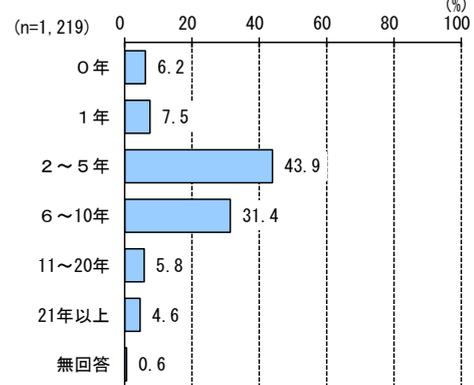
## 【就学前のこども】

### 1. 回答者の属性

【居住地区】（就学前のこども 問1）



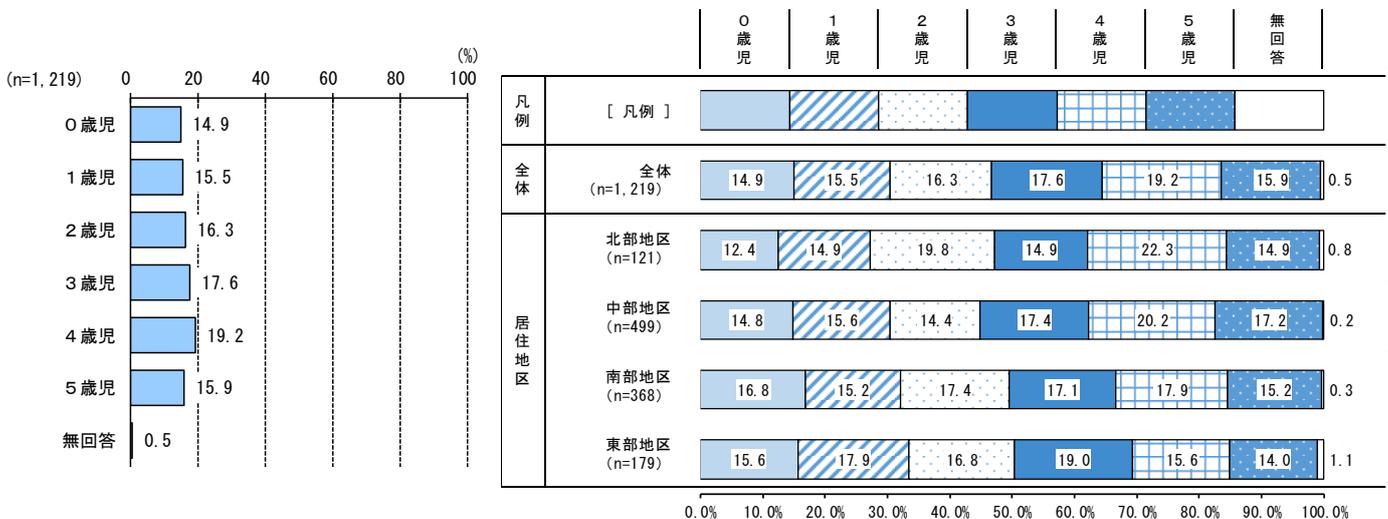
【居住年数】（就学前のこども 問1-1）



○居住地区は、中部地区が 40.9%で最も高く、南部地区が 30.2%、東部地区が 14.7%、北部地区が 9.9%となっています。

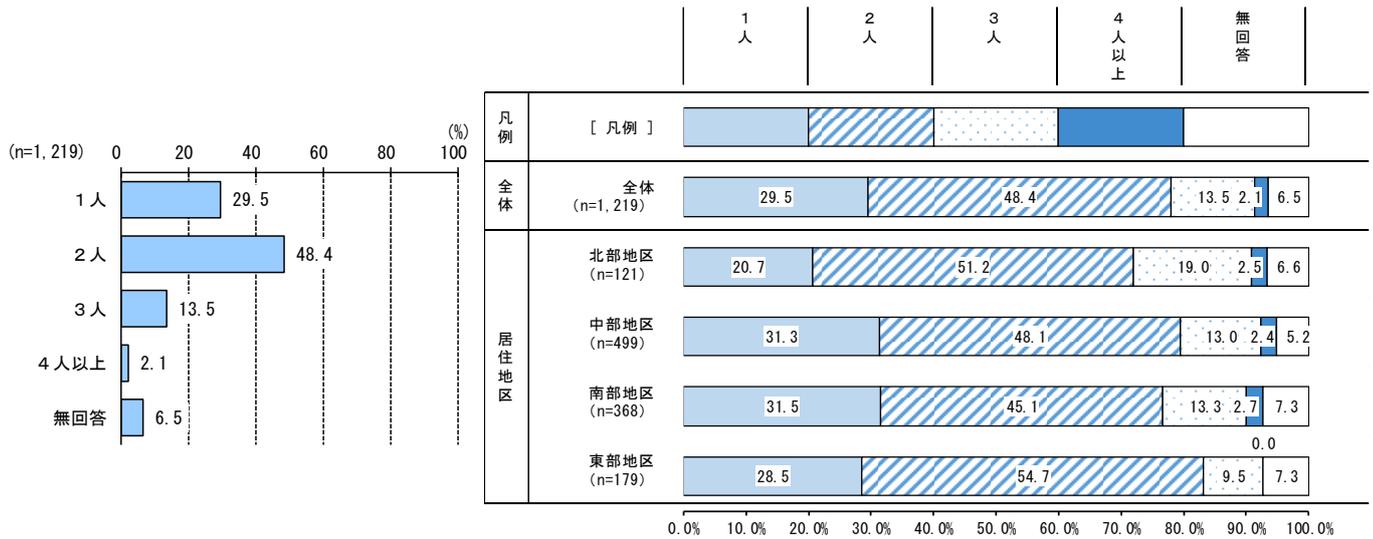
○居住年数は、2～5年が 43.9%で最も高く、次いで6～10年が 31.4%、1年が 7.5%となっています。

【対象児童の年齢】（就学前のこども 問2）



○対象児童の年齢は、全体で4歳児が 19.2%で最も高く、次いで3歳児が 17.6%、2歳児が 16.3%となっています。

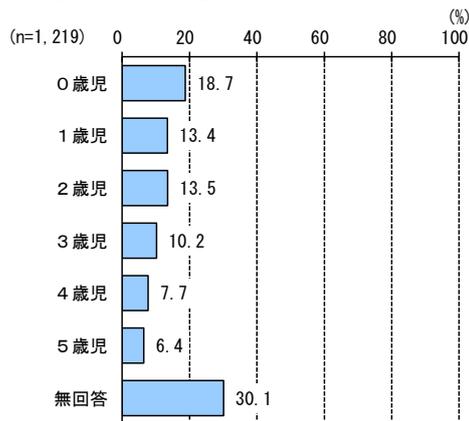
【きょうだいの人数】（就学前の子ども 問3）



○きょうだいの人数は、全体で2人が48.4%で最も高く、次いで1人が29.5%、3人が13.5%となっています。

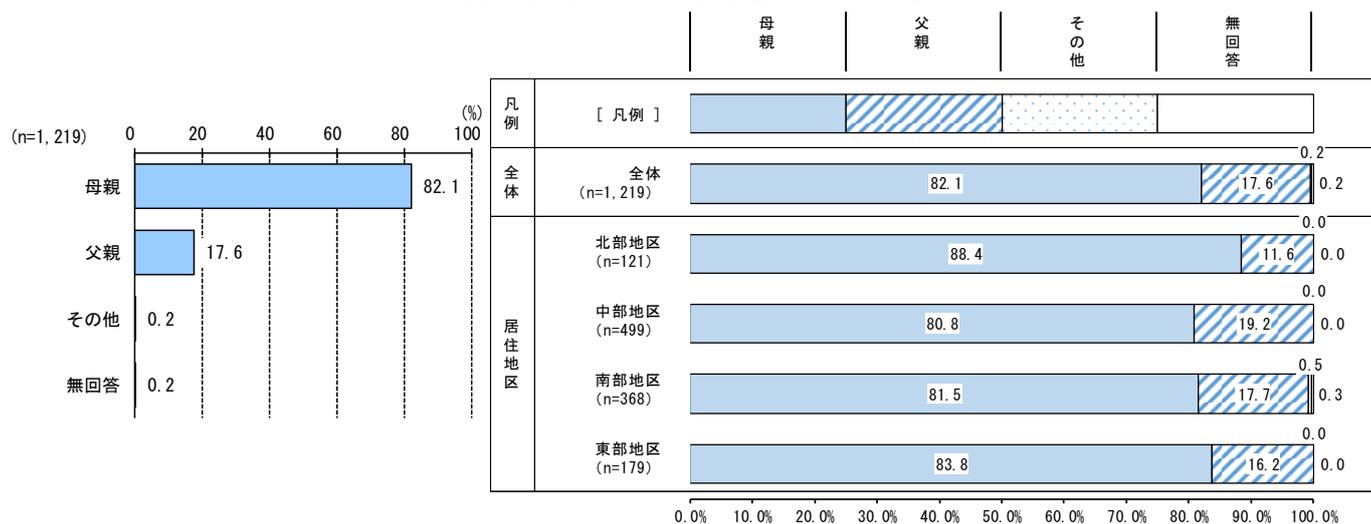
○居住地区別にみると、北部地区では1人が20.7%、東部地区では3人以上が9.5%で、いずれも他の地区より低くなっています。

【末子の年齢】（就学前の子ども 問3）



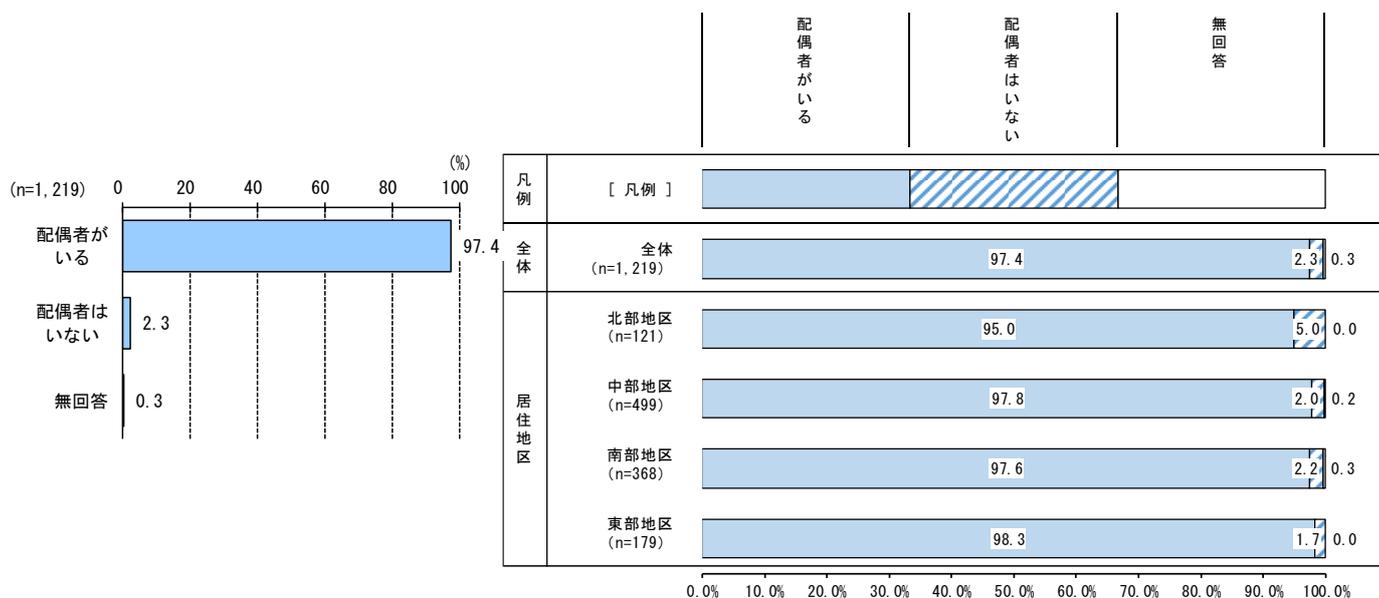
○末子の年齢は、全体で0歳児が18.7%で最も高く、次いで2歳児が13.5%、1歳児が13.4%となっています。

### 【調査票の回答者】（就学前の子ども 問4）



○調査票の回答者は、全体で母親が82.1%で最も高く、父親が17.6%となっています。  
 ○居住地区別にみると、北部地区では母親が88.4%で、他の地区より高くなっています。

### 【回答者の配偶関係】（就学前の子ども 問5）

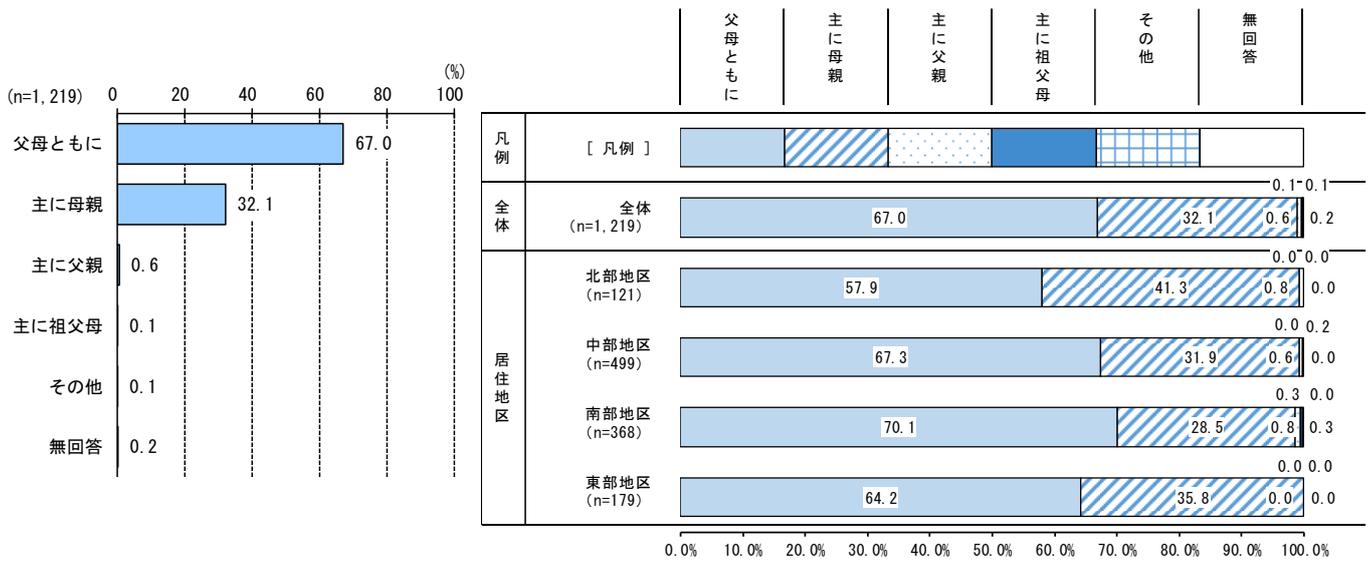


○回答者の配偶関係は、全体で配偶者がいるのは97.4%、配偶者がいないのは2.3%となっています。  
 ○居住地区別にみると、全体と同様の傾向となっています。

## 2. 調査結果

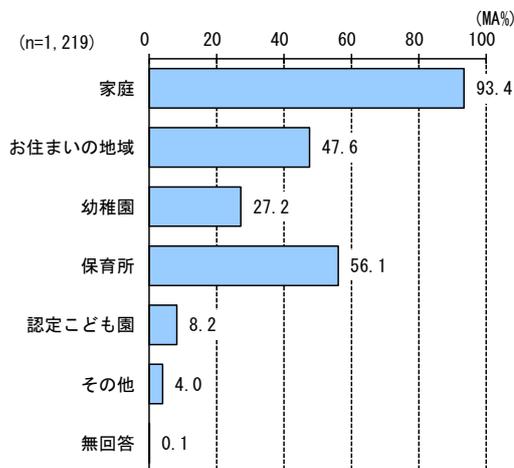
### (1) 主に子育てを行っている人の状況

【主に子育てを行っている人】(就学前のこども 問6)



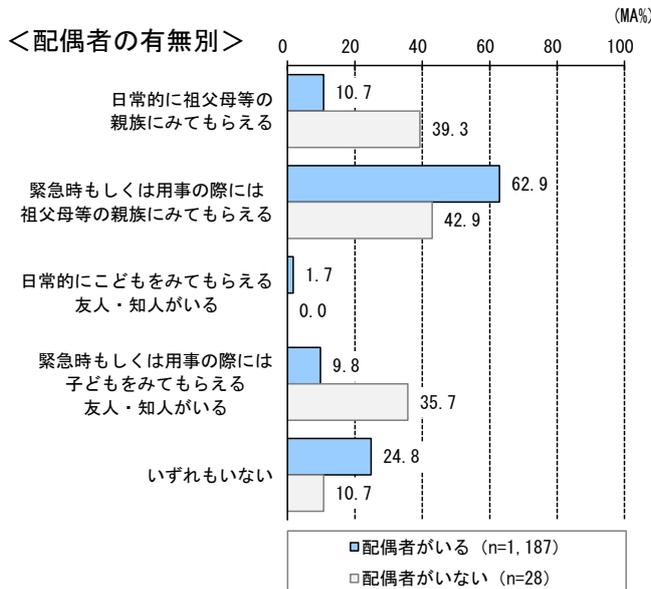
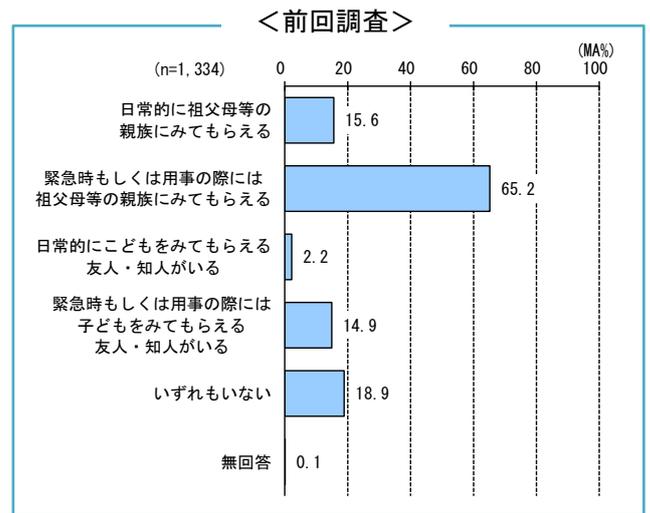
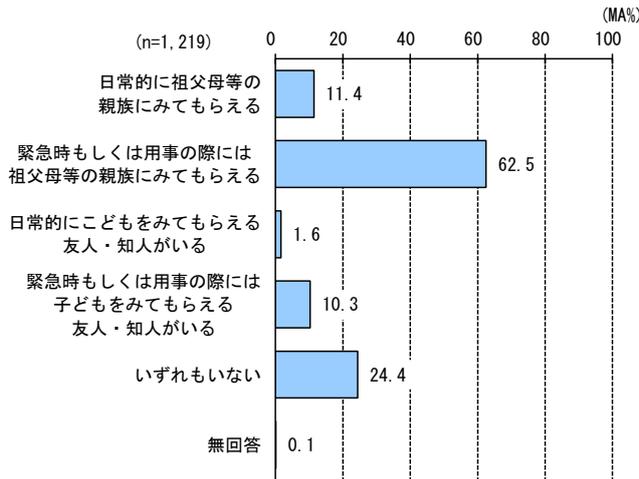
○主に子育てを行っている人について、全体では「父母ともに」が 67.0%で最も高く、「主に母親」が 32.1%、「主に父親」が 0.6%となっています。  
 ○居住地区別にみると、北部地区では「父母ともに」が 57.9%で、他の地区より低くなっています。

【子育てに最も影響すると思われる環境 (MA)】  
(就学前のこども 問7)



○子育てに最も影響すると思われる環境について、全体では「家庭」が 93.4%で最も高く、次いで「保育所」が 56.1%、「お住まいの地域」が 47.6%となっています。

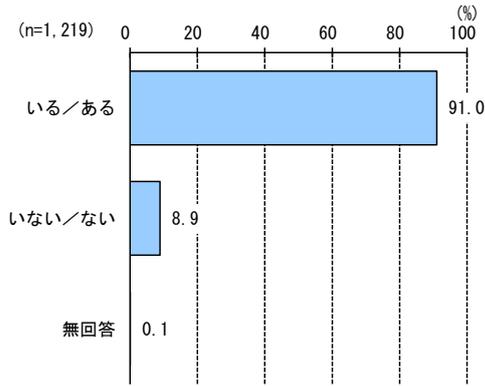
【子どもをみてもらえる親族・知人(MA)】(就学前の子ども 問8)



○子どもをみてもらえる親族・知人について、全体では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が62.5%で最も高くなっています。また、「いずれもない」は24.4%となっており、前回調査から5.5ポイント上昇しています。

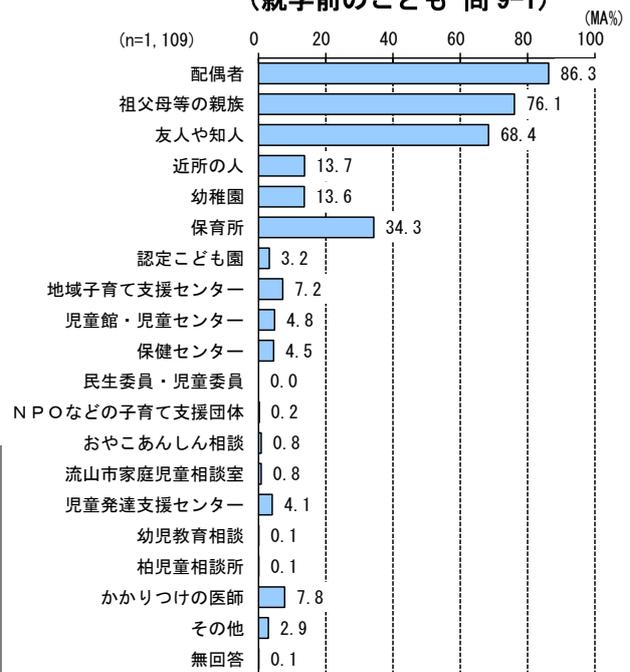
○配偶者の有無別では、配偶者がいない場合は「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がある」が、配偶者がいる場合を20%以上上回っています。

【子育てをする上で気軽に相談できる人・場所の有無】  
(就学前の子ども 問9)



○子育てをする上で気軽に相談できる人・場所がある／あるのは91.0%となっています。  
○相談できる人・場所は、「配偶者」が86.3%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が76.1%、「友人や知人」が68.4%となっています。

【子育てをする上で気軽に相談できる人・場所 (MA)】  
(就学前の子ども 問9-1)



【子育てをする上で今までに困ったこと、あればよいと考える周囲のサポート】抜粋 (就学前の子ども 問10)

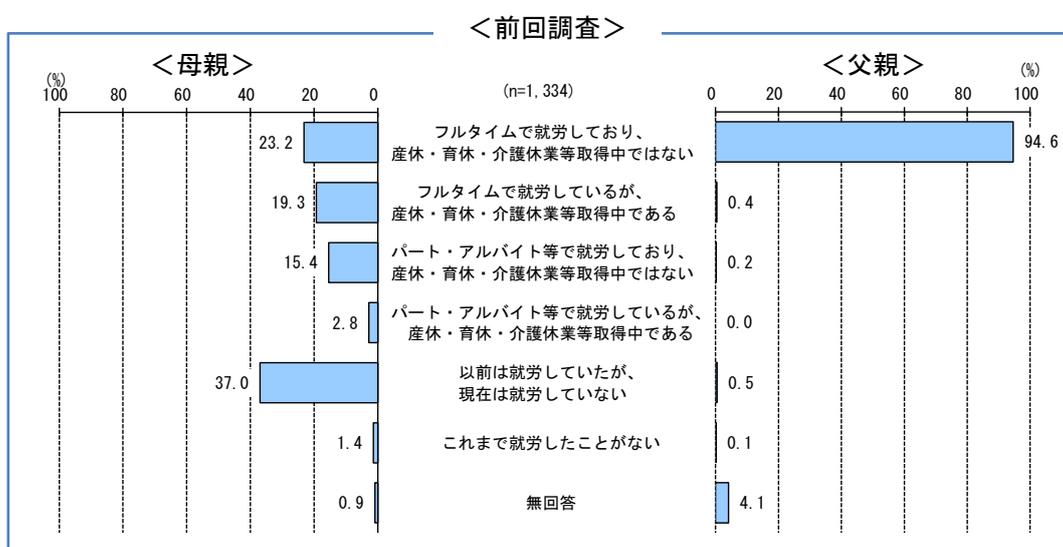
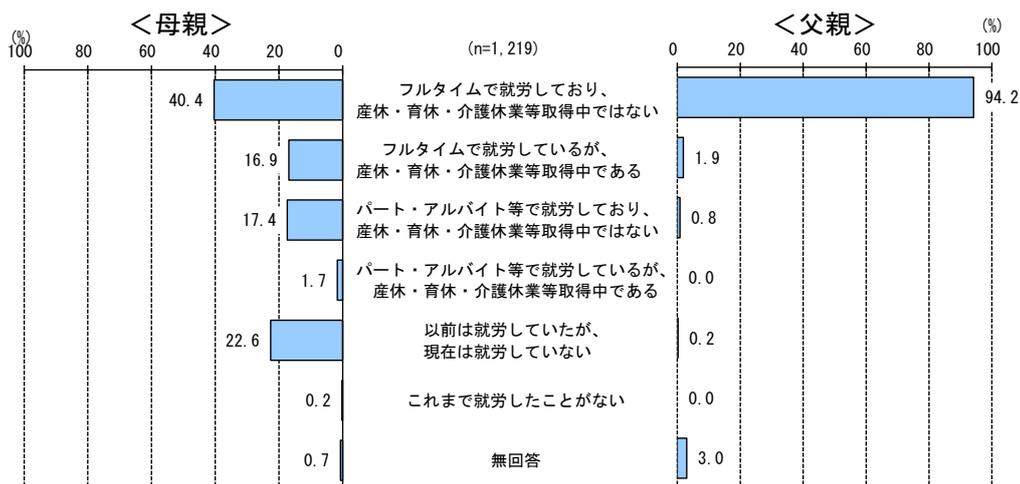
●困ったこと

- 困った時に理由問わず預けられるところが少ない。
- 子どもの発熱などで仕事を休まなければならない場合の預かり先に困る。病児保育は病院の証明が必要など、出社の場合に実際使用できるような仕様ではなく、働きながらの子育てに限界を感じる。
- 急な診察を希望する場合でも、小児科の予約が取りにくい。
- 正社員で働いているが、児童扶養手当の対象外となり、とても家計は苦しい。
- 働きながらの送り迎えがとても大変。
- 出産時に障害がわかったため、子をどのように育てるか、どのような福祉の助けが得られるかの情報を得るのに大変だった。
- 下の子が上の子と同じ保育園に入所できなかった。4月入所でないと希望園に入れなかったことがとても辛い。
- 支援センターのイベントが、予約数定員オーバーで受けてもらえないものがあつた。3歳以下向け、小学校向けのイベントは見えるが、幼稚園生向けのイベントが少ない。

●あればよいと考える周囲のサポート

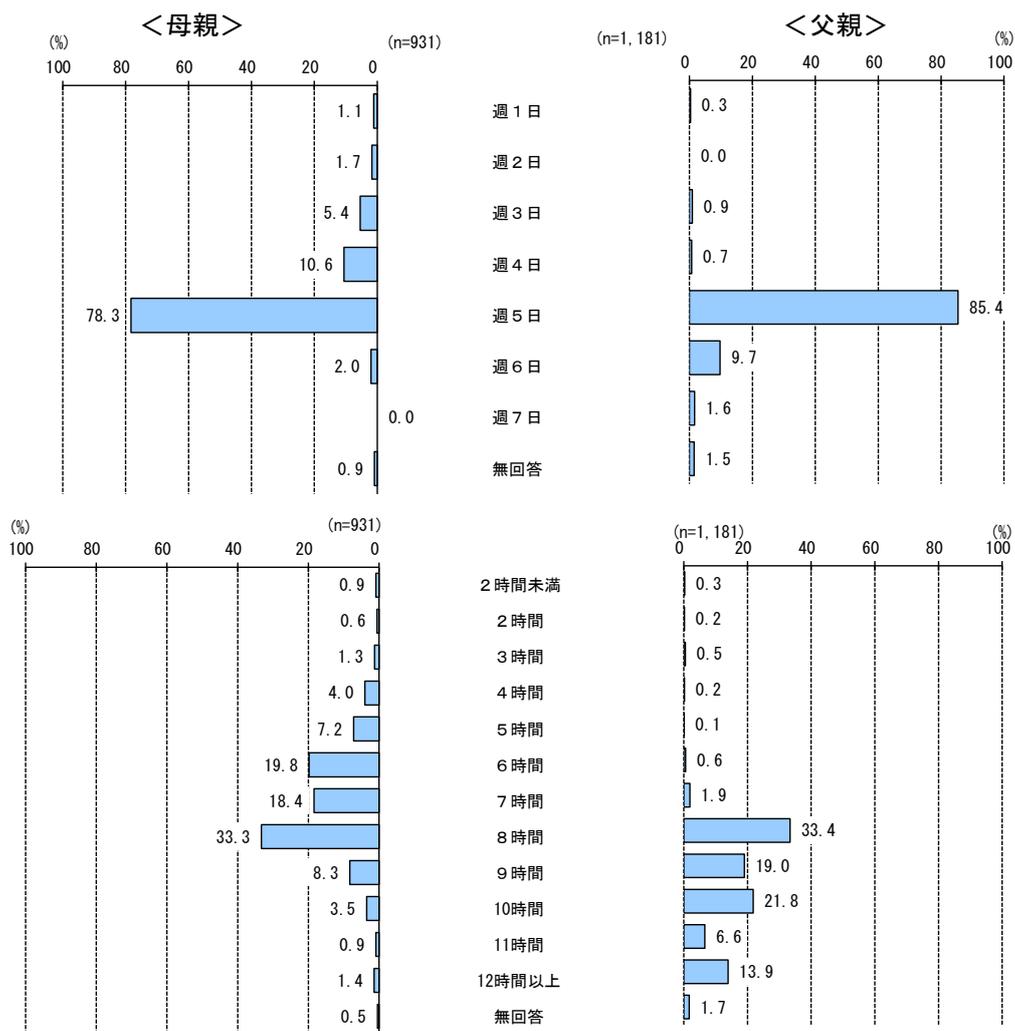
- 産後サポートの充実を希望。利用したい時に空きがないと、産後デイケア(宿泊)を利用できない。通所型デイケアを利用したが、車の運転ができない中、新生児を連れての通所は大変。
- 保育園バスが各駅におおたかの森にあるような送迎ステーションがあるとありがたい。
- 流山おおたかの森駅付近など利用しやすいところに一時預かりが欲しい。
- ひとり親世帯に対する金銭面のサポートを考えていただきたい。
- 障害福祉、発達支援など親の会ではなく、市から直接情報がもらえればと思う。
- 4月入所時に生まれていない子も、上に兄弟がいたら保育所の入所申し込みが出せて早めに入所できる等何か工夫をしてもらいたい。
- 支援センターのイベントの数を増やすなど対応してもらえると嬉しい。
- 運河駅周辺、特に流山街道沿いや東深井小学校に続く道は歩道がとても狭く、子どもが安心して移動することができない。しっかりとした歩道を作りたい。

【現在の就労状況】（就学前のこども 問11）



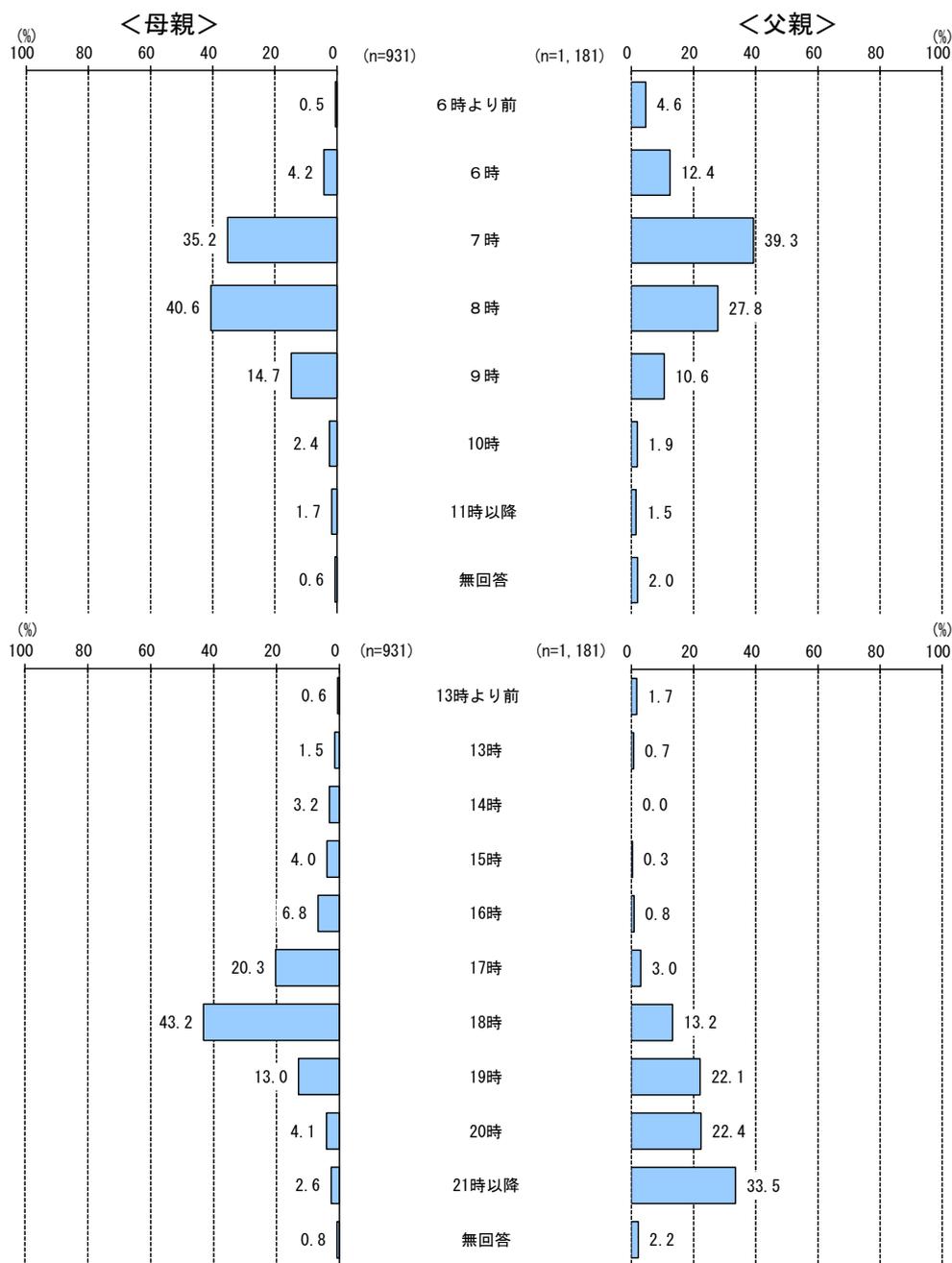
- 現在の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業等取得中ではない」が母親では 40.4%、父親では 94.2%となっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が、母親では 22.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業等取得中ではない」が 23.2%から 17.2 ポイント上昇し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 37.0%から 14.4 ポイント低下しています。

【週当たりの「就労日数」／1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」（就学前の子ども 問11-1）  
問11で「1～4（就労している）」と回答した方



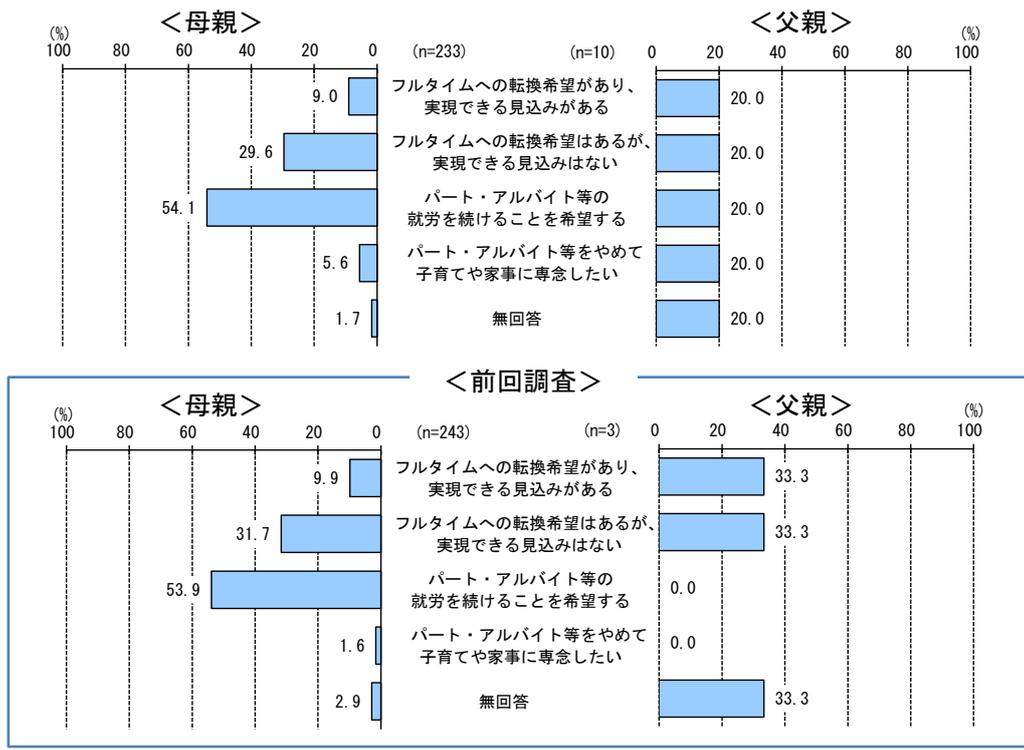
○週当たりの就労日数は「週5日」が母親では78.3%、父親では85.4%で最も高くなっています。  
○1日当たりの就労時間は、「8時間」が母親では33.3%、父親では33.4%で最も高くなっています。

【家を出る時刻／帰宅時刻】（就学前の子ども 問11-2）  
問11で「1～4（就労している）」と回答した方



○家を出る時刻は、母親では「8時」が40.6%、父親では「7時」が39.3%で最も高くなっています。  
○帰宅時刻は、母親では「18時」が43.2%、父親では「21時以降」が33.5%で最も高くなっています。

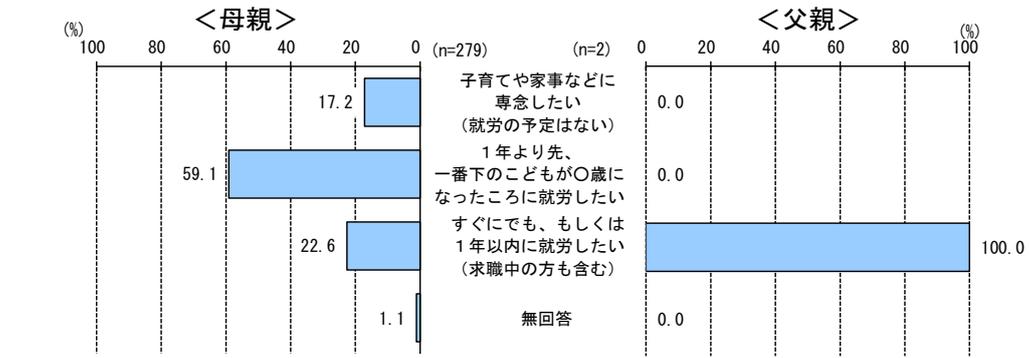
**【フルタイムへの転換希望】（就学前のこども 問12）**  
**問11で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方**



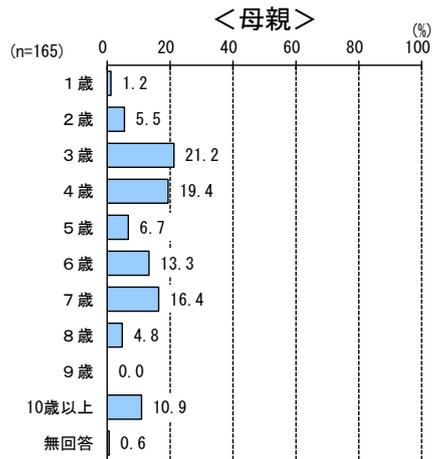
○フルタイムへの転換希望について、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が54.1%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.6%となっています。

○前回調査と比較すると、母親では「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が1.6%から4.0ポイント上昇しています。

**【就労希望】（就学前のこども 問13）**  
**問11で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と回答した方**



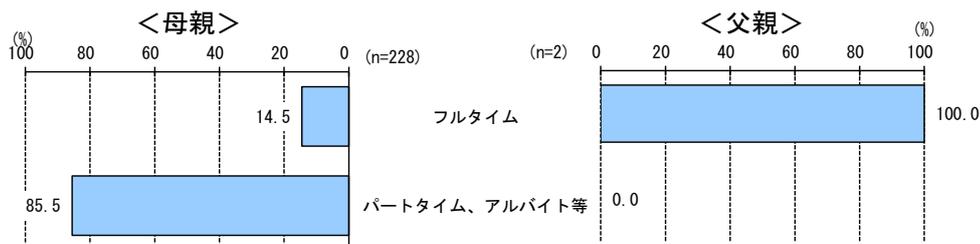
**【就労を希望するこどもの年齢】（就学前のこども 問13）**  
**問13で「1年より先、一番下のこどもが〇歳になった頃に就労したい」と回答した方**



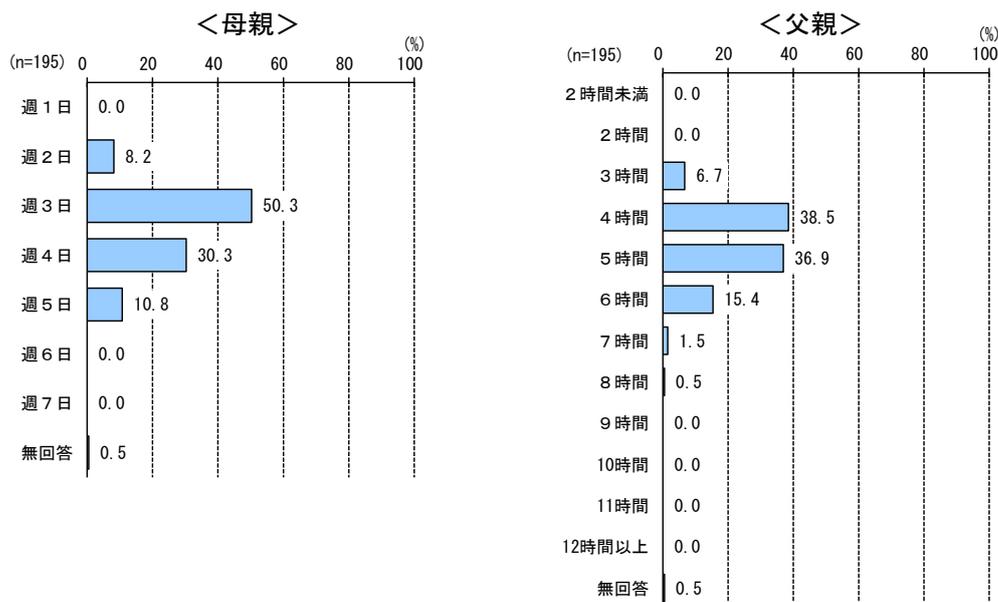
○就労希望について、母親では「1年より先、一番下のこどもが〇歳になったころに就労したい」が最も高くなっています。

○就労を希望するこどもの年齢について、3歳が21.2%で最も高く、次いで4歳が19.4%、7歳が16.4%となっています。

**【希望する就労形態】(就学前の子ども 問13)**  
**問13で「1年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃に就労したい」**  
**「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方**



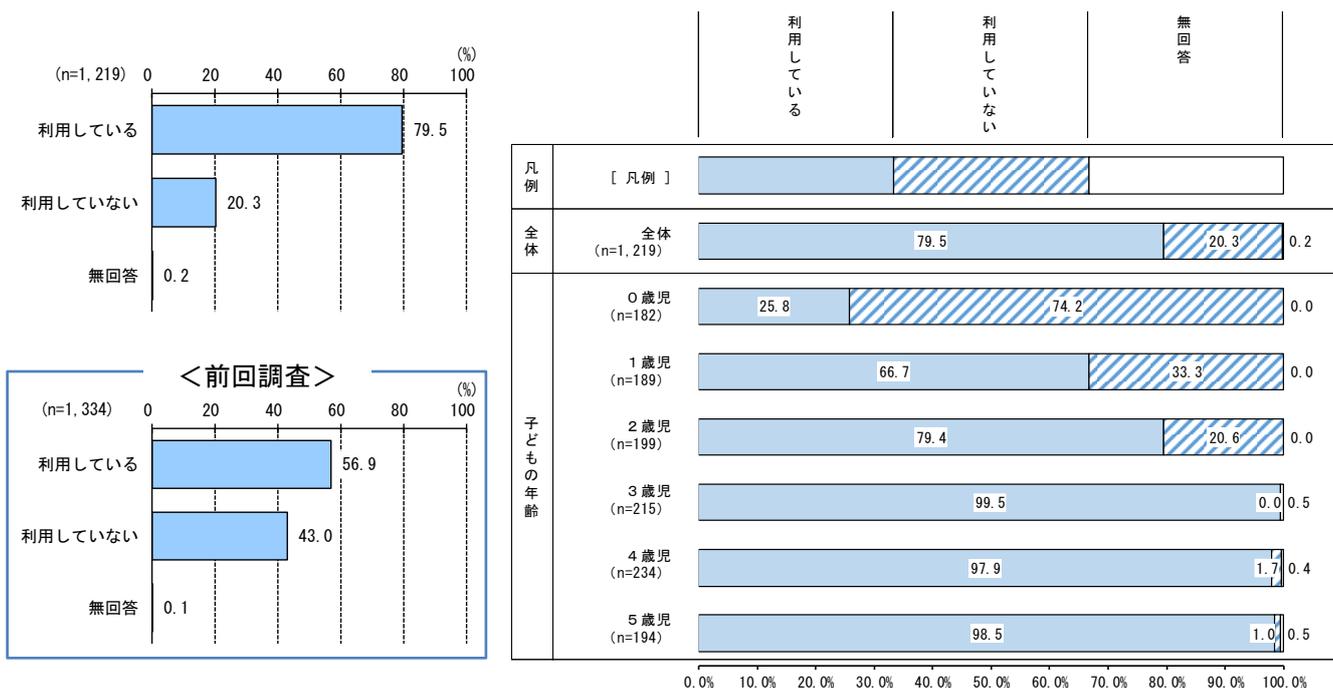
**【希望する就労日数・時間】(就学前の子ども 問13)**  
**問13：希望する就労形態で「パート・アルバイト等」と回答した方**



- 希望する就労形態について、母親では「パート・アルバイト等」が最も高く、父親では全て「フルタイム」となっています。
- パート・アルバイト等で、希望する就労日数は「週3日」が50.3%で最も高く、次いで「週4日」が30.3%、希望する就労時間は「4時間」が38.5%で最も高く、次いで「5時間」が36.9%となっています。

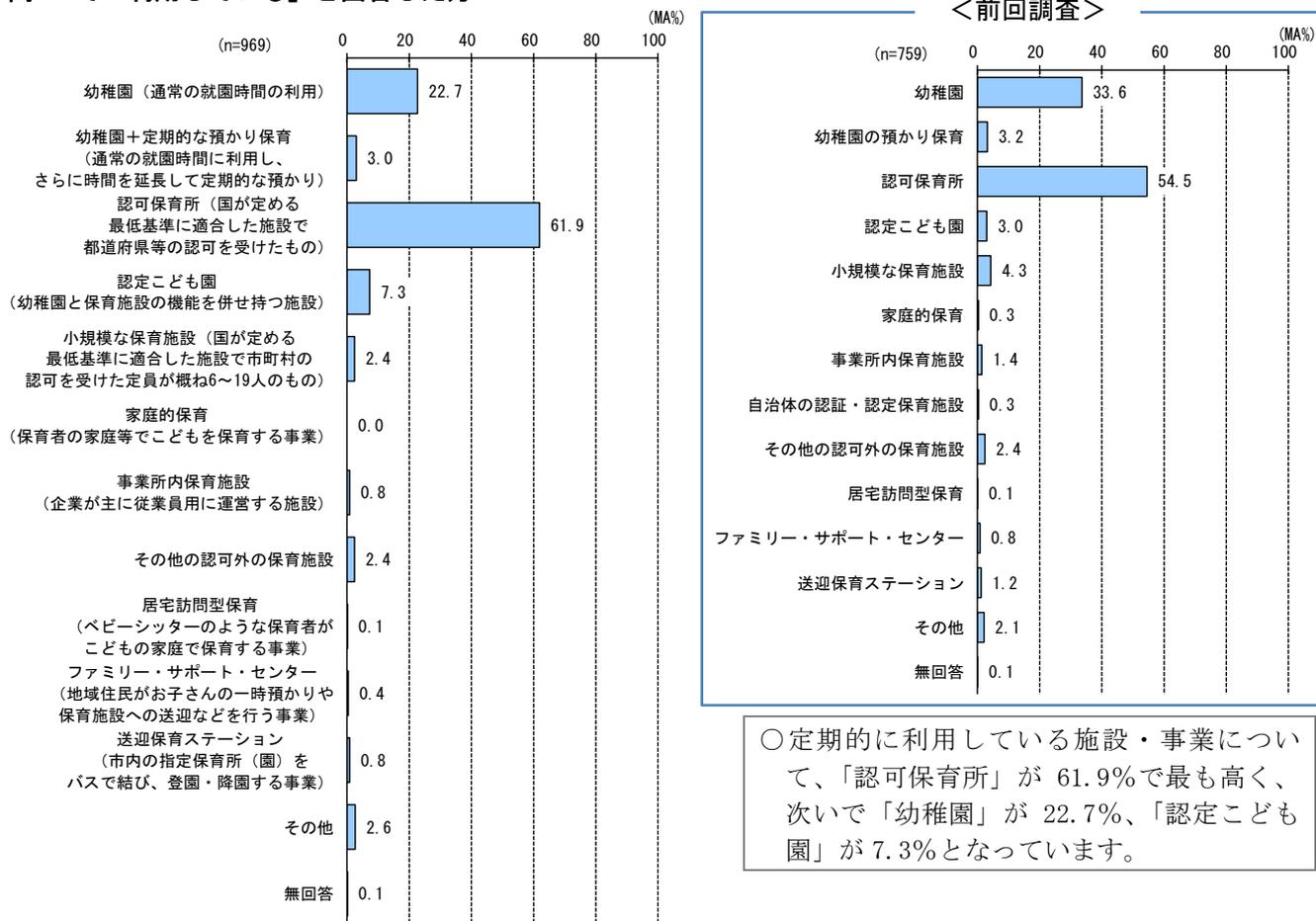
## (2) 平日の定期的なこどもを預かる施設・事業の利用状況

【こどもを預かる施設・事業の定期的な利用状況】(就学前のこども 問 14)



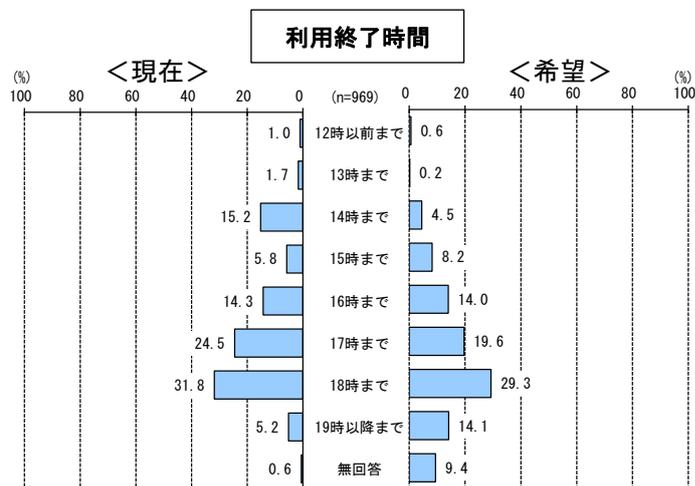
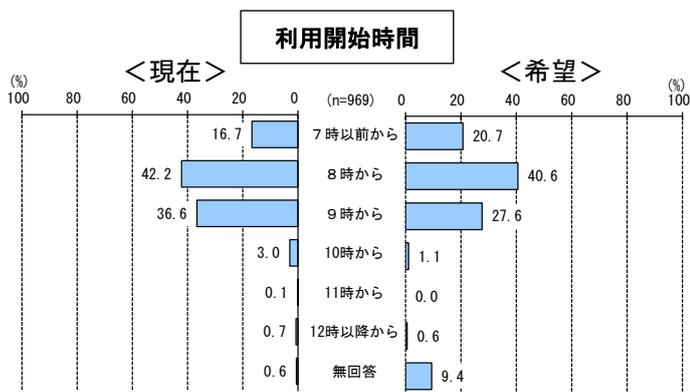
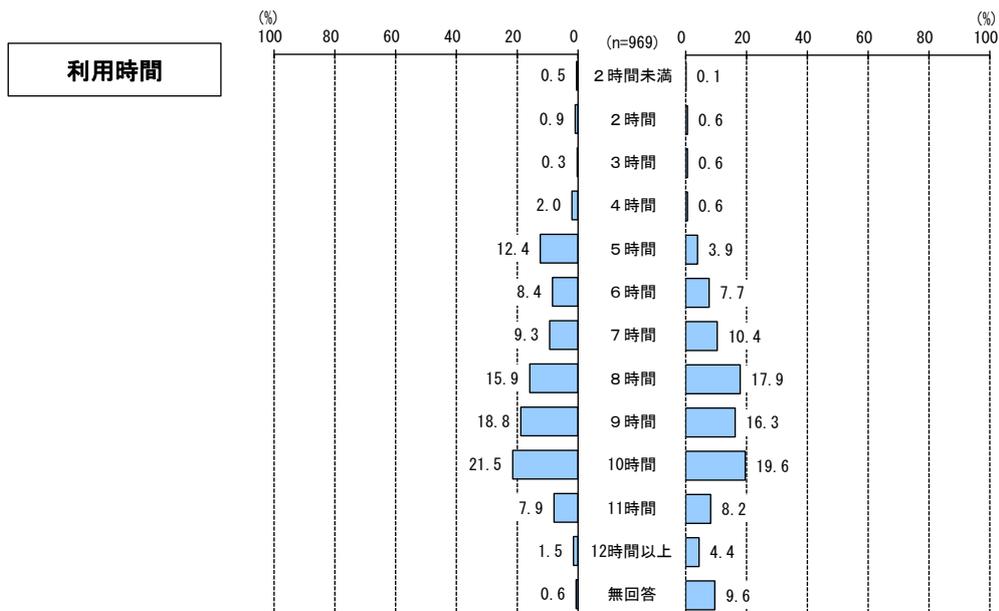
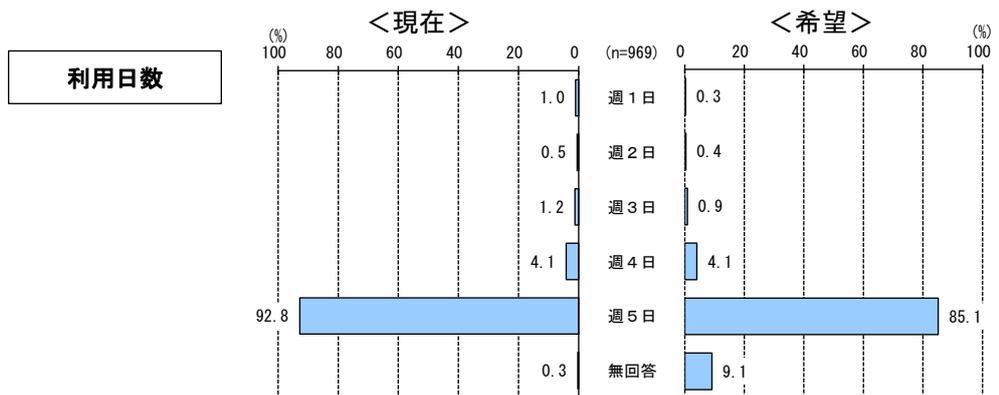
○こどもを預かる施設・事業を定期的にご利用しているのは、全体で79.5%となっています。  
 ○前回調査と比較すると、利用しているのは56.9%から22.6ポイント上昇しています。  
 ○こどもの年齢別にみると、2歳児までは20%を超える利用していない割合がみられるものの、3歳児以上では90%以上が施設・事業を利用しています。

### 【定期的にご利用している施設・事業 (MA)】(就学前のこども 問 14-1) 問 14で「利用している」と回答した方



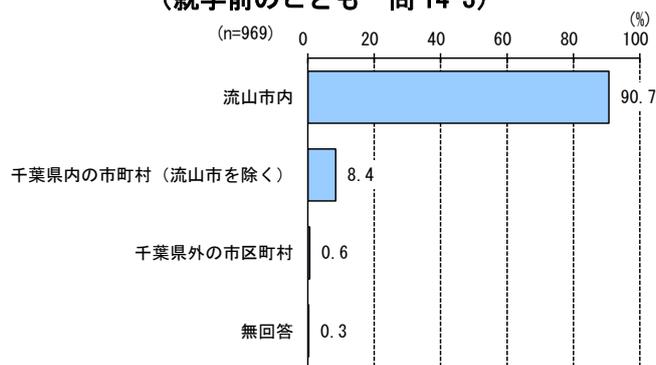
○定期的にご利用している施設・事業について、「認可保育所」が61.9%で最も高く、次いで「幼稚園」が22.7%、「認定こども園」が7.3%となっています。

【利用日数・時間】(就学前の子ども 問14-2)



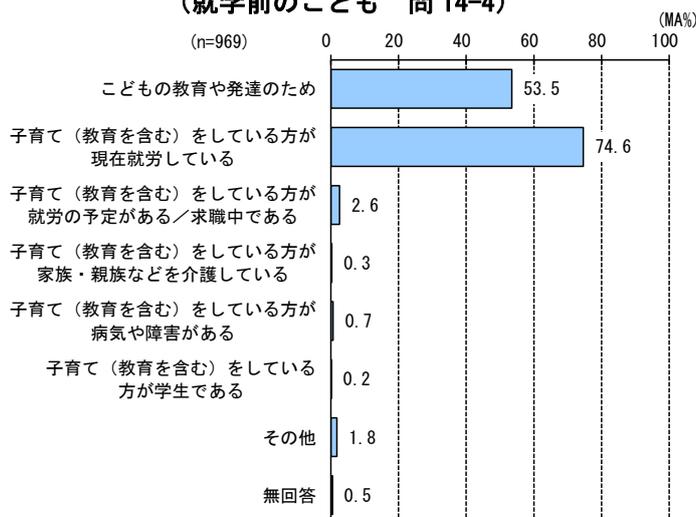
- 利用日数について、現在・希望のいずれも「週5日」が最も高く約90%となっています。
- 利用時間について、現在は「10時間」が21.5%で最も高く、「8時間」「9時間」「10時間」が合わせて56.2%となっています。また、「5時間」が10%を超えています。希望は、「10時間」が19.6%で最も高く、「8時間」「9時間」「10時間」が合わせて53.8%となっています。
- 利用開始時間について、現在は「8時から」が42.2%で最も高く、「8時から」「9時から」が合わせて78.8%となっています。希望は「8時から」が40.6%で最も高く、「7時以前から」が20.7%で現在の16.7%を上回っています。
- 利用終了時間について、現在は「18時まで」が31.8%で最も高く、「17時まで」「18時まで」が合わせて56.3%となっています。希望は「18時まで」が29.3%で最も高く、「19時以降まで」が14.1%で現在の5.2%を上回っています。

**【現在利用している施設・事業の実施場所】**  
(就学前の子ども 問 14-3)



○現在利用している施設・事業の実施場所について、「流山市内」が90.7%で最も高く、「千葉県内の市町村 (流山市を除く)」が8.4%、「千葉県外の市区町村」が0.6%となっています。

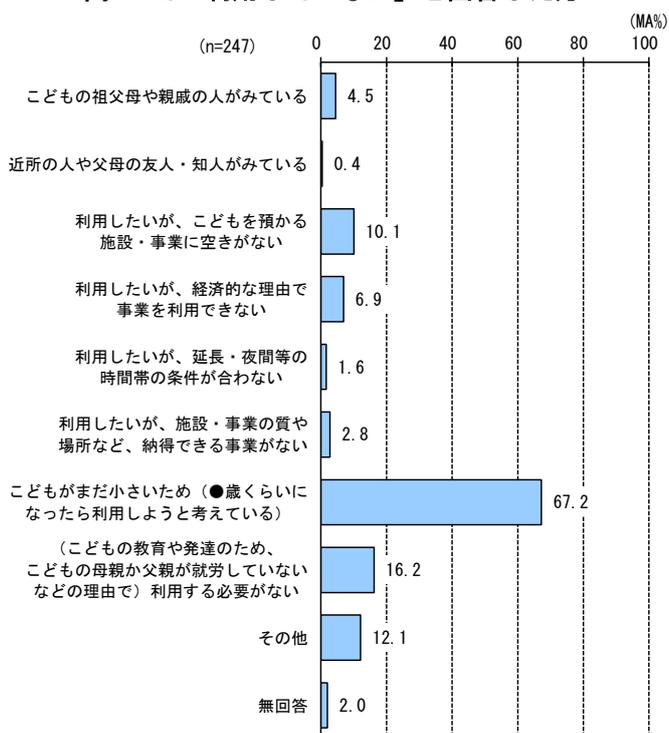
**【平日に定期的に施設・事業を利用している理由 (MA)】**  
(就学前の子ども 問 14-4)



○平日に定期的に施設・事業を利用している理由について、「子育て (教育を含む) をしている方が現在就労している」が74.6%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が53.5%となっています。

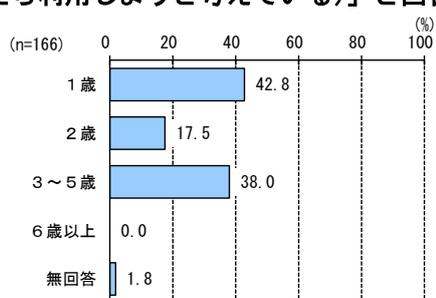
**【定期的に施設・事業を利用していない理由 (MA)】**  
(就学前の子ども 問 14-5)

問 14 で「利用していない」と回答した方



**【定期的に教育・保育事業を利用したい子どもの年齢】**  
(就学前の子ども 問 14-5)

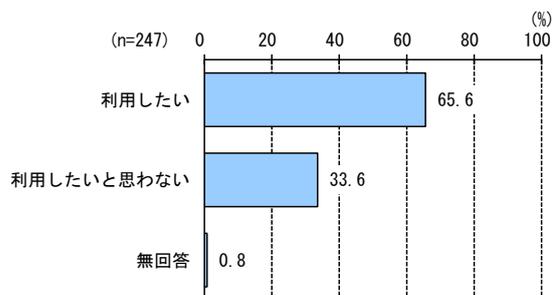
問 14-5 で「子どもがまだ小さいため (●歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した方



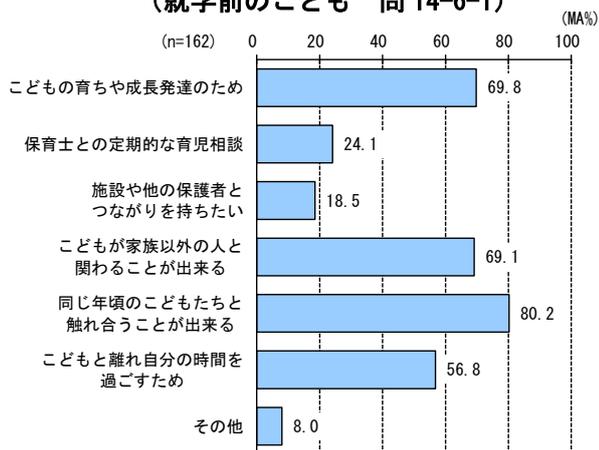
○平日に定期的に施設・事業を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため (●歳くらいになったら利用しようと考えている)」が67.2%で最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が16.2%となっています。

○定期的に教育・保育事業を利用したい子どもの年齢について、「1歳」が42.8%で最も高く、次いで「3~5歳」が38.0%となっています。

【「子ども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向】（就学前の子ども 問 14-6）

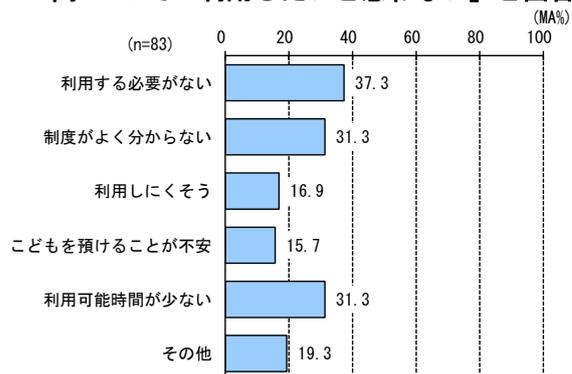


【利用したい理由（MA）】  
（就学前の子ども 問 14-6-1）



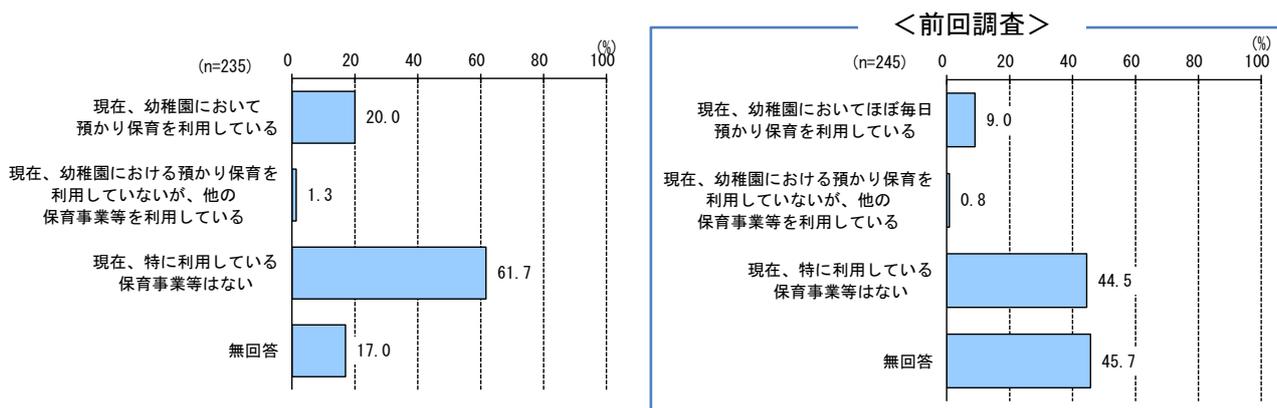
【利用したいと思わない理由（MA）】  
（就学前の子ども 問 14-6-2）

問 14-6 で「利用したいと思わない」と回答した方



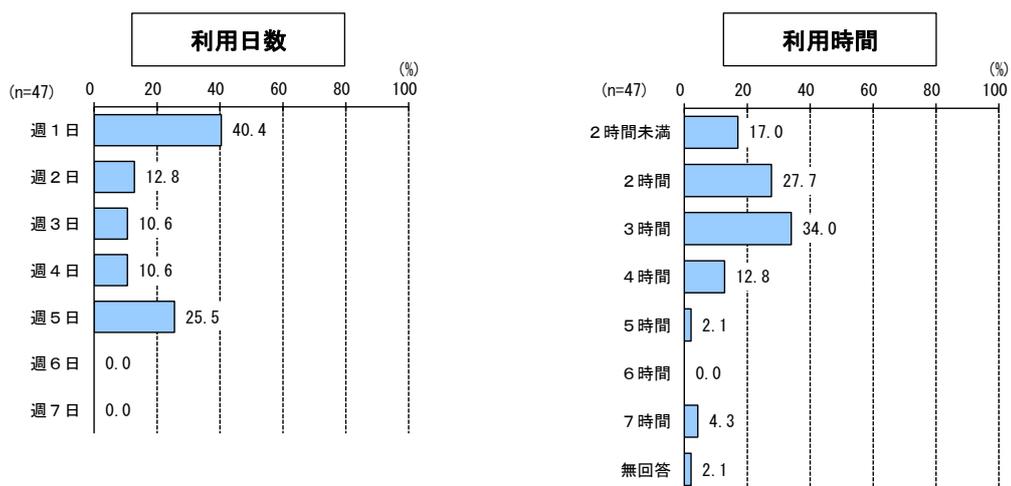
- 「子ども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向について、「利用したい」のは65.6%、「利用したいと思わない」のは33.6%となっています。
- 利用したい理由について、「同じ年頃の子どもたちと触れ合うことが出来る」が80.2%で最も高く、次いで「子どもの育ちや成長発達のため」が69.8%、「子どもが家族以外の人と関わることが出来る」が69.1%となっています。
- 利用したいと思わない理由について、「利用する必要がある」が37.3%で最も高く、次いで「制度がよく分からない」「利用可能時間が少ない」が31.3%となっています。

**【幼稚園における預かり保育の利用状況】（就学前の子ども 問 14-7）**  
**幼稚園を利用しており、問 11 で「1～4」（就労している）と回答した方**



- 現在、幼稚園における預かり保育を利用しているのは 20.0%、現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用しているのは 1.3%、現在、特に利用している保育事業等がないのは 61.7% となっています。
- 前回調査と比較すると、幼稚園における預かり保育を利用しているのは 9.0% から 11.0 ポイント上昇し、現在、特に利用している保育事業等がないのは 44.5% から 17.2 ポイント上昇しています。

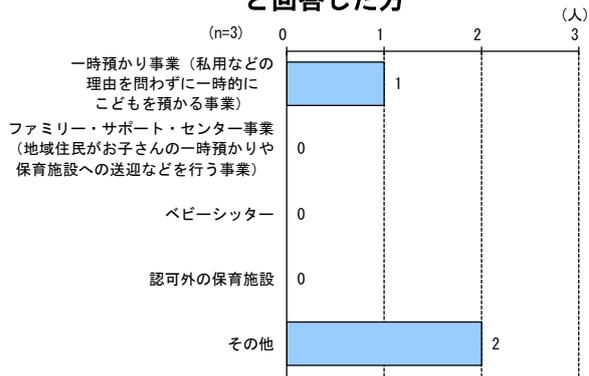
**【利用日数・時間】（就学前の子ども 問 14-7-1）**  
**問 14-7 で「現在、幼稚園において預かり保育を利用している」と回答した方**



- 幼稚園における預かり保育の利用日数について、「週 1 日」が 40.4% で最も高く、次いで「週 5 日」が 25.5% となっています。
- 利用時間について、「3 時間」34.0% で最も高く、次いで「2 時間」が 27.7%、「2 時間未満」が 17.0% となっています。

【利用している保育事業等】（就学前の子ども 問 14-7-2）

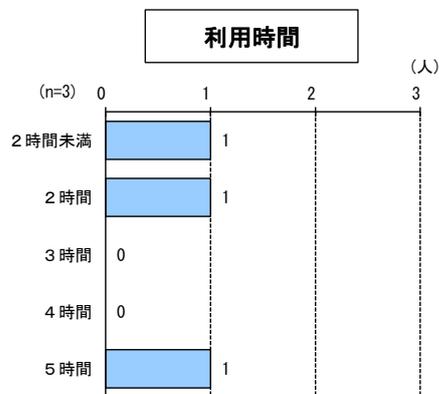
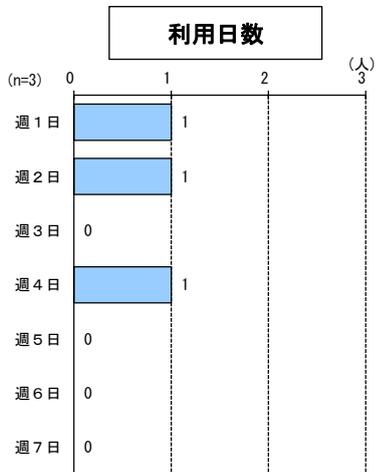
問 14-7 で「現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している」と回答した方



○利用している他の保育事業等は、一時預かり事業（私用などの理由を問わずに一時的に子どもを預かる事業）が1人となっています。

【利用日数・時間】（就学前の子ども 問 14-7-2）

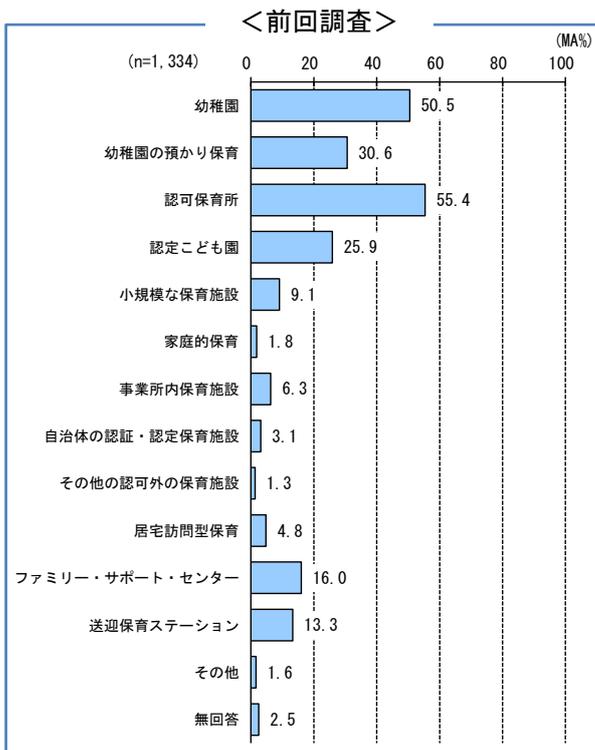
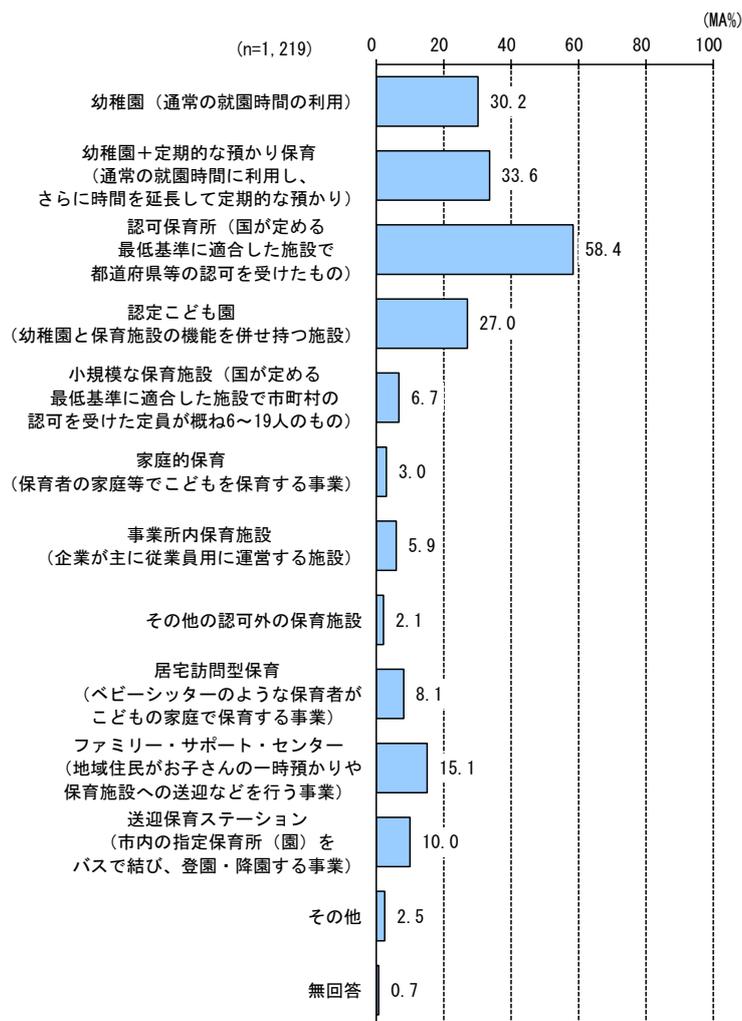
問 14-7 で「現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している」と回答した方



○利用日数について、「週 1 日」「週 2 日」「週 4 日」に1人ずつ回答されています。

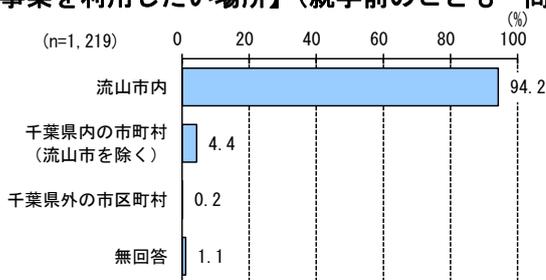
○利用時間について、「2時間未満」「2時間」「5時間」に1人ずつ回答されています。

【定期的に利用したい施設・事業 (MA)】(就学前のこども 問 15)



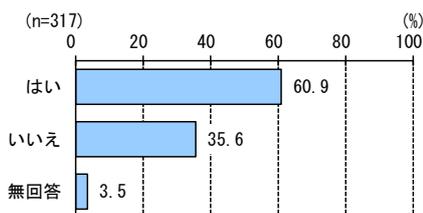
○定期的に利用したい施設・事業について、「認可保育所」が58.4%で最も高く、次いで「幼稚園+定期的な預かり保育」が33.6%、「幼稚園」が30.2%、「認定こども園」が27.0%となっています。  
○前回調査と比較すると、「幼稚園」は50.5%から20.3ポイント低下しています。

【施設・事業を利用したい場所】(就学前のこども 問 15-1)



○施設・事業を利用したい場所について、「流山市内」が94.2%で最も高くなっています。

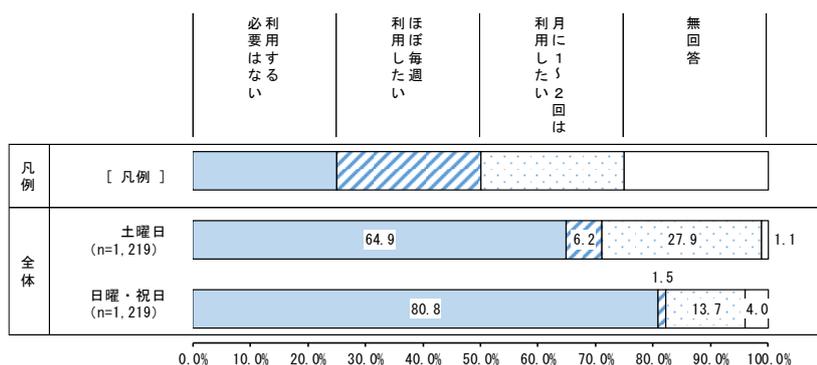
【特に幼稚園 (幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む) の利用を強く希望する】(就学前のこども 問 15-2)  
問 15 で「幼稚園 (通常の就園時間の利用)」または「幼稚園+定期的な預かり保育」に○をつけ、かつ「3~12」にも回答した方



○特に幼稚園の利用を強く希望するのは60.9%となっています。

### (3) 土曜日・日曜日、長期休暇中の施設の利用意向

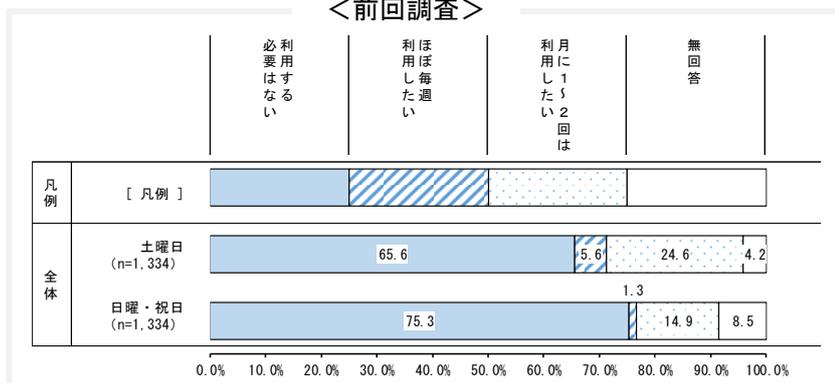
【土曜日／日曜日・祝日の幼稚園、保育所、認定こども園の利用意向】(就学前のこども 問16)



○土曜日に幼稚園、保育所、認定こども園を「ほぼ毎週利用したい」のは6.2%、「月に1~2回利用したい」のは27.9%、日曜日・祝日に幼稚園、保育所、認定こども園を「ほぼ毎週利用したい」のは1.5%、「月に1~2回利用したい」のは13.7%となっています。

○前回調査と比較すると、土曜日に「月に1~2回利用したい」のは24.6%から3.3ポイント上昇、日曜日・祝日に「月に1~2回利用したい」のは14.9%から1.2ポイント低下しています。

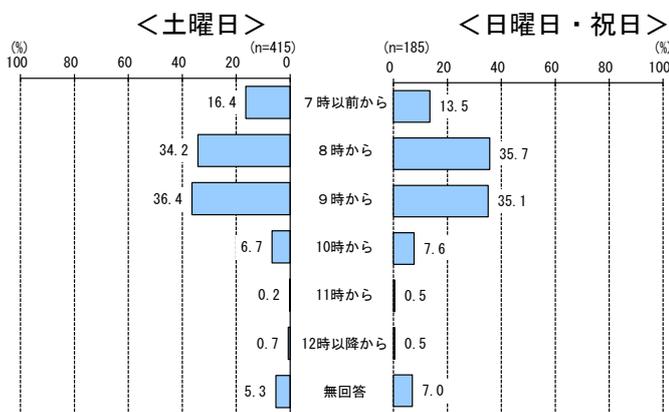
#### <前回調査>



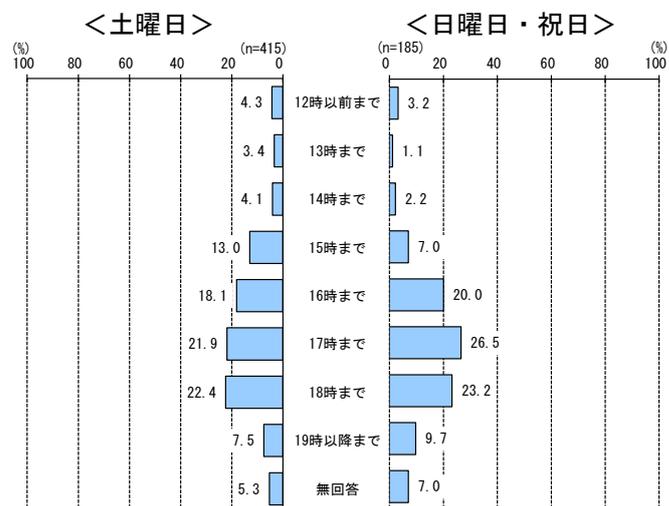
### 【希望する時間帯】(就学前のこども 問16)

問16で「月に1~2回は利用したい」と回答した方

#### 利用開始時間



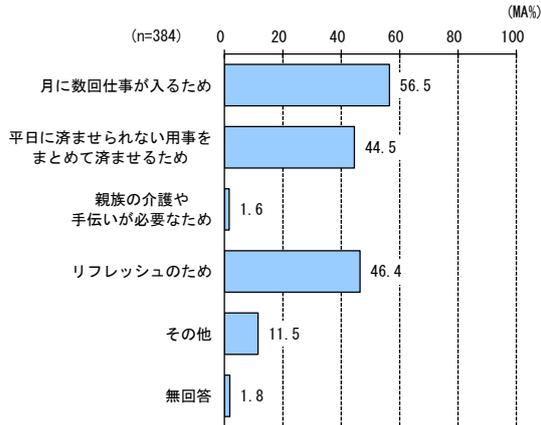
#### 利用終了時間



○利用開始時間について、土曜日では「9時から」が36.4%で最も高く、次いで「8時から」が34.2%となっています。日曜日・祝日では「8時から」が35.7%で最も高く、次いで「9時から」が35.1%となっています。

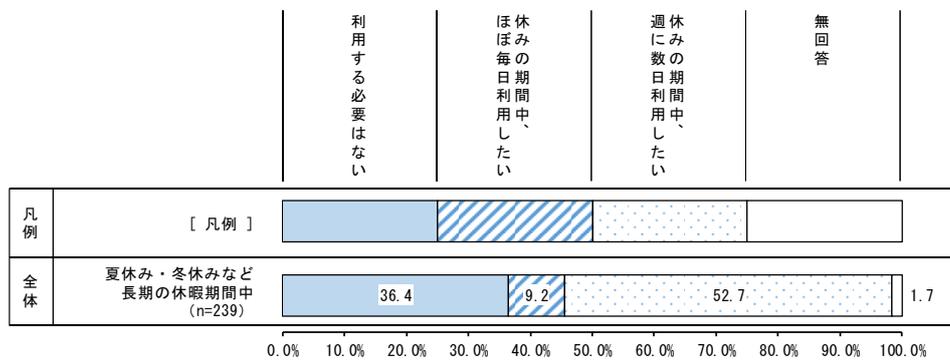
○利用終了時間について、土日は「18時まで」が22.4%で最も高く、次いで「17時まで」が21.9%となっています。日曜日・祝日では「17時まで」が26.5%で最も高く、次いで「18時まで」が23.2%となっています。

**【月に1～2回利用したい理由(MA)】(就学前の子ども 問16-1)**  
**問16で「月に1～2回は利用したい」と回答した方**

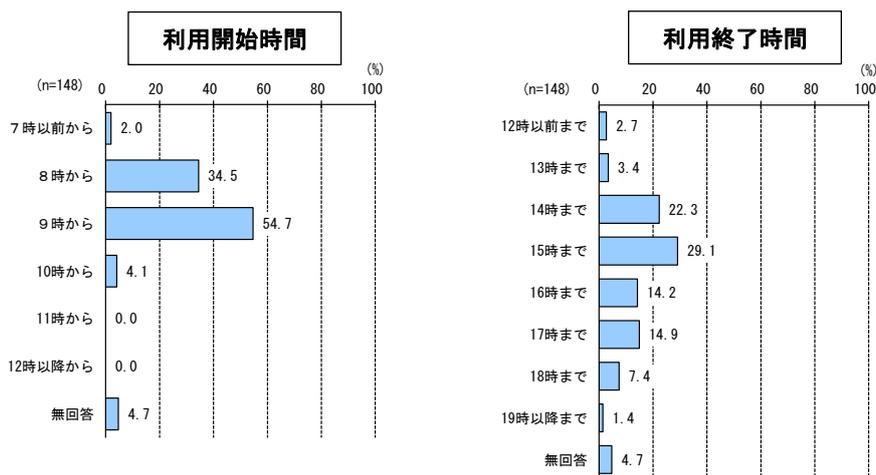


○月に1～2回は利用したい理由について、「月に数回仕事が入るため」が56.5%で最も高く、次いで「リフレッシュのため」が46.4%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が44.5%となっています。

**【長期の休暇期間中の子どもを預かる施設・事業の利用意向】**  
**(就学前の子ども 問17) 幼稚園を利用している方**

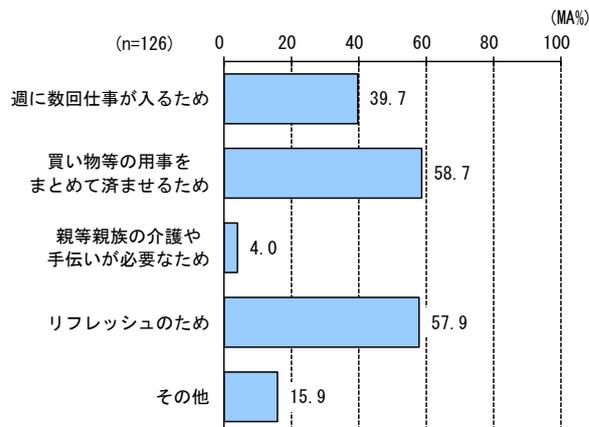


【利用したい時間帯】（就学前の子ども 問 17）  
問 17 で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方



- 長期休暇中の子どもを預かる施設・事業の利用意向について、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 52.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 9.2%となっています。
- 利用開始時間について、「9時から」が 54.7%で最も高く、次いで「8時から」が 34.5%となっています。利用終了時間について、「15時まで」が 29.1%で最も高く、次いで「14時まで」が 22.3%となっています。

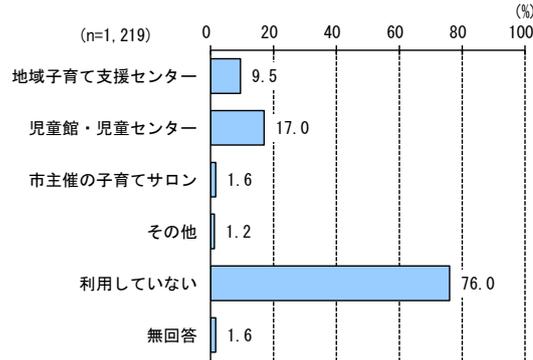
【週に数日利用したい理由(MA)】（就学前の子ども 問 17-1）  
問 17 で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方



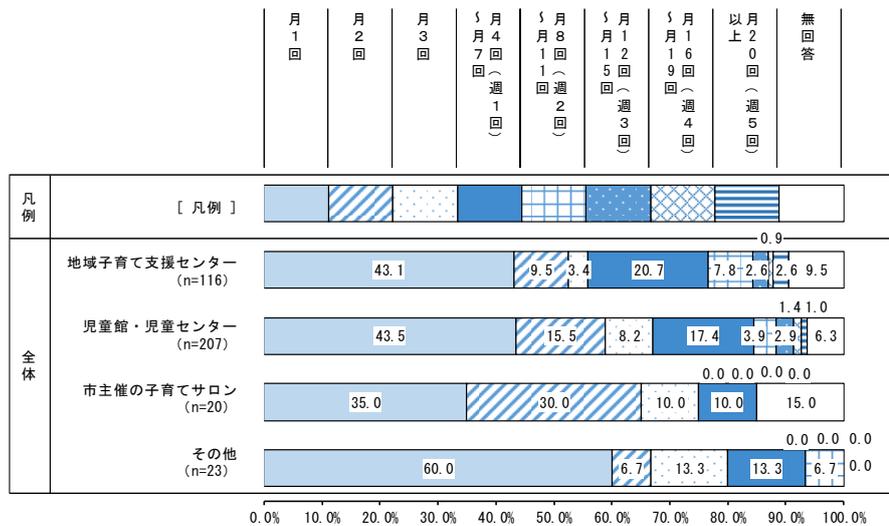
- 週に数日利用したい理由について、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 58.7%で最も高く、次いで「リフレッシュのため」が 57.9%、「月に数回仕事が入るため」が 39.7%となっています。

#### (4) 地域の子育て支援事業の利用状況

【地域子育て支援センター等の利用状況】(就学前の子ども 問 18)

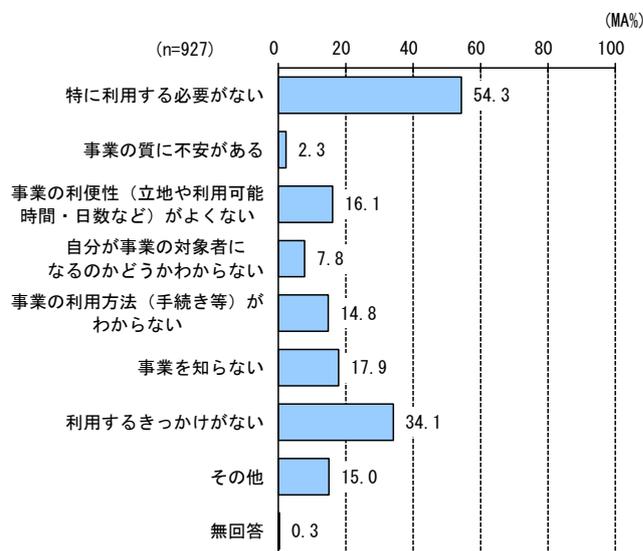


【利用回数】(就学前の子ども 問 18)



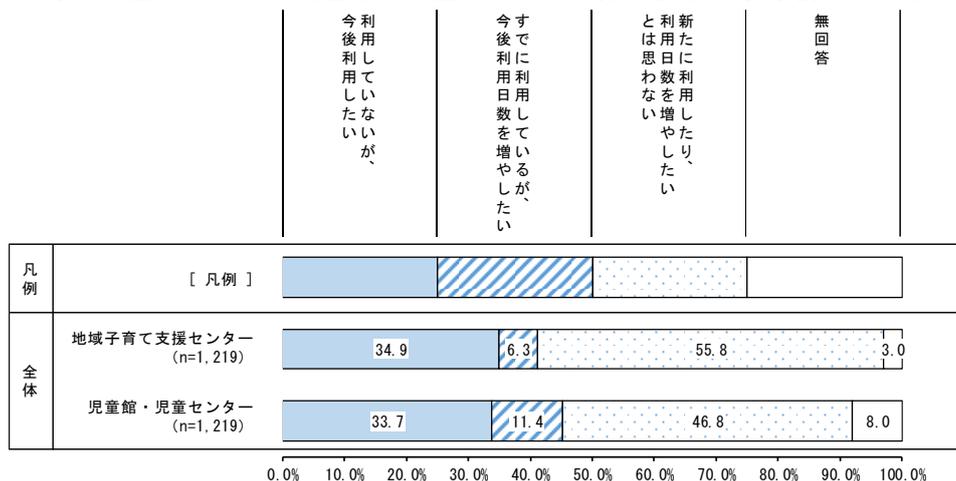
- 地域子育て支援センター等の利用状況について、「児童館・児童センター」が 17.0%で最も高く、「地域子育て支援センター」が 9.5%、「市主催の子育てサロン」が 1.6%となっています。また、「利用していない」は 76.0%となっています。
- 利用回数について、「地域子育て支援センター」「児童館・児童センター」「市主催の子育てサロン」のいずれも「月1回」が最も高くなっています。また、「市主催の子育てサロン」は「月2回」が 30.0%と他の事業に比べて高くなっています。

【地域子育て支援センター等を利用していない理由 (MA)】(就学前の子ども 問 18-1)  
問 18 で「利用していない」と回答した方

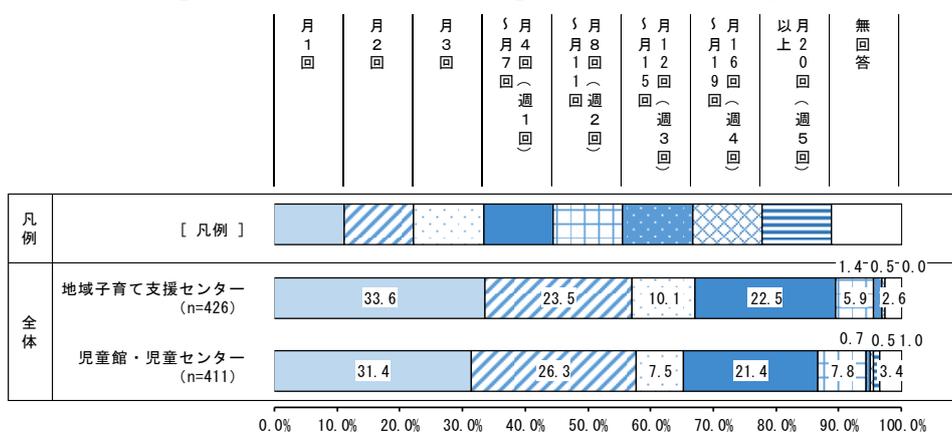


○地域子育て支援センター等を利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が 54.3%で最も高く、次いで「利用するきっかけがない」が 34.1%、「事業を知らない」が 17.9%となっています。

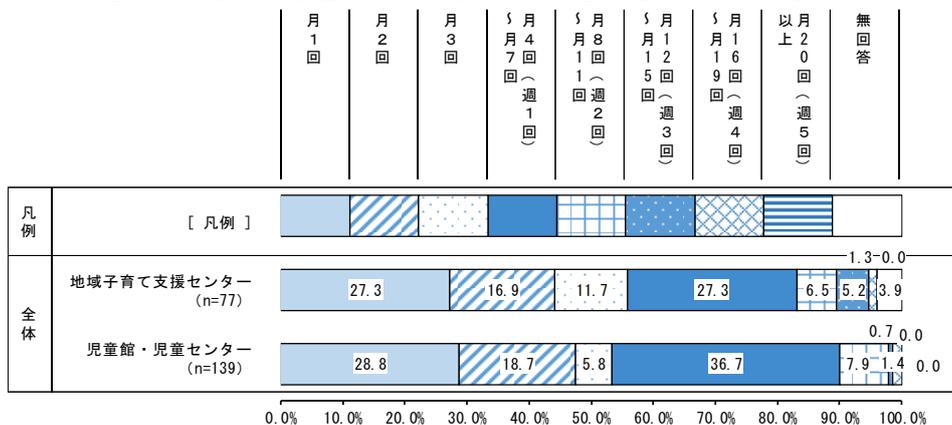
【地域子育て支援センターと児童館・児童センターの利用意向】（就学前の子ども 問19）



【今後利用したい場合の回数】（就学前の子ども 問19）



【今後利用日数を増やしたい場合の回数】（就学前の子ども 問19）

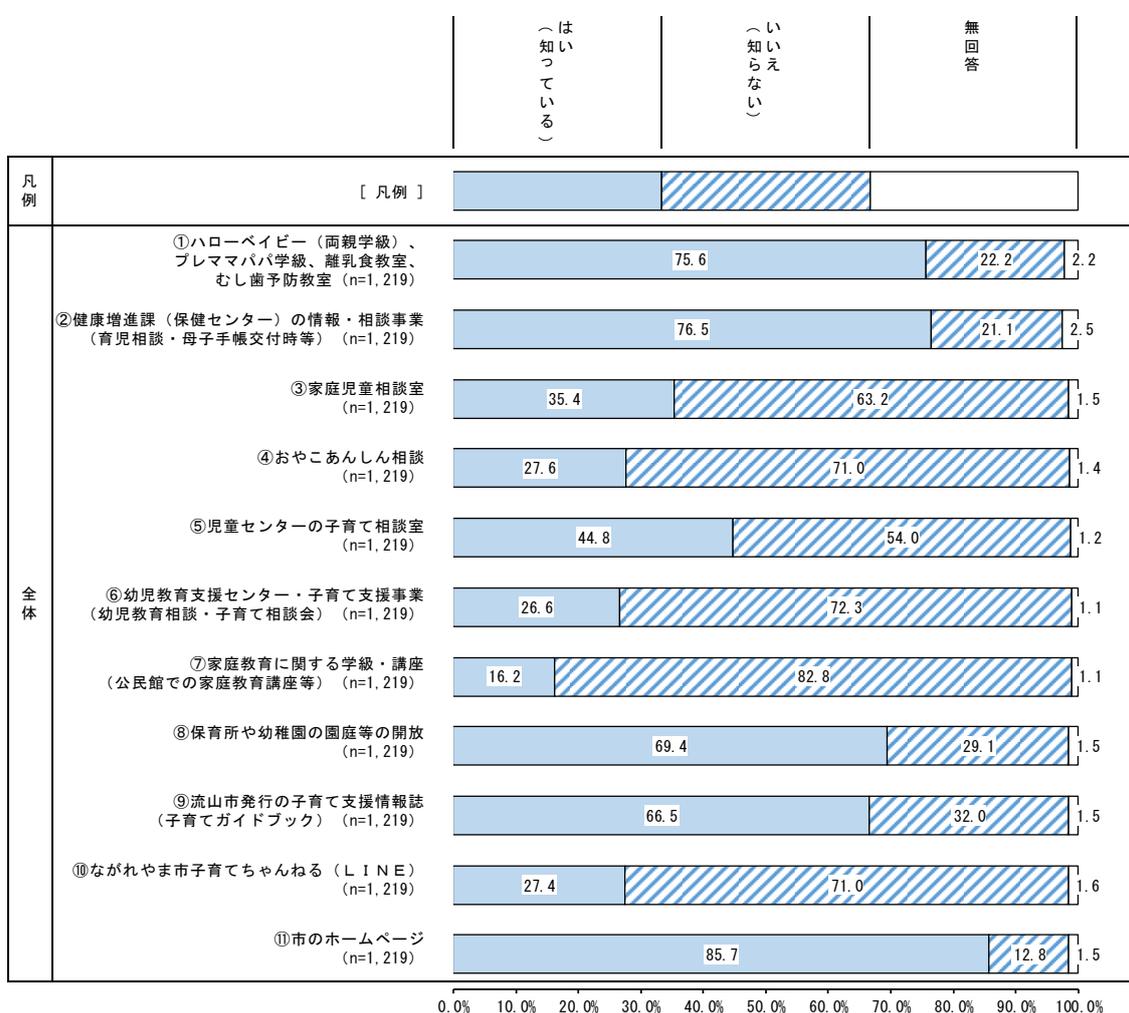


- 地域子育て支援センターと児童館・児童センターの利用意向について、地域子育て支援センター、児童館・児童センターのいずれも「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も高くなっています。
- 今後利用したい場合の回数について、「地域子育て支援センター」「児童館・児童センター」のいずれも「月1回」が最も高く、30%を超えています。また、「月2回」「月4回（週1回）～月7回」が20%を超えています。
- 今後利用日数を増やしたい場合の回数について、「地域子育て支援センター」では「月1回」「月4回（週1回）～月7回」が最も高く、「児童館・児童センター」では「月4回（週1回）～月7回」が最も高くなっています。

【新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない理由】抜粋（就学前のこども 問 19-1）  
問 19 で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答した方

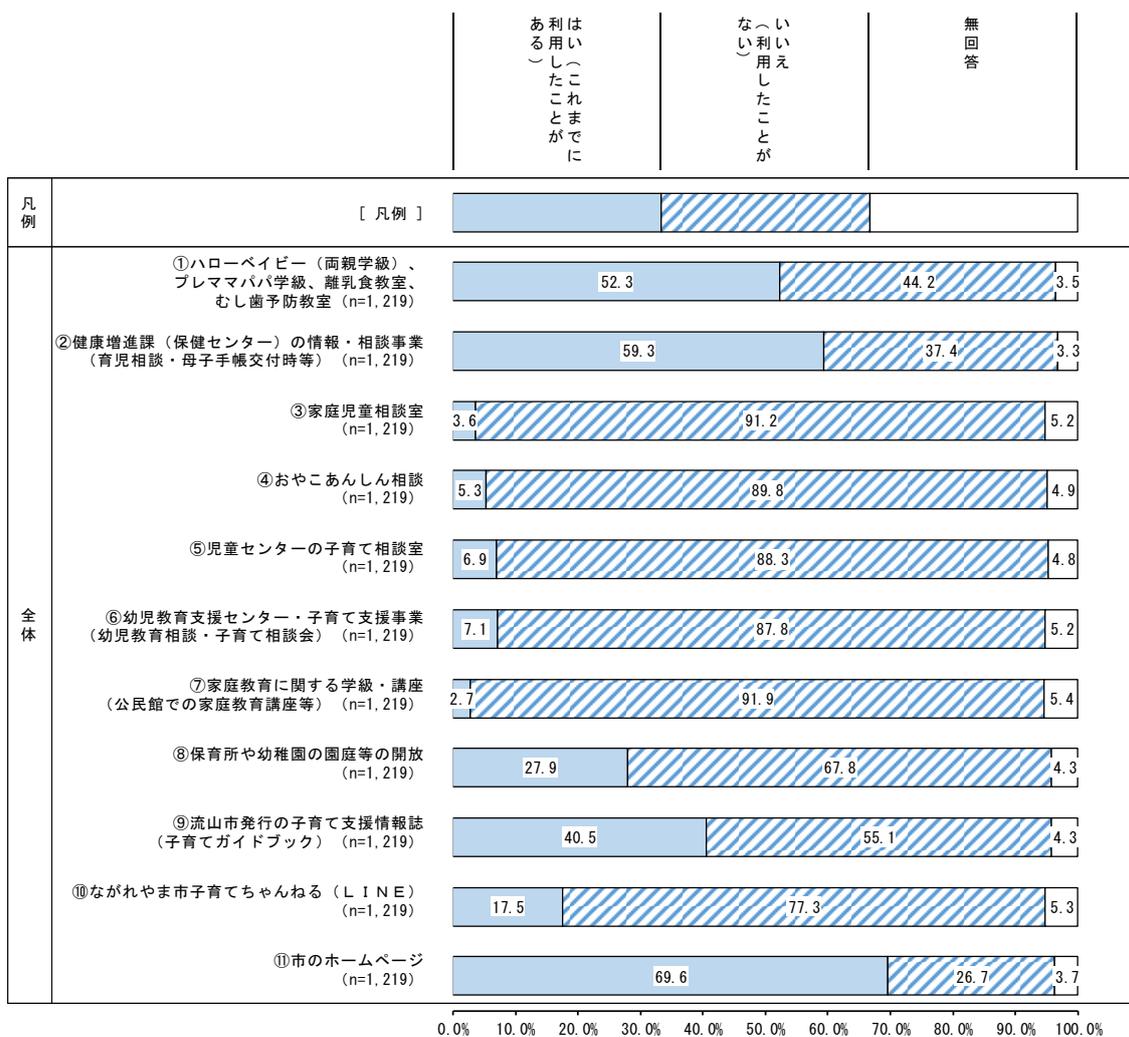
- どのような場所かわからない。利用するメリットがわからない。楽しそうなイメージがない。
- 0～2歳児の利用イメージが強い。
- 家から遠い。
- 興味はあるが、仕事があり利用できない。
- 利用する必要がない（保育園・幼稚園に通っている）。
- 土日に開催されないことが多く利用できない。
- いろいろな考え方の人（保護者）がいて気疲れする。

【事業の認知度】（就学前のこども 問 20-A）



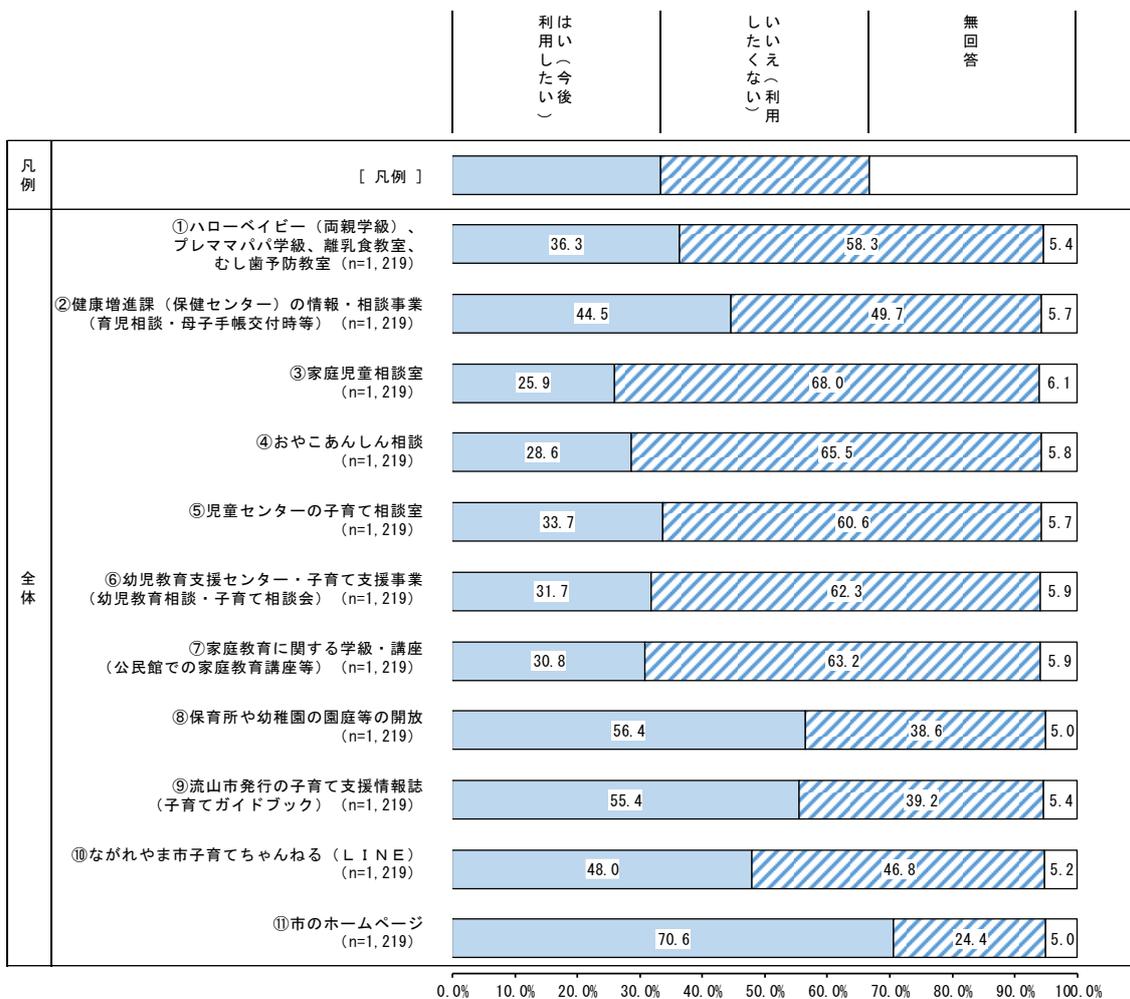
○事業の認知度について、はい（知っている）が最も高いのは⑪市のホームページ（85.7%）となっており、次いで、②健康増進課（保健センター）の情報・相談事業（育児相談・母子手帳交付時等）（76.5%）、①ハローベイベー（両親学級）、プレママパパ学級、離乳食教室、むし歯予防教室（75.6%）となっています。

### 【事業の利用経験】（就学前の子ども 問 20-B）



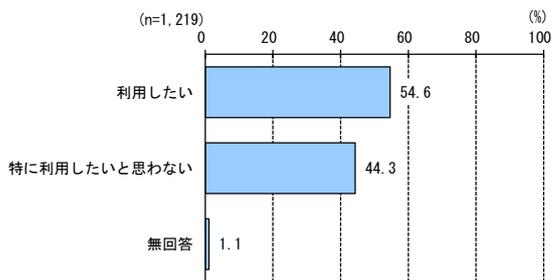
○事業の利用経験について、はい（これまで利用したことがある）が最も高いのは⑪市のホームページ（69.6%）となっており、次いで、②健康増進課（保健センター）の情報・相談事業（育児相談・母子手帳交付時等）（59.3%）、①ハローベイベー（両親学級）、プレママパパ学級、離乳食教室、むし歯予防教室（52.3%）となっています。

【事業の利用意向】（就学前の子ども 問 20-C）



○事業の利用意向について、はい（今後利用したい）が最も高いのは⑪市のホームページ（70.6%）となっており、次いで、⑧保育所や幼稚園の園庭等の開放（56.4%）、⑨流山市発行の子育て支援情報誌（子育てガイドブック）（55.4%）となっています。

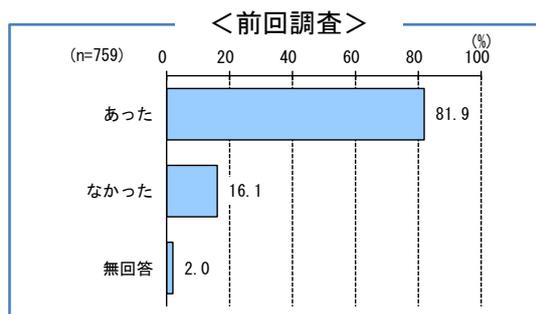
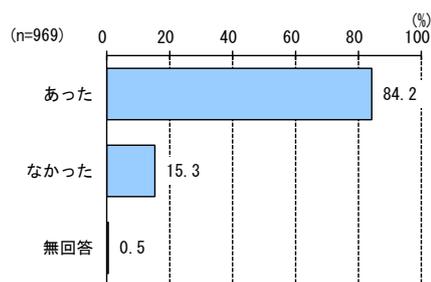
【地域子育て支援センターや児童館・児童センターの  
日曜日・祝日の利用意向】（就学前の子ども 問 21）



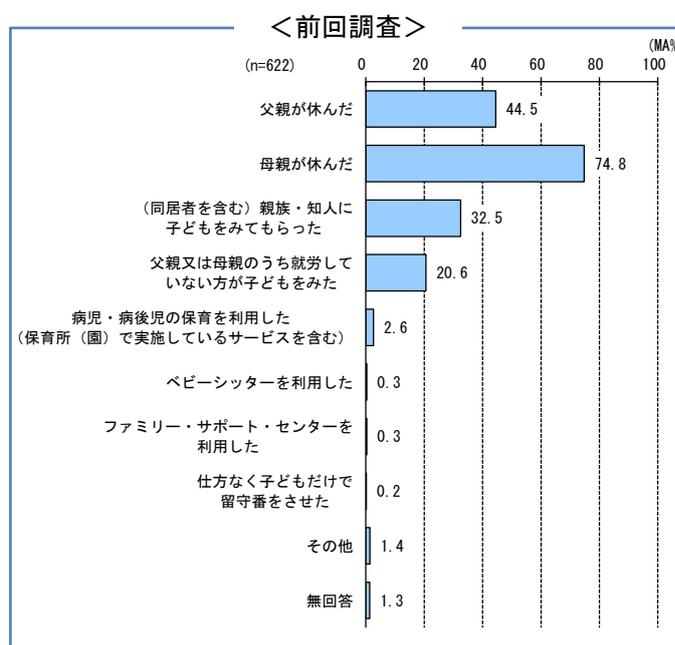
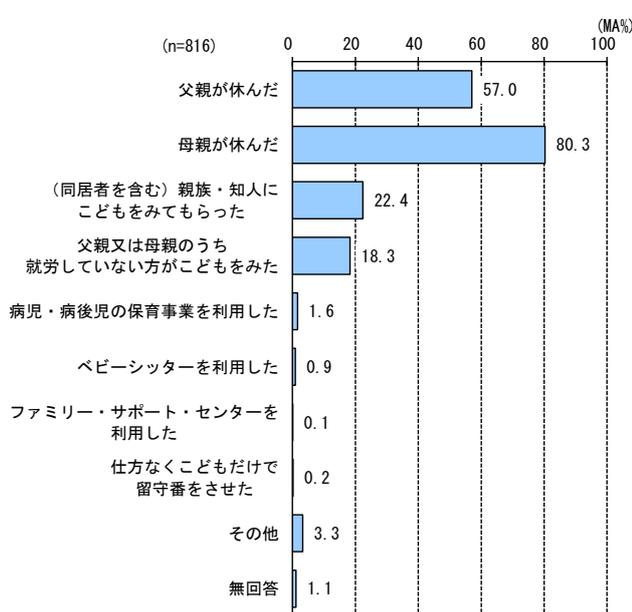
○地域子育て支援センターや児童館・児童センターを日曜日・祝日に「利用したい」のは 54.6%、「特に利用したいと思わない」のは 44.3%となっています。

## (5) 病気の際の対応

【病気やケガによるこどもの施設・事業の欠席】(就学前のこども 問22)  
問14-1で幼稚園、保育所、認定こども園等を利用していると回答した方



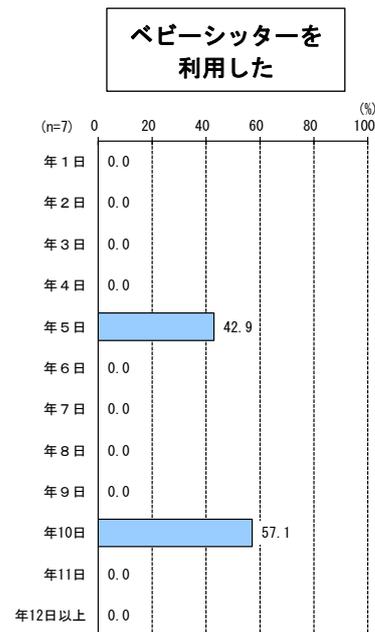
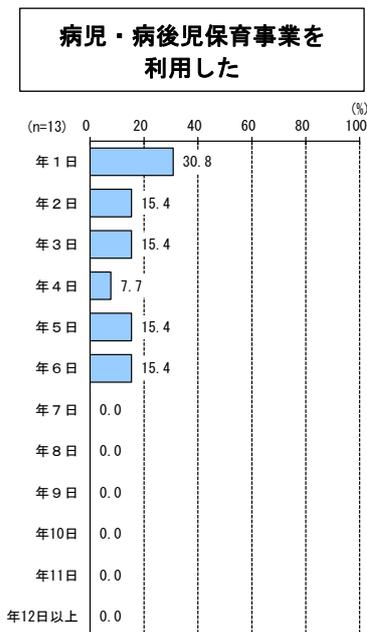
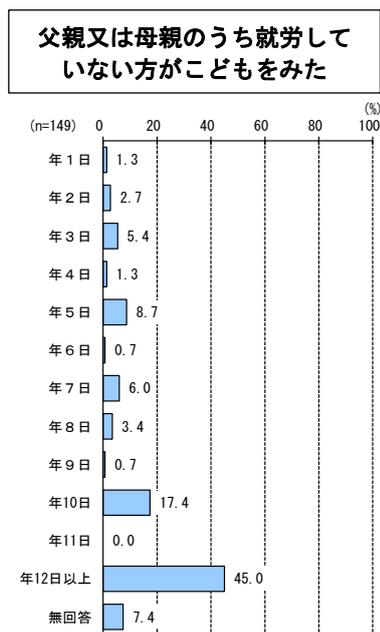
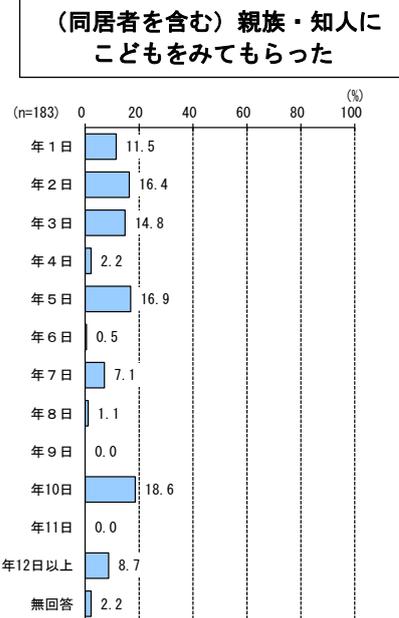
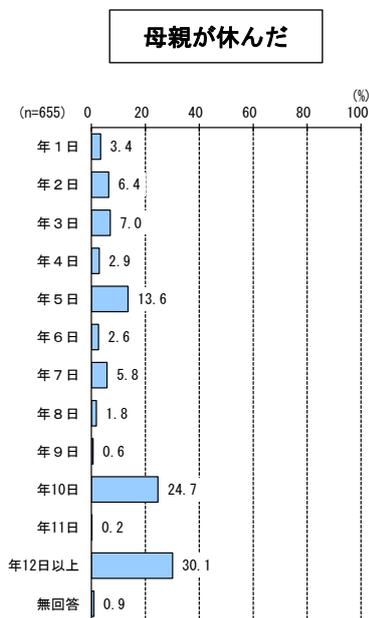
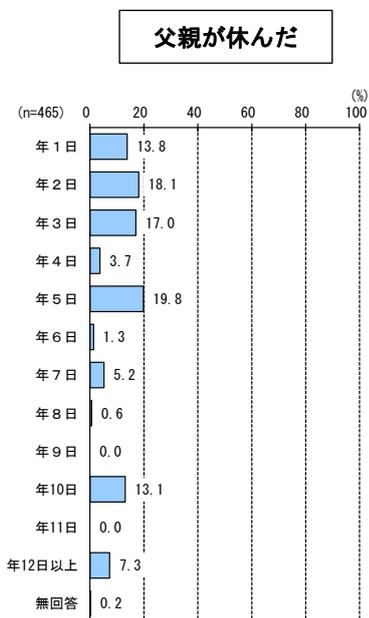
【普段の施設・事業が利用できなかった場合の対応 (MA)】  
(就学前のこども 問22-1) 問22で「あった」と回答した方



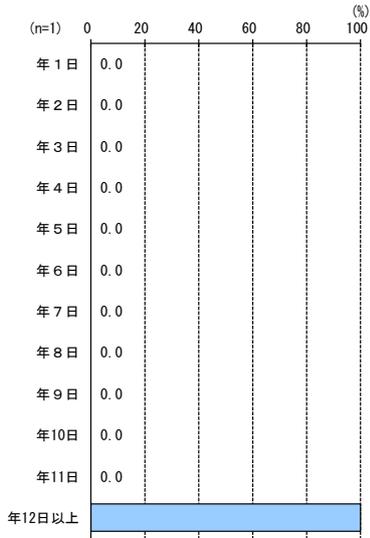
- 病気やケガによるこどもの施設・事業の欠席が「あった」のは84.2%となっています。前回調査と比較すると、「あった」のは81.9%から2.3ポイント上昇しています。
- そのうち、預かりサービス等が利用できなかった場合の対応について、「母親が休んだ」が80.3%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が57.0%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が22.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、「父親が休んだ」が44.5%から12.5ポイント、「母親が休んだ」が74.8%から5.5ポイント上昇し、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が32.5%から10.1ポイント低下しています。

【対応を行った日数】（就学前の子ども 問 22-1）

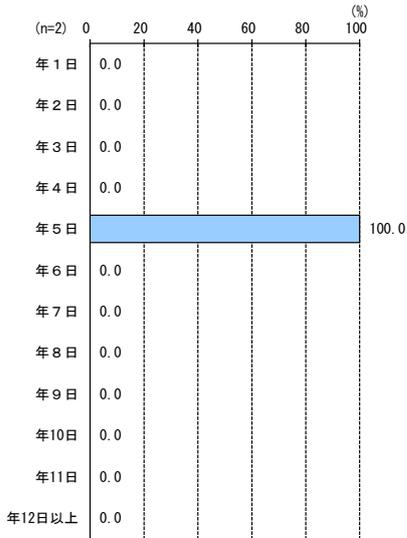
○対応を行った日数について、「父親が休んだ」「母親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」のは、年5日、年10日、年12日以上の回答割合が高い傾向がみられます。また、「病児・病後児保育事業を利用した」のは年6日以下となっています。



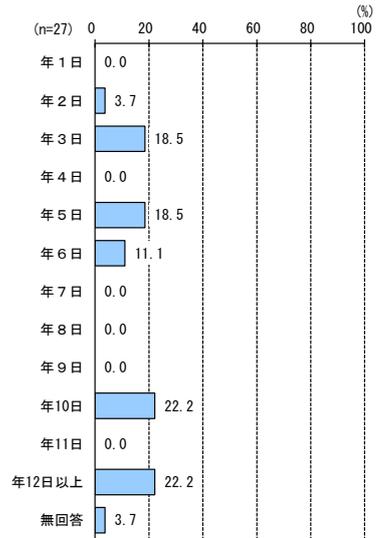
**ファミリー・サポート・センターを利用した**



**仕方なく子どもだけで留守番をさせた**



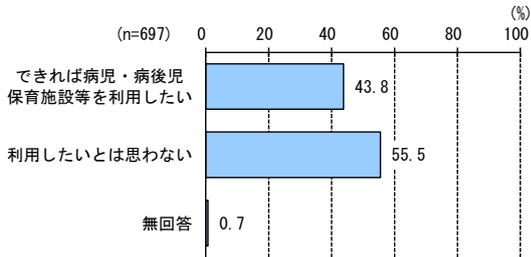
**その他**



＜その他の内容＞抜粋  
 在宅で仕事をしながらみた。  
 祖母にみてもらった。

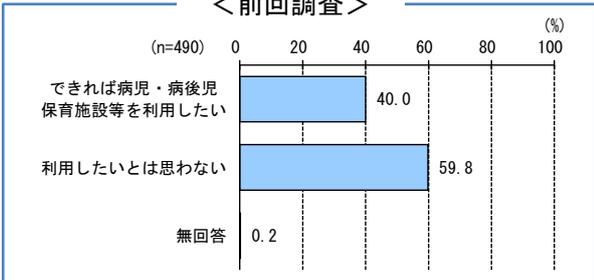
**【できれば病児・病後児保育施設等を利用したい】  
 (就学前の子ども 問22-2)**

問22-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した方



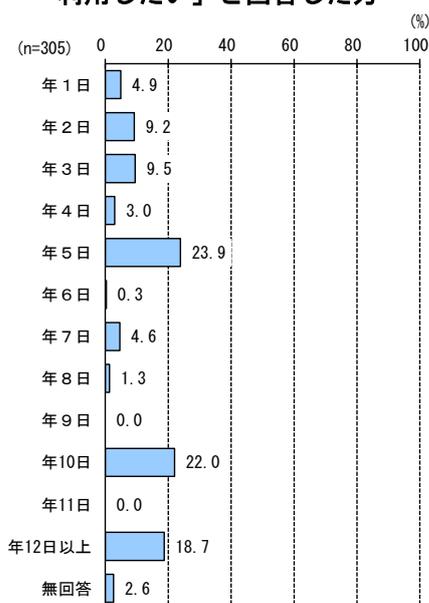
できれば病児・病後児保育施設等を利用したいのは43.8%となっています。  
 前回調査と比較すると、できれば病児・病後児保育施設等を利用したいのは40.0%から3.8ポイント上昇しています。

**＜前回調査＞**



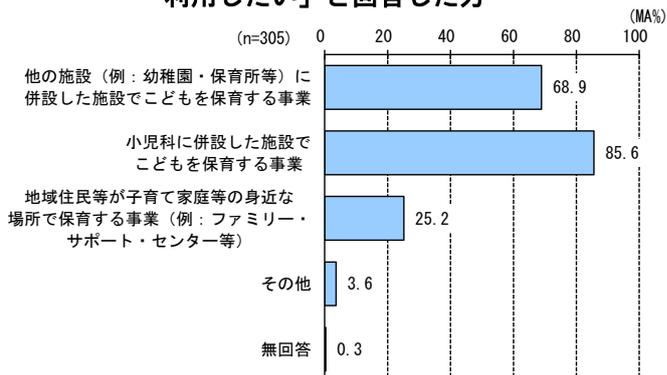
**【病児・病後児保育施設等で利用したい日数】**  
**(就学前のこども 問 22-2)**

問 22-2 で「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」と回答した方



**【病児・病後児保育施設等で望ましい事業形態 (MA)】**  
**(就学前のこども 問 22-3)**

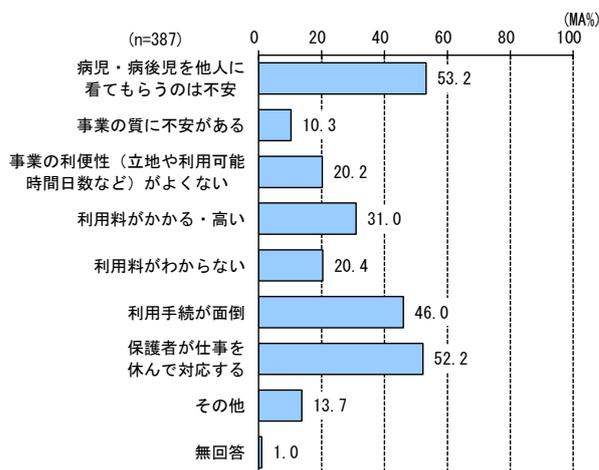
問 22-2 で「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」と回答した方



○病児・病後児保育施設等を利用したい日数について、「年 5 日」が 23.9%で最も高く、次いで「年 10 日」が 22.0%、「年 12 日以上」が 18.7%となっています。

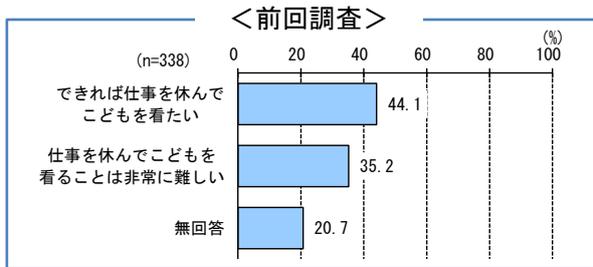
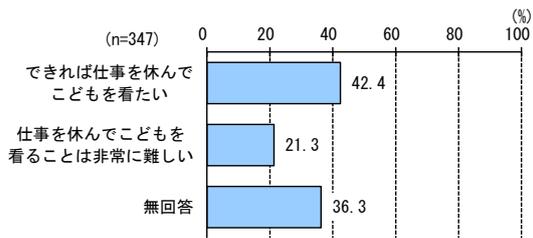
○病児・病後児保育施設等で望ましい事業形態について、「小児科に併設した施設でこどもを保育する事業」が 85.6%で最も高く、次いで「他の施設 (例：幼稚園・保育所等) に併設した施設でこどもを保育する事業」が 68.9%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例：ファミリー・サポート・センター等)」が 25.2%となっています。

**【病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 (MA)】 (就学前のこども 問 22-4)**  
**問 22-2 で「利用したいとは思わない」と回答した方**

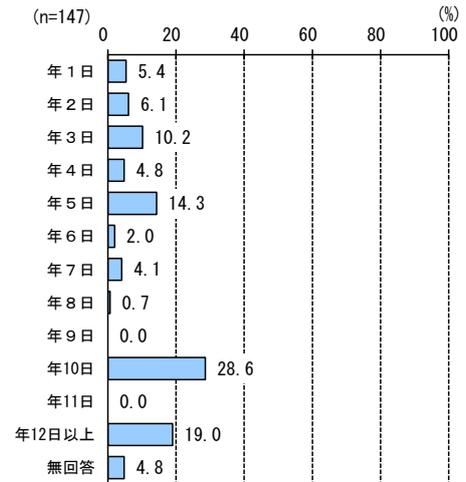


○病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由について、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 53.2%で最も高く、次いで「保護者が仕事を休んで対応する」が 52.2%、「利用手続きが面倒」が 46.0%となっています。

**【できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい】**  
**(就学前の子ども 問 22-5)**  
**問 22-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」**  
**以外に回答した方**



**【仕事を休んで子どもを看たい日数】**  
**(就学前の子ども 問 22-5)**  
**問 22-5 で「できれば病児・病後児保育事業を**  
**利用したい」と回答した方**

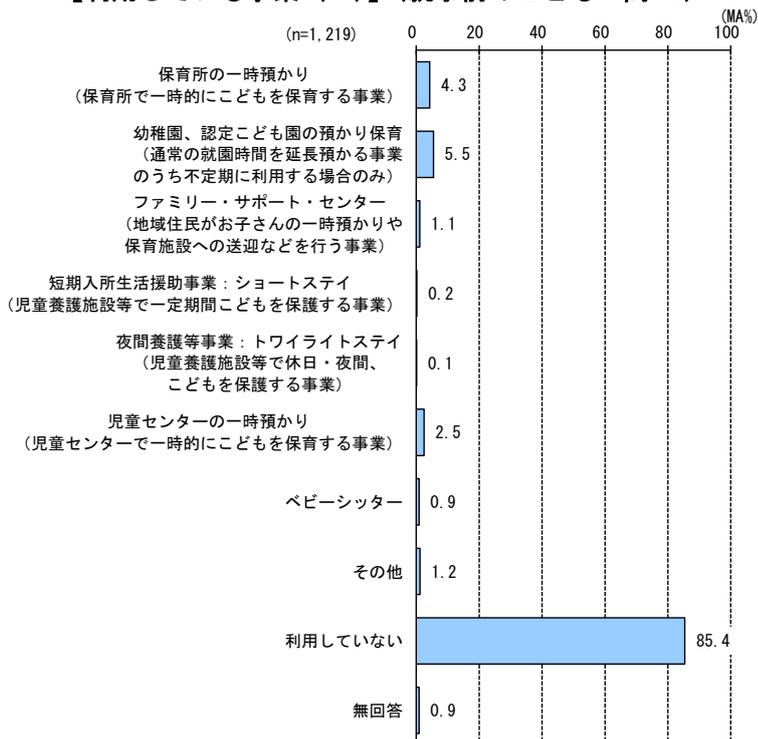


○父母のいずれかが「できれば仕事を休んで看たい」のは42.4%、「仕事を休んで子どもを看るとは非常に難しい」のは21.3%となっています。前回調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」のは44.1%から1.7ポイント低下し、「仕事を休んで子どもを看るとは非常に難しい」のは35.2%から13.9ポイント低下しています。

○仕事を休んで子どもを看たい日数について、「年10日」が28.6%で最も高く、次いで「年12日以上」が19.0%、「年5日」が14.3%となっています。

## (6) 一時預かり等の利用状況

### 【利用している事業 (MA)】(就学前の子ども 問23)

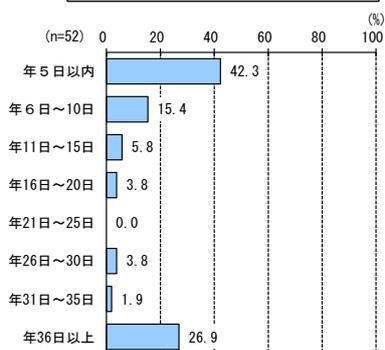


○一時預かり等の事業のうち、利用しているのが最も多いのは、「幼稚園、認定こども園の預かり保育」、次いで「保育所の一時預かり」となっています。また、「利用していない」が85.4%となっています。

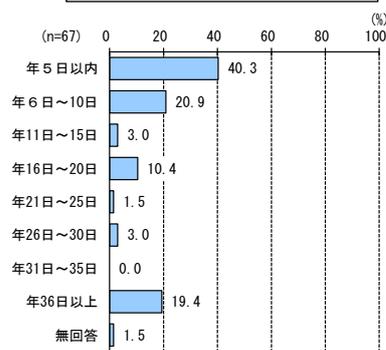
### 【利用している日数】(就学前の子ども 問23)

○利用している日数について、「保育所の一時預かり」「幼稚園、認定こども園の預かり保育」「ファミリー・サポート・センター」では「年5日以内」が最も高く、いずれも40%を超えています。また、「年36日以上」も約20%となっています。

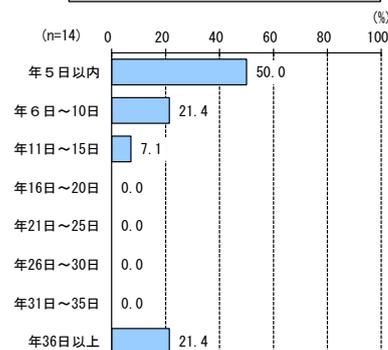
#### 保育所の一時預かり



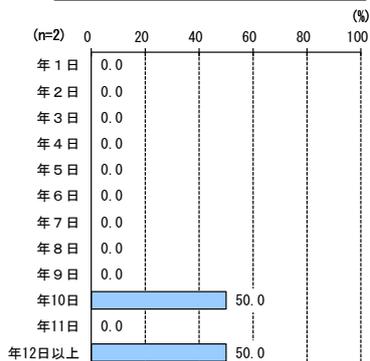
#### 幼稚園、認定こども園の預かり保育



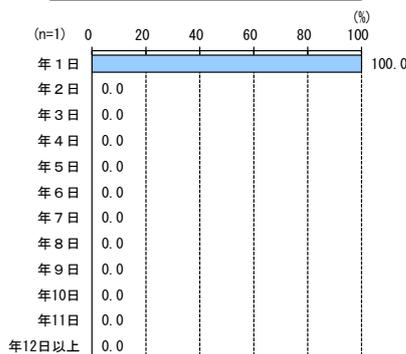
#### ファミリー・サポート・センター



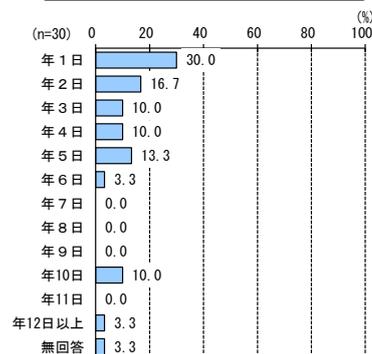
#### 短期入所生活援助事業：ショートステイ

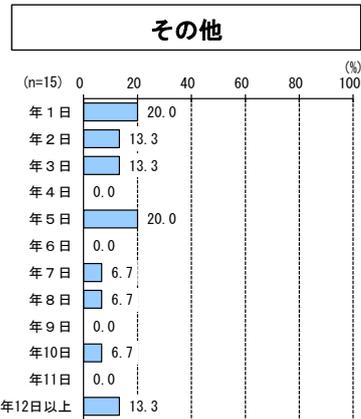
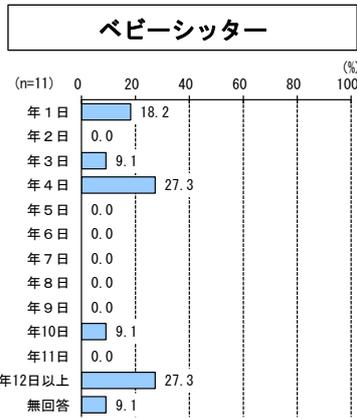


#### 夜間養護等事業：トワイライトステイ

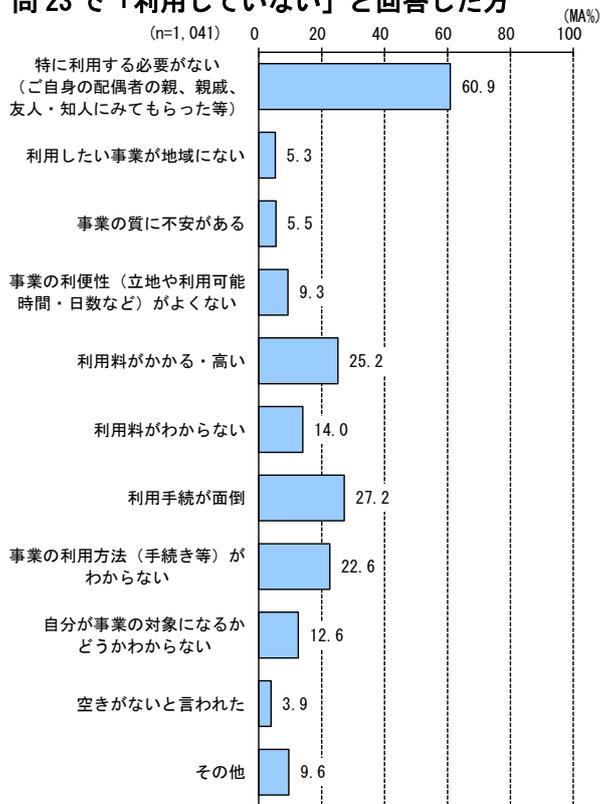


#### 児童センターの一時預かり





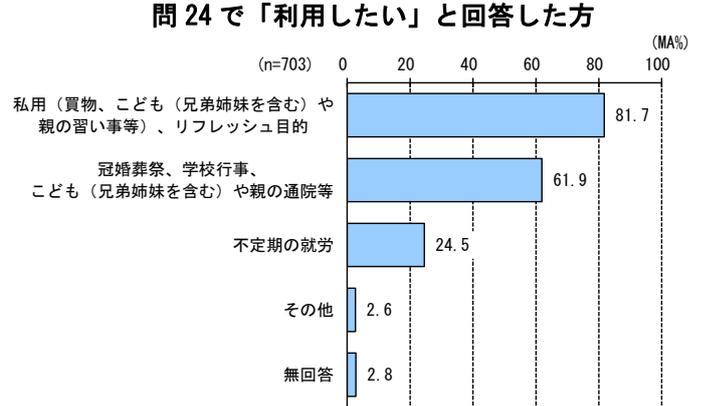
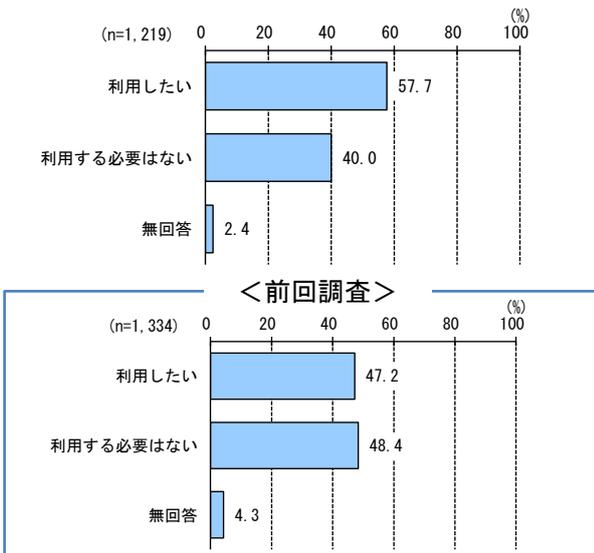
**【一時預かり等を利用していない理由 (MA)】**  
**(就学前の子ども 問 23-1)**  
**問 23 で「利用していない」と回答した方**



○一時預かり等を利用していない理由について、「特に利用する必要がない(ご自身の配偶者の親、親戚、友人・知人にみてもらった等)」が60.9%で最も高く、次いで「利用手続きが面倒」が27.2%、「利用料がかかる・高い」が25.2%となっています。

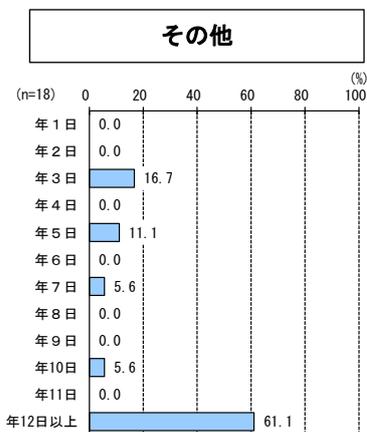
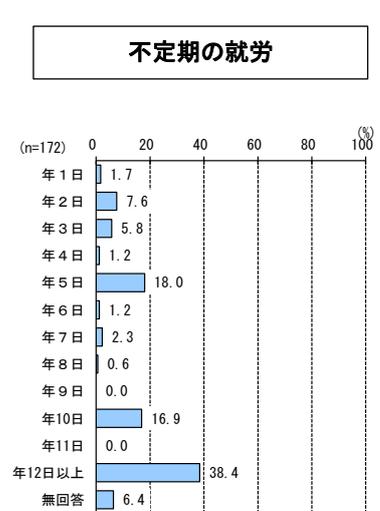
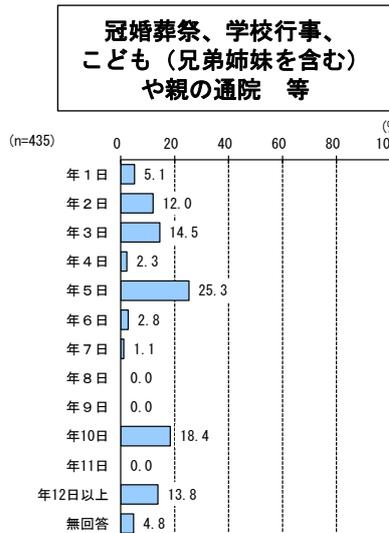
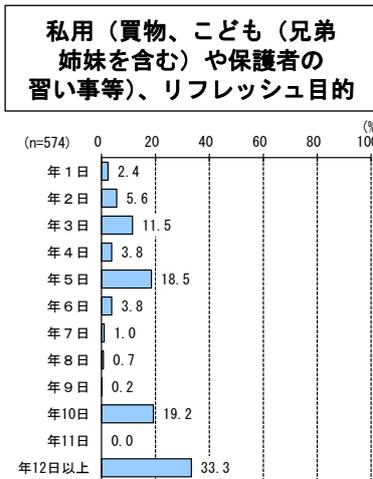
【一時預かり等事業の利用希望】（就学前の子ども 問 24）

【事業の利用目的】（就学前の子ども 問 24）



○一時預かり等の事業を利用したいのは57.7%となっています。前回調査と比較すると、「利用したい」は47.2%から10.5ポイント上昇しています。  
 ○事業を利用する目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的」が81.7%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が61.9%となっています。

【利用したい日数】（就学前の子ども 問 24）  
問 24 で「利用したい」と回答した方

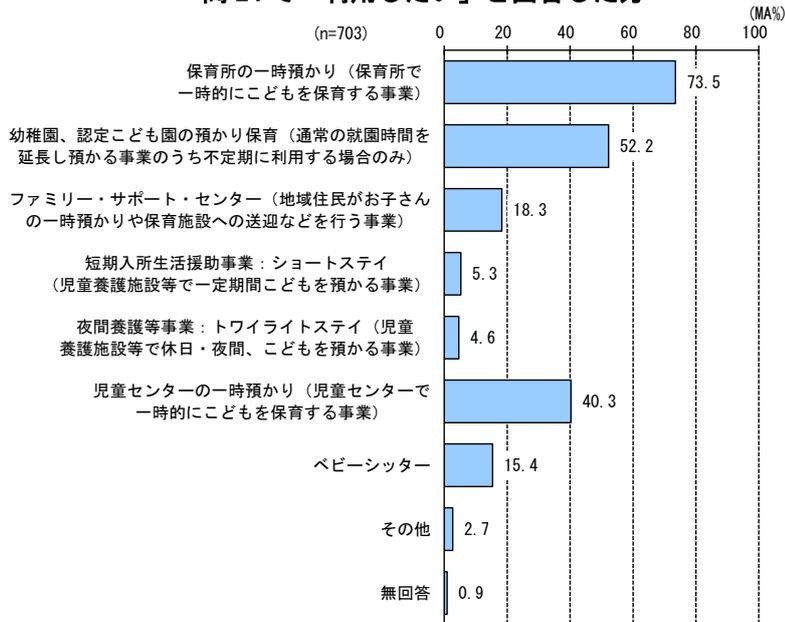


○利用したい日数について、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的」「不規則の就労」では「年12回以上」が最も高く、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」では「年5回」が最も高くなっています。

＜その他の内容＞抜粋

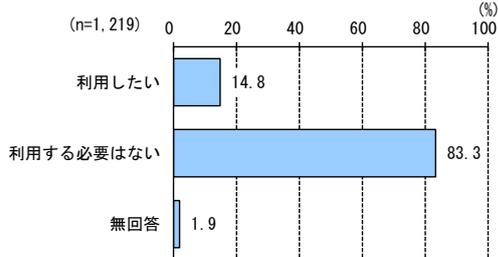
- 就職活動
- 定期的な就労
- ビジネススクール

【一時預かり等で望ましい事業形態 (MA)】(就学前の子ども 問 24-1)  
問 24 で「利用したい」と回答した方



○一時預かり等で望ましい事業形態について、「保育所の一時預かり」が73.5%で最も高く、次いで「幼稚園、認定こども園の預かり保育」が52.2%、「児童センターの一時預かり」が40.3%となっています。

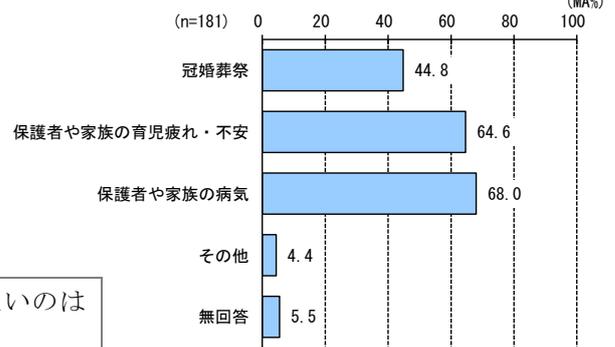
【泊りがけでの一時預かり等の利用意向 (MA)】  
(就学前の子ども 問 25)



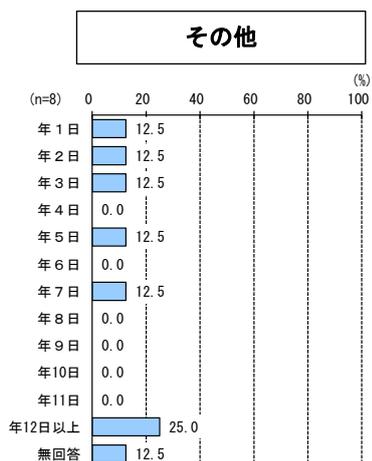
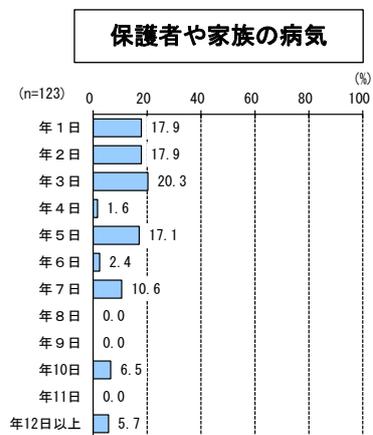
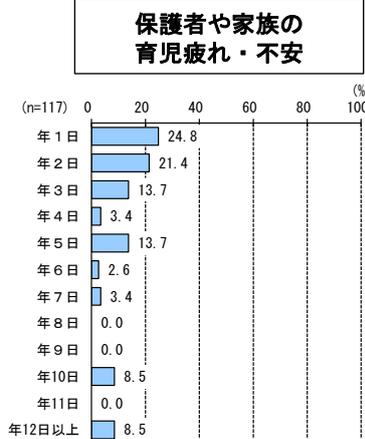
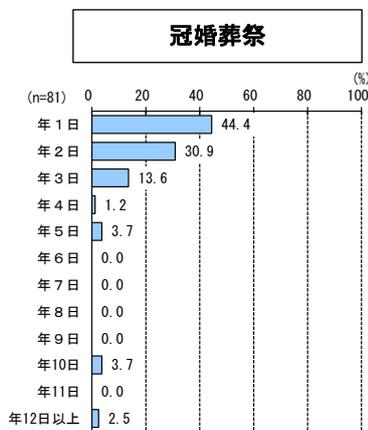
○泊りがけでの一時預かり等の事業を利用したいのは 14.8%となっています。

○事業を利用する目的は、「保護者や家族の病気」が 68.0%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 64.6%、「冠婚葬祭」が 44.8%となっています。

【事業の利用目的】(就学前の子ども 問 25)  
問 25 で「利用したい」と回答した方



【利用したい日数】(就学前の子ども 問 25)  
問 25 で「利用したい」と回答した方



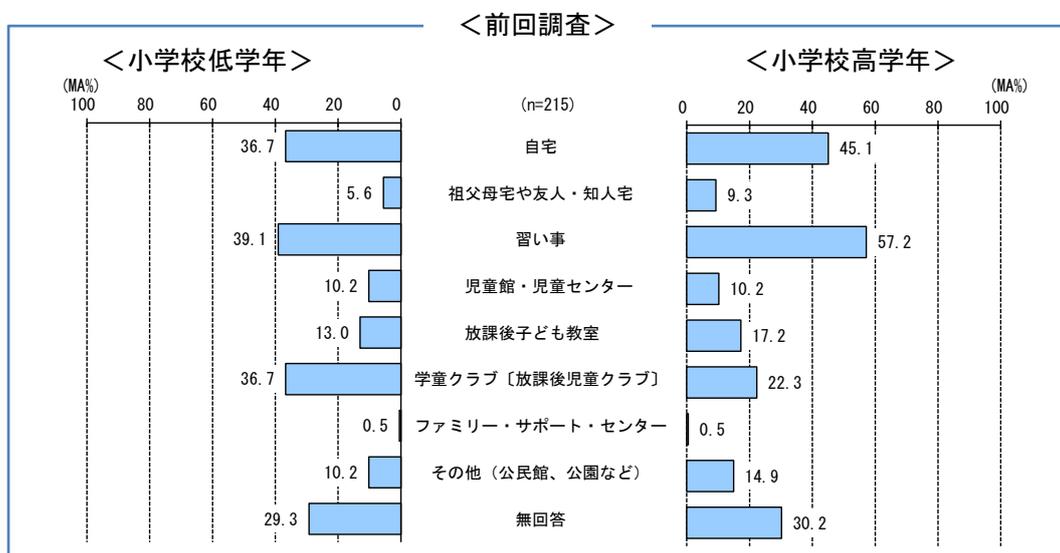
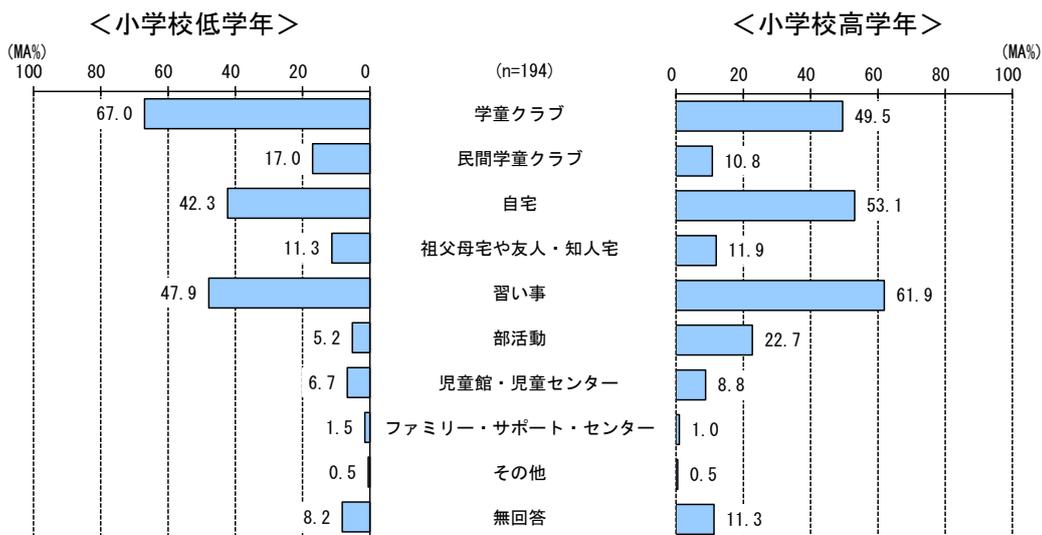
○利用したい日数について、「冠婚葬祭」では年3日以下が合わせて 88.9%となっています。「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」では年3日以下が合わせて 50%を超えているほか、「年5回」が10%を超えています。

<その他の内容>

- 出張(行けない状況ですが…)
- 産前、産後
- その時にならないと分からない

## (7) 小学校就学後の放課後の過ごし方

【小学校のうち、放課後に過ごさせたい場所(MA)】(就学前の子ども 問26)  
 子どもが5歳児以上の方

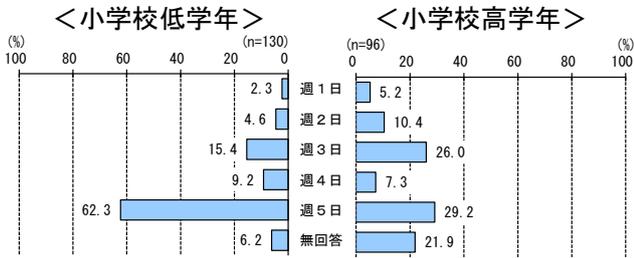


- 小学校低学年では「児童クラブ」が 67.0%で最も高く、次いで「習い事」が 47.9%、「自宅」が 42.3%となっています。
- 小学校高学年では「習い事」が 61.9%で最も高く、次いで「自宅」が 53.1%、「児童クラブ」が 49.5%となっています。
- 前回調査では、「児童クラブ(放課後児童クラブ)」が小学校低学年では 36.7%、小学校高学年では 22.3%で、今回調査では「児童クラブ」が前回調査を大きく上回っています。

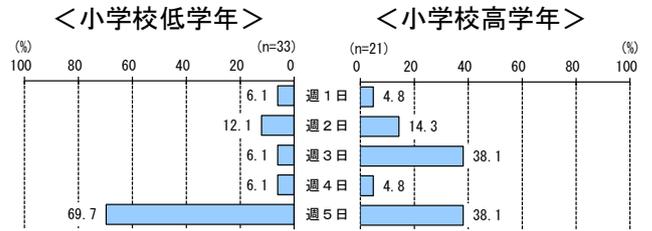
**【放課後に利用させたい日数】（就学前のこども 問26）**

- 「学童クラブ」「民間学童クラブ」「自宅」は、小学校低学年・小学校高学年のいずれも「週5日」が最も高くなっています。  
 ○「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「部活動」は、小学校低学年・小学校高学年のいずれも「週1回」「週2回」が高くなっています。

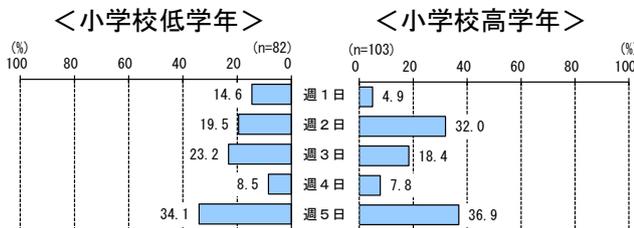
**学童クラブ**



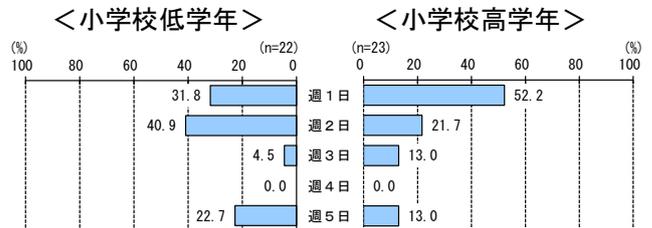
**民間学童クラブ**



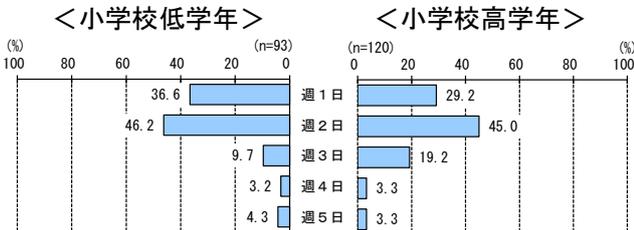
**自宅**



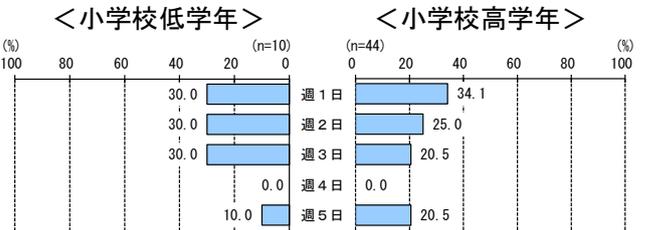
**祖父母宅や友人・知人宅**



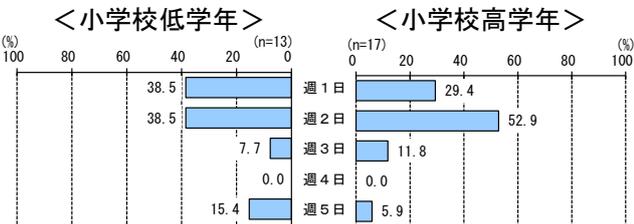
**習い事**



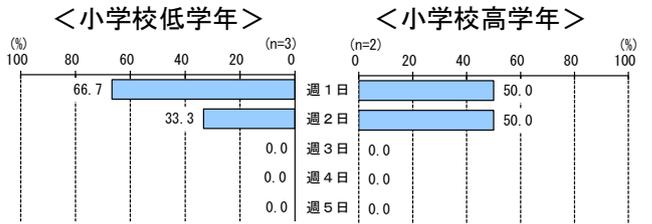
**部活動**



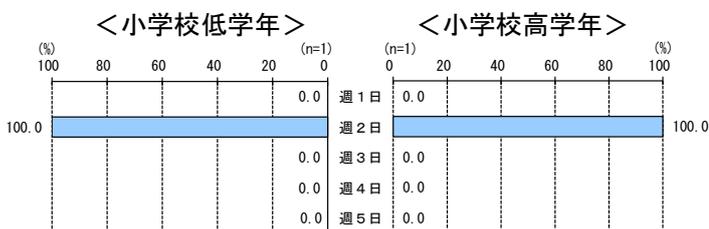
**児童館・児童センター**



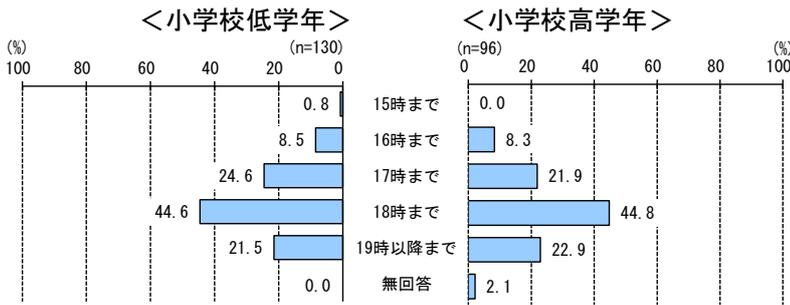
**ファミリー・サポート・センター**



**その他**

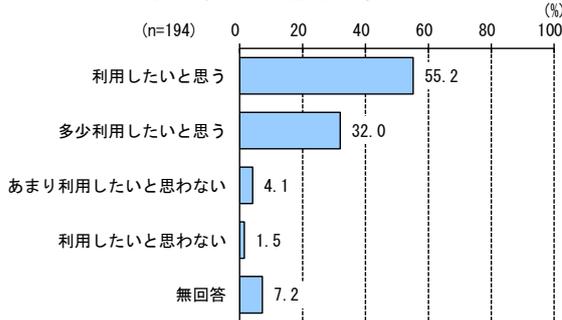


**【学童クラブを利用したい時間】(就学前のこども 問 26)**  
問 26 で「学童クラブ」と回答した方



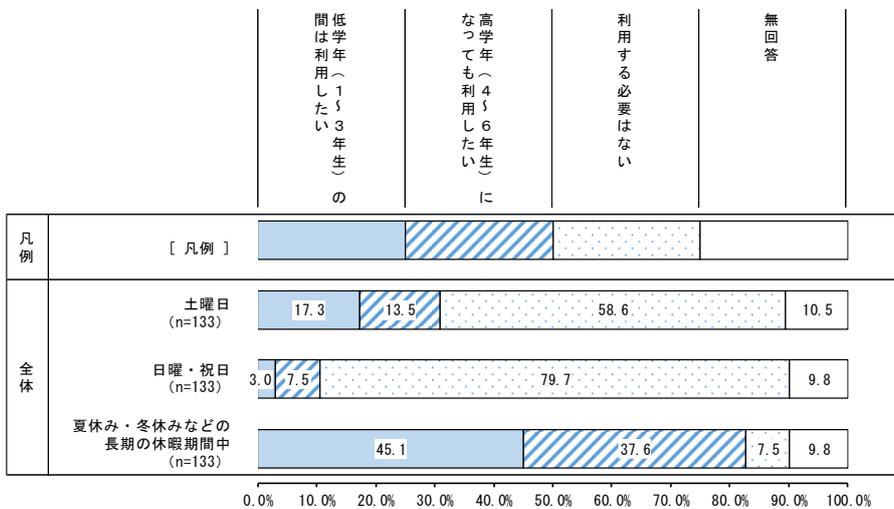
○学童クラブを利用したい時間について、小学校低学年・小学校高学年のいずれも「18時まで」が最も高く、40%を超えています。小学校低学年では「17時まで」、小学校高学年では「19時以降まで」が2番目に高くなっています。

**【「放課後のこどもの居場所」の利用意向】(就学前のこども 問 26-1)**



○「放課後のこどもの居場所」の利用意向について、「利用したいと思う」が55.2%で最も高く、「利用したいと思う」「多少利用したいと思う」は合わせて87.2%となっています。

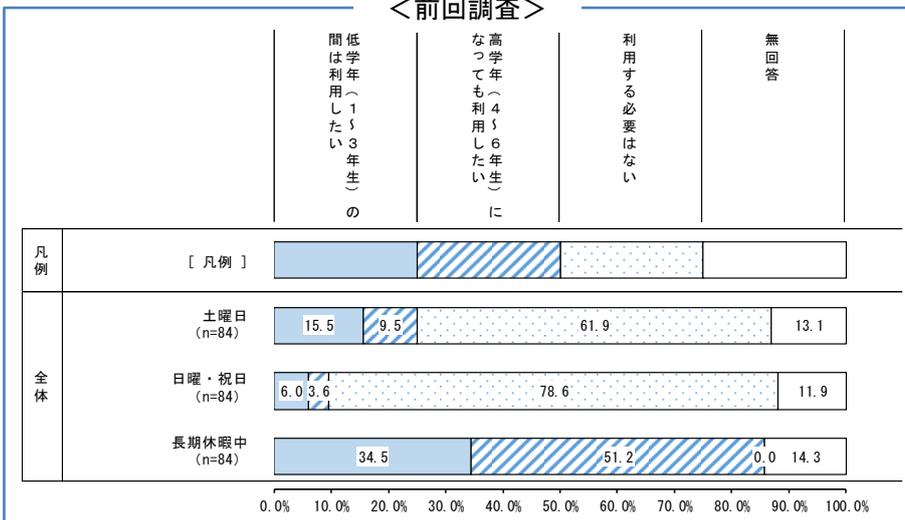
**【学童クラブの利用意向】(就学前のこども 問 27)**  
問 26 で「学童クラブ」と回答した方



○学童クラブの利用意向について、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中では「低学年(1~3年生)の間は利用したい」「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が約40%となっています。また、「利用する必要がない」が日曜・祝日で79.7%、土曜日で58.6%となっています。

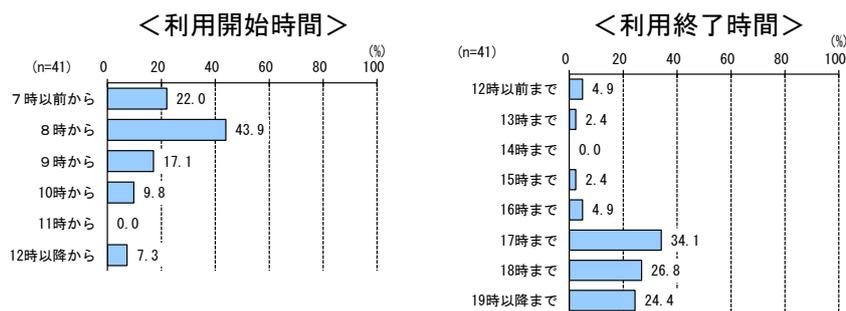
○前回調査と比較すると、土曜日は「低学年(1~3年生)の間は利用したい」「高学年(4~6年生)になっても利用したい」、日曜・祝日は「高学年(4~6年生)になっても利用したい」、長期休暇中は「低学年(1~3年生)の間は利用したい」で、今回調査の割合が上回っています。

**＜前回調査＞**

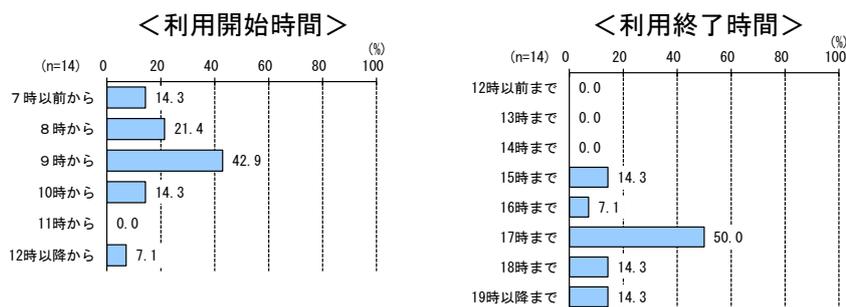


【学童クラブを利用したい時間帯】（就学前のこども 問27）

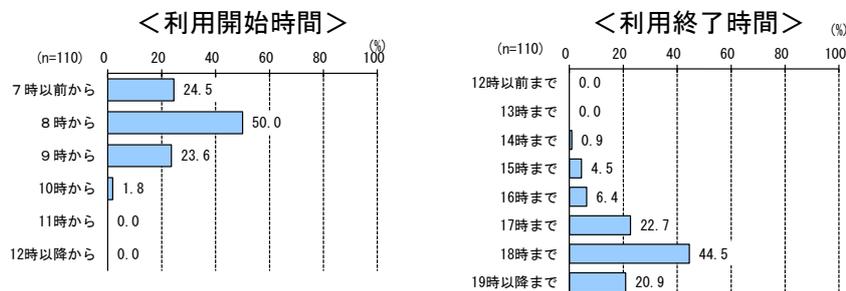
土曜日



日曜日・祝日



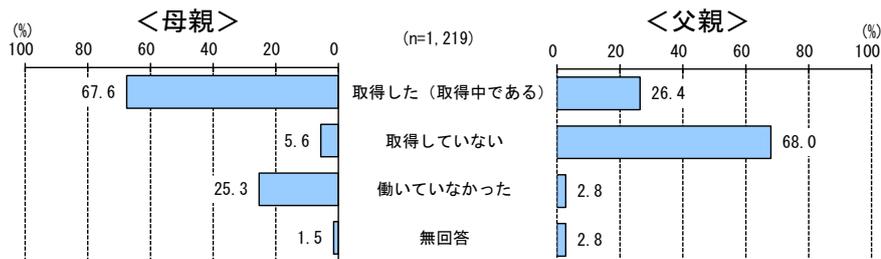
夏休み・冬休みなどの  
長期の休暇期間中



- 学童クラブを利用したい場合の開始時間について、「土曜日」「夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中」は「8時から」、「日曜日・祝日」は「9時から」が最も高くなっています。
- 終了時間について、「土曜日」は「17時まで」が最も高く、「18時まで」「19時以降まで」が20%を超えています。「日曜日・祝日」は「17時まで」、「夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中」は「18時まで」が最も高くなっています。

## (8) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度の利用状況

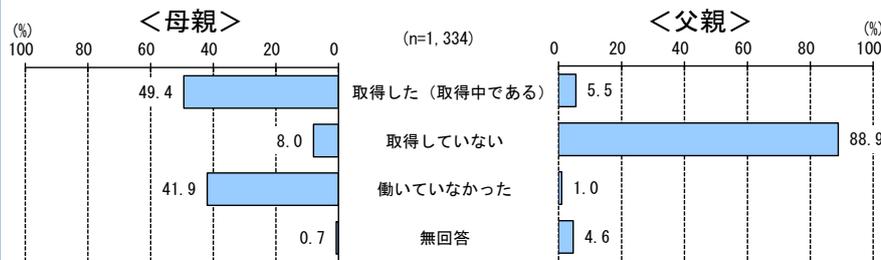
### 【育児休業の取得状況】(就学前の子ども 問28)



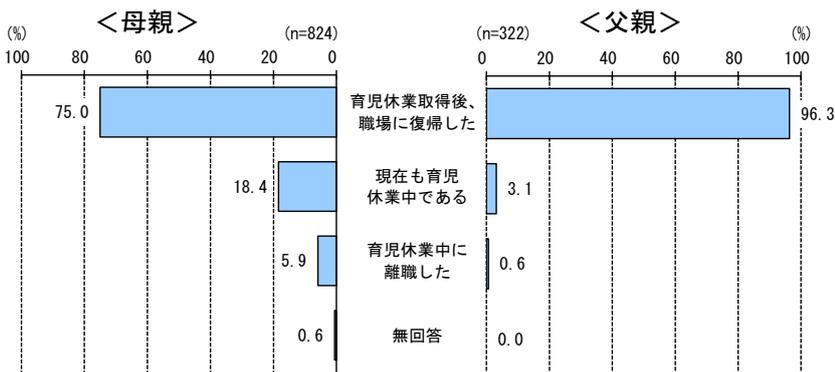
○育児休業の取得状況について、「取得した(取得中である)」のは母親が67.6%、父親が26.4%となっています。

○前回調査と比較すると、「取得した(取得中である)」のは母親が49.4%から18.2ポイント、父親が5.5%から20.9ポイント上昇しています。

### <前回調査>



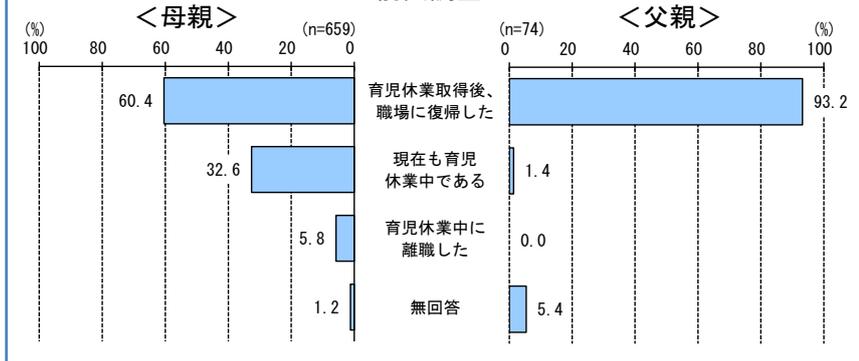
### 【育児休業後の職場復帰状況】(就学前の子ども 問28-1) 問28で「取得した(取得中である)」と回答した方



○育児休業後の職場復帰状況について、「育児休業取得後、職場に復帰した」のは母親が75.0%、父親が96.3%となっています。

○前回調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」のは母親が60.4%から14.6ポイント上昇し、父親が93.2%から3.1ポイント上昇しています。

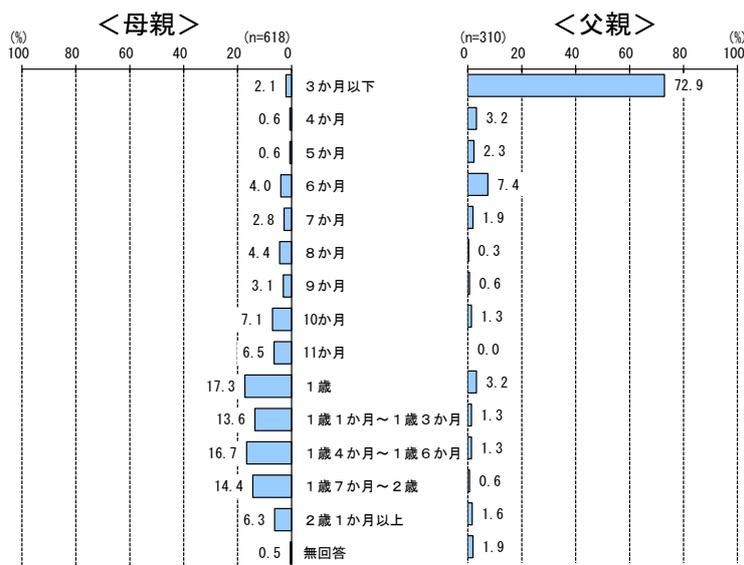
### <前回調査>



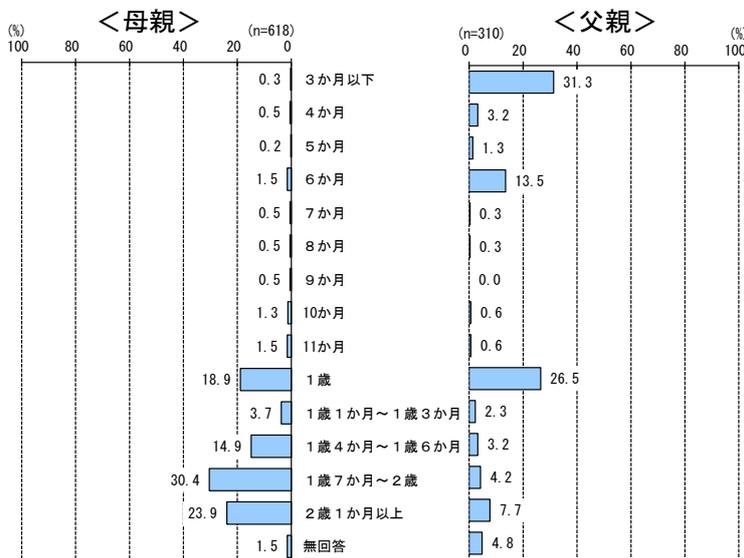
**【育児休業の取得期間及び希望】（就学前のこども 問 28-2）**  
**問 28-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方**

- 母親の育児休業から復帰したときのこどもの年齢について、希望では「1歳7か月～2歳」が30.4%で最も高く、次いで「2歳1か月以上」「1歳」となっています。実際には、「1歳」が17.3%で最も高く、次いで「1歳4か月～1歳6か月」「1歳7か月～2歳」となっています。
- 父親の育児休業から復帰したときのこどもの年齢について、希望では「3か月以下」が31.3%で最も高く、次いで「1歳」「6か月」となっています。実際には、「3か月以下」が72.9%で最も高く、次いで「6か月」「1歳」「4か月」となっています。

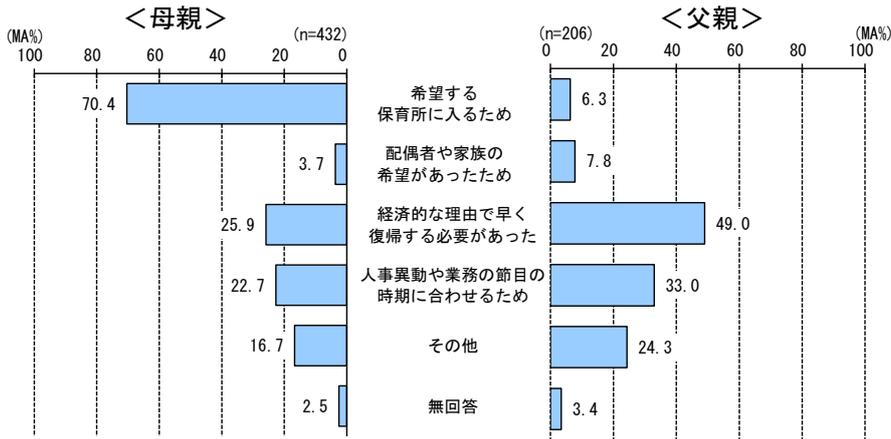
**育児休業から復帰したときのこどもの年齢（実際）**



**育児休業から復帰したときのこどもの年齢（希望）**

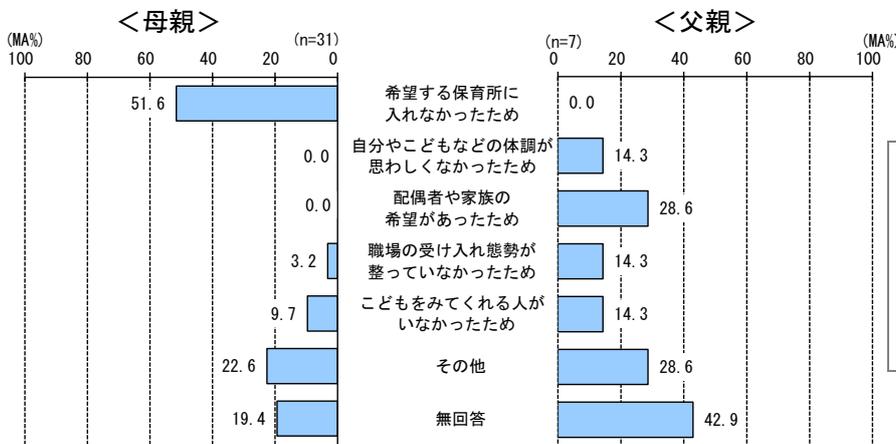


**【希望より早く復帰した理由 (MA)】(就学前のこども 問 28-2-1(1))**  
**問 28-2 で「実際の取得期間」と「希望」が異なる方**



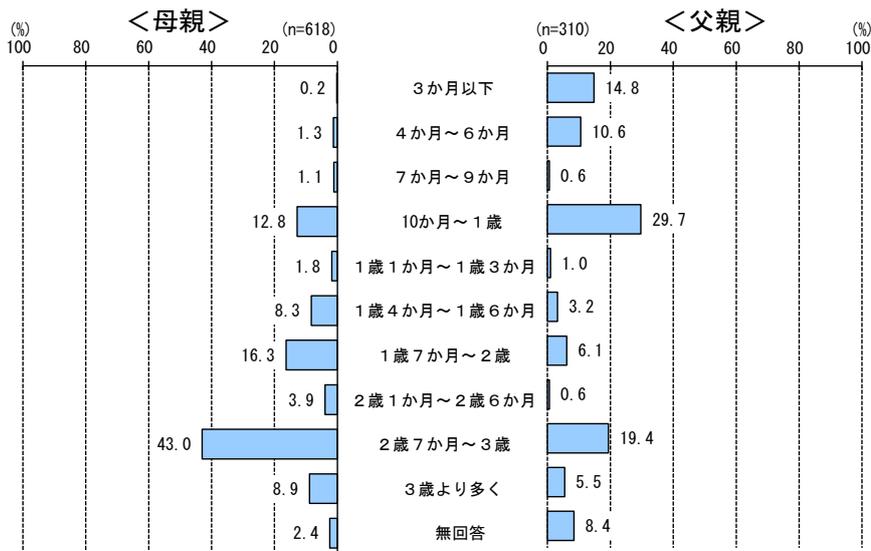
○希望より早く復帰した理由について、母親では「希望する保育所に入るため」が70.4%、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が49.0%で最も高くなっています。

**【希望より遅く復帰した理由 (MA)】(就学前のこども 問 28-2-1(2))**  
**問 28-2 で「実際の取得期間」と「希望」が異なる方**



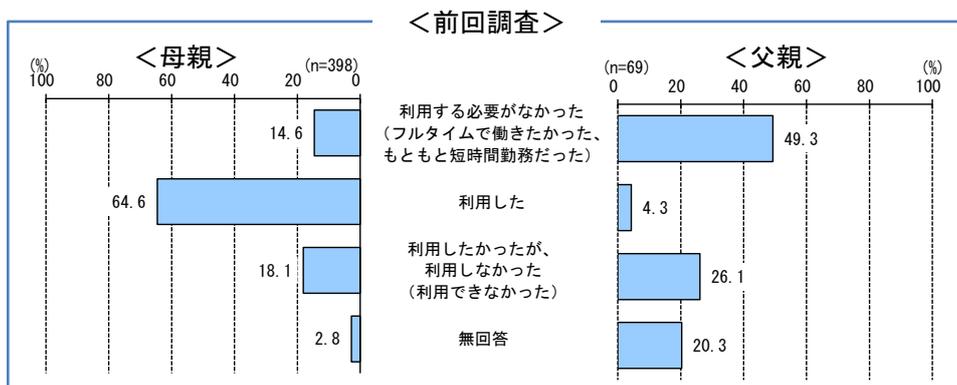
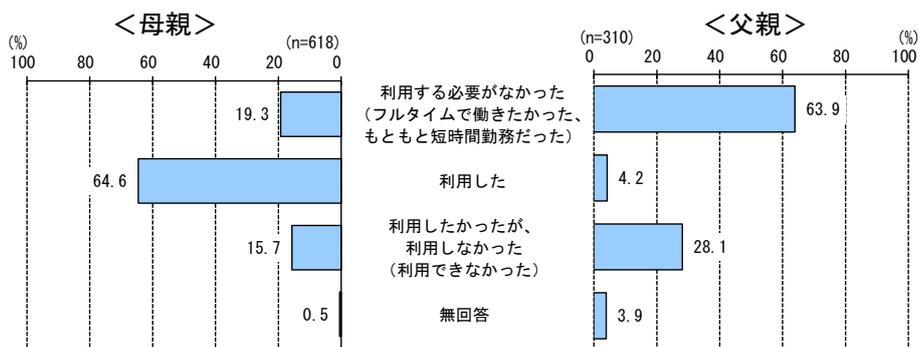
○希望より遅く復帰した理由について、母親では「希望する保育所に入るため」が51.6%、父親では「配偶者や家族の希望があったため」が28.6%で最も高くなっています。

**【3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、育児休暇を取りたかった時期】(就学前のこども 問 28-3)**



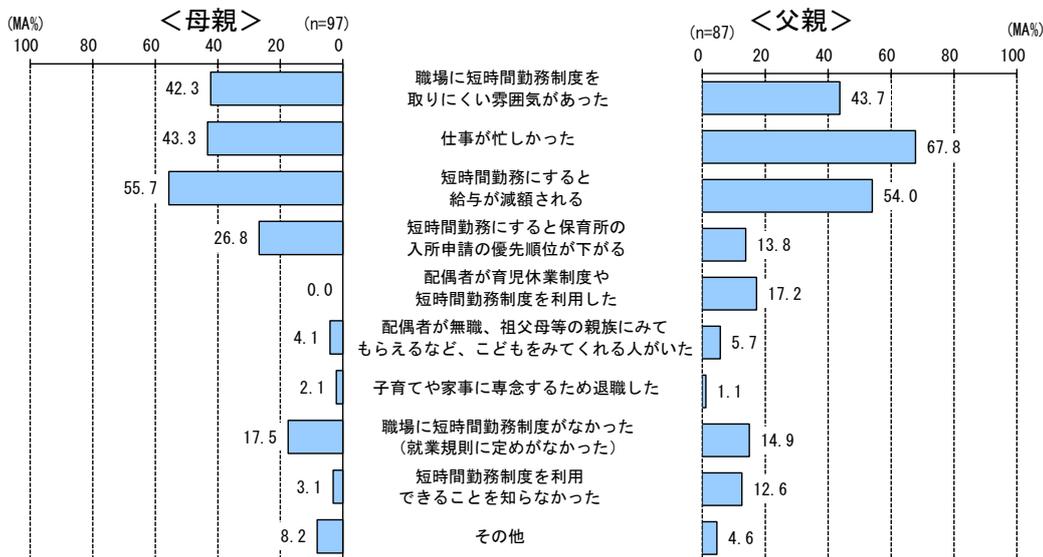
○3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、育児休暇を取りたかった時期について、母親では「2歳7か月～3歳」が43.0%、父親では「10か月～1歳」が29.7%で最も高くなっています。

【短時間勤務制度の利用状況】（就学前の子ども 問 28-4）



- 短時間勤務制度の利用状況について、母親では「利用した」が 64.6%、父親では「利用する必要がなかった」が 63.9%で最も高くなっています。
- 前回調査と比較すると、「利用した」は母親、父親ともに差はほぼみられないものの、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」は母親が 18.1%から 2.4ポイント低下し、父親が 26.1%から 2.0ポイント上昇しています。

【短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由（MA）】（就学前の子ども 問 28-5）  
問 28-4 で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方

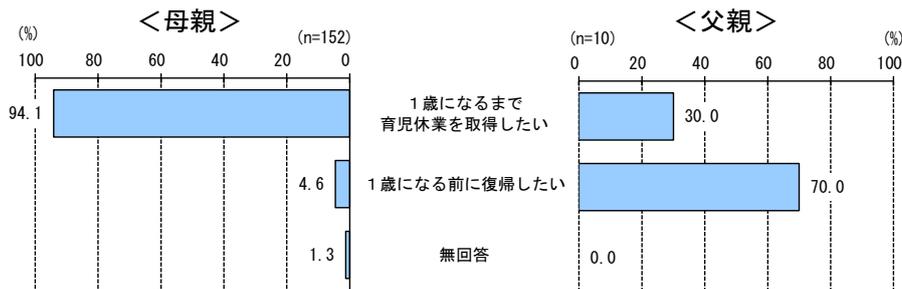


- 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由について、母親では「短時間勤務にすると給与が減額される」が 55.7%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 43.3%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 42.3%となっています。父親では、「仕事が忙しかった」が 67.8%で最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が 54.0%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 43.7%となっています。

【こどもが1歳になるまでの育児休業の取得意向】

(就学前のこども 問 28-6)

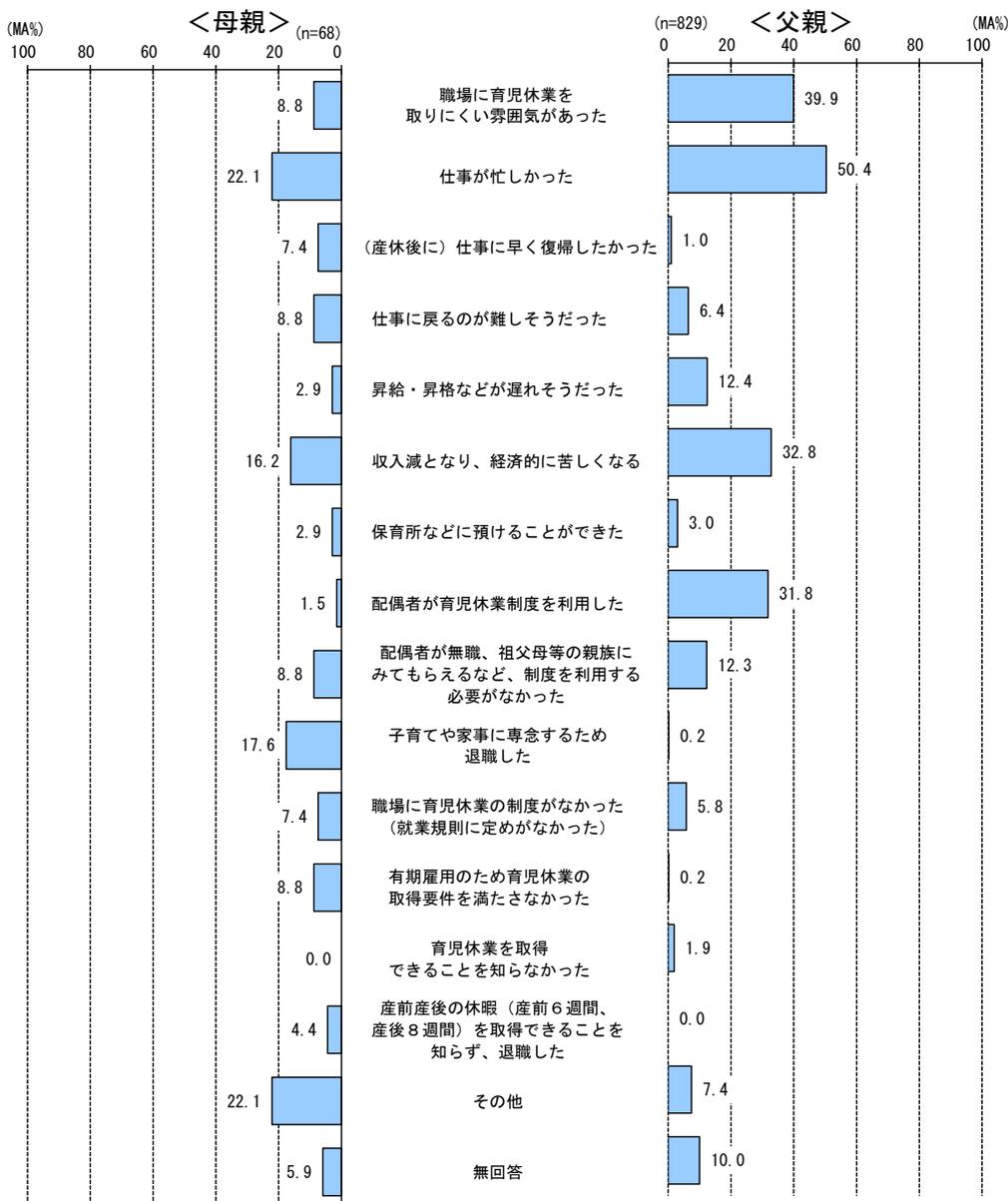
問 28-1 で「現在も育児休業中である」と回答した方



○こどもが1歳になるまでの育児休業の取得意向について、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が94.1%、父親では「1歳になる前に復帰したい」が70.0%で最も高くなっています。

【育児休業を取得していない理由 (MA)】(就学前のこども 問 28-7)

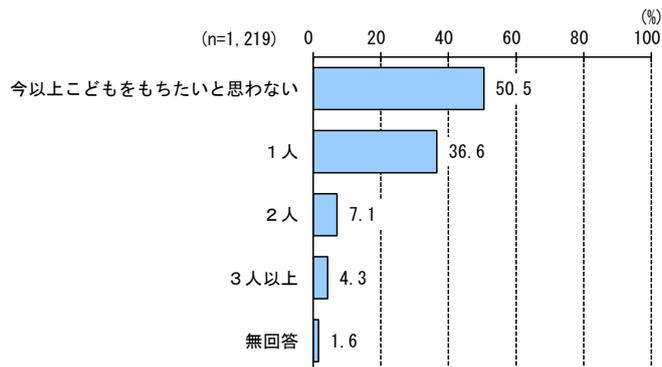
問 28 で「取得していない」と回答した方



○育児休業を取得していない理由について、母親では「仕事が忙しかった」が22.1%で最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が17.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が16.2%となっています。父親では「仕事が忙しかった」が50.4%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が39.9%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が32.8%となっています。

## (9) 理想の人数のこどもを育てるために必要な支援

### 【今後こどもをもつ意向】(就学前のこども 問 29)

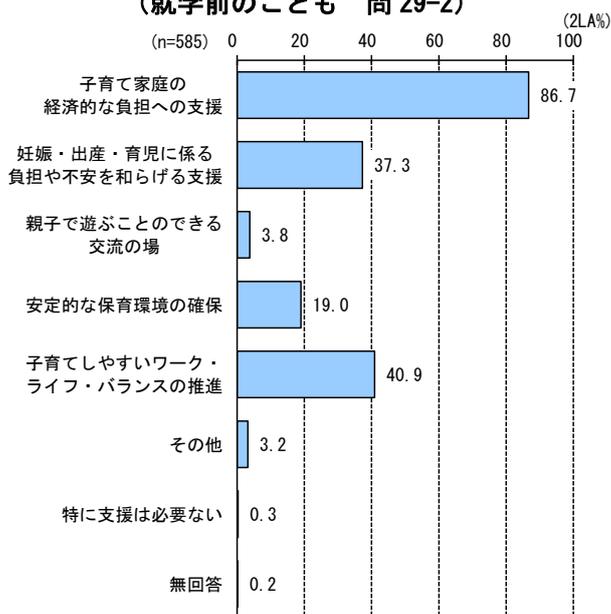


○今後こどもをもちたい人数について、「1人」が36.6%となっています。また、「今以上こどもをもちたいと思わない」は50.5%となっています。

### 【今以上こどもをもちたいと思わない理由】抜粋(就学前のこども 問 29-1) 問 29 で「今以上こどもをもちたいと思わない」と回答した方

- 1人で十分。
- 2人でとても満足している / 2人で精一杯
- 3人でとても満足している / 3人で精一杯
- 金銭的負担が大きくなるため。
- 体力的に難しい。
- 共働きで育てられる自信がない。
- 高齢出産になるため。
- つわりに耐えられない。
- 住居が狭くなる。
- 頼れる親族が身近にいない。

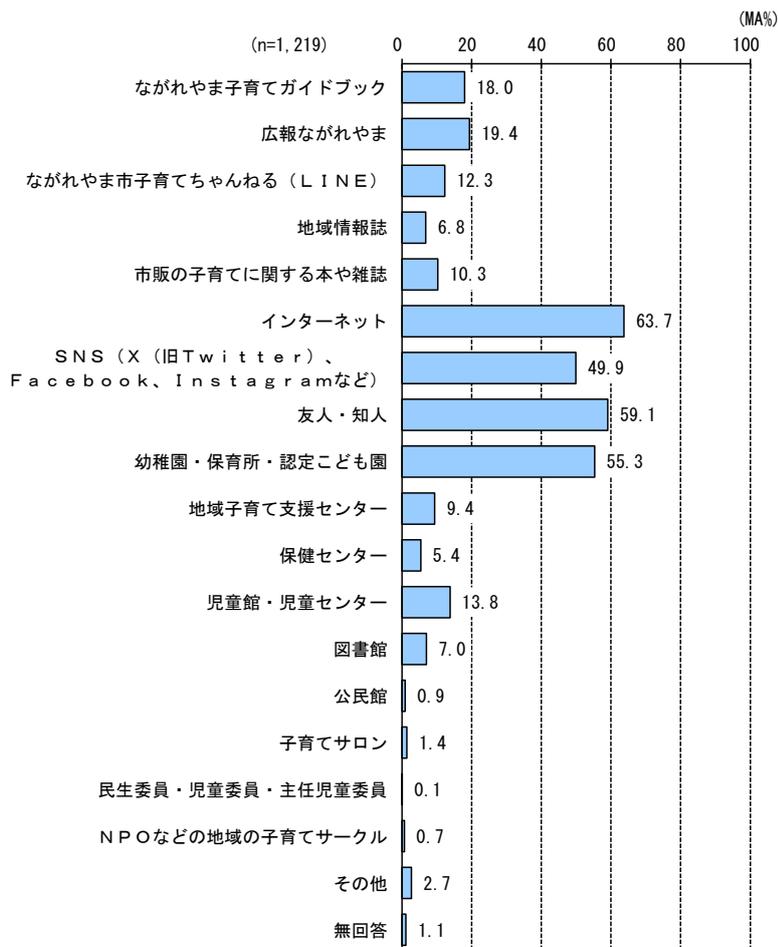
### 【これからこどもをもつために必要と思われる支援・条件(2LA)】 (就学前のこども 問 29-2)



○これからこどもをもつために必要と思われる支援・条件は、「子育て家庭の経済的な負担への支援」が86.7%で最も高く、次いで「子育てしやすいワーク・ライフ・バランスの推進」が40.9%、「妊娠・出産・育児に係る負担や不安を和らげる支援」が37.3%となっています。

## (10) 流山市における子育ての環境や支援

### 【子育てに関する情報の入手先 (MA)】(就学前の子ども 問 30)

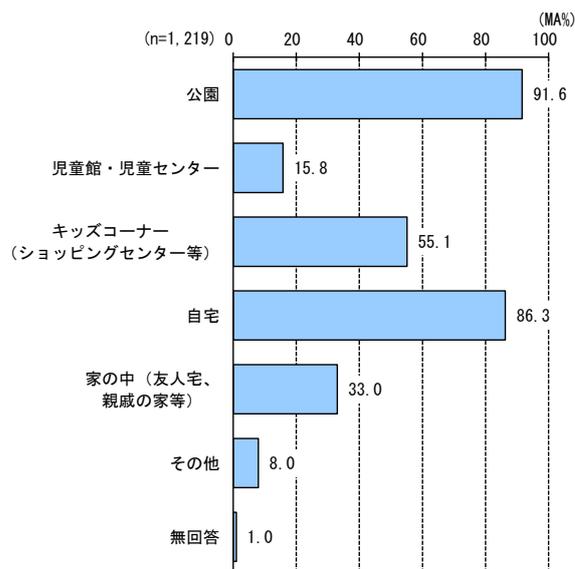


○子育てに関する情報の入手先について、インターネットが63.7%で最も高く、次いで友人・知人が59.1%、幼稚園・保育所・認定こども園が55.3%、SNS (X (旧Twitter)、Facebook、Instagramなど) が49.9%となっています。

### 【現在情報を得ている場所や媒体以外の子育てに関する情報の入手先】抜粋 (就学前の子ども 問 30-1)

- ショッピングセンターや公園など遊びによく行く先、駅のモニター
- 回覧板
- 公園の掲示板
- 書籍

【休日等に親子で遊ぶ場所（MA）】（就学前の子ども 問31）



○休日等に親子で遊ぶ場所は、「公園」が91.6%で最も高く、次いで「自宅」が86.3%、「キッズコーナー（ショッピングセンター等）」が55.1%となっています。

【休日等に親子で遊ぶ場所についての意見・要望】抜粋（就学前の子ども 問31-1）

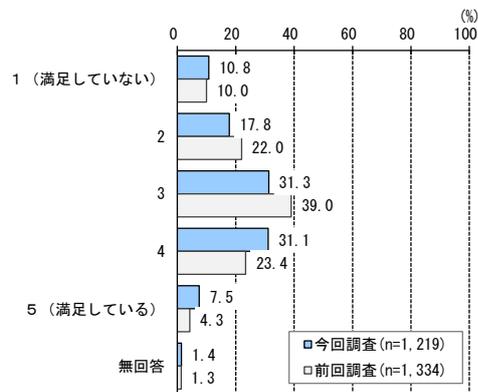
- 公園の遊具を増やしてほしい。
- 無料もしくは低価格で室内で遊べる施設が欲しい。
- 天候問わず体を動かせる、屋内型の大型遊具を設置した施設があるとよい。
- 水遊びをしたい（ジャブジャブ池のような小さい子が遊べる場所）。公園に木陰が欲しい。
- 交通ルールを学べる、安全に自転車に乗る練習ができるような公園があると嬉しい。
- 運動公園しか大きな公園がなく、人が集まり混み過ぎている。
- 親子で参加するダンス・体操・リトミック・工作などの教室があったら嬉しい。

## 【流山市における子育ての環境や支援への満足度】（就学前の子ども 問 32）

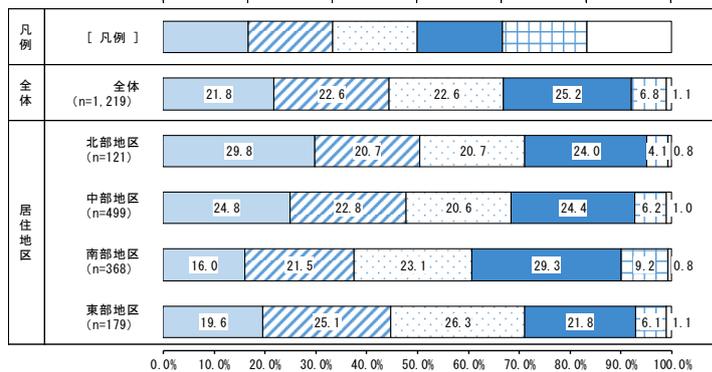
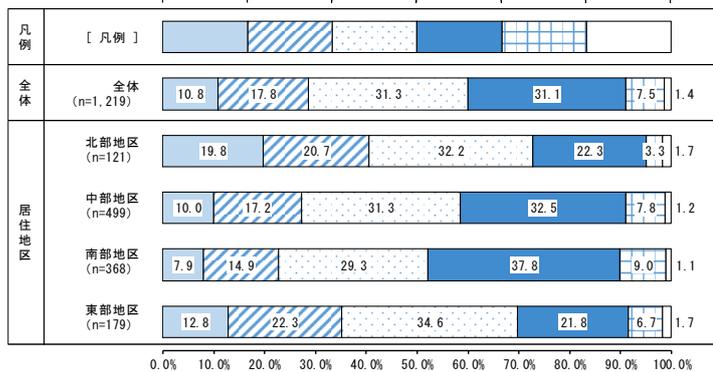
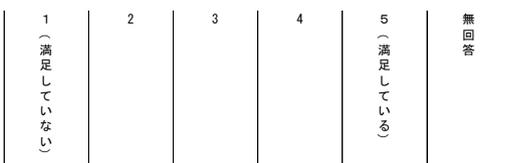
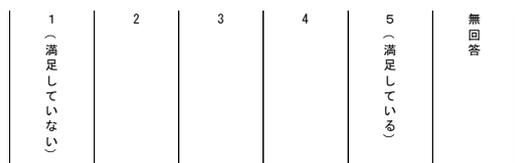
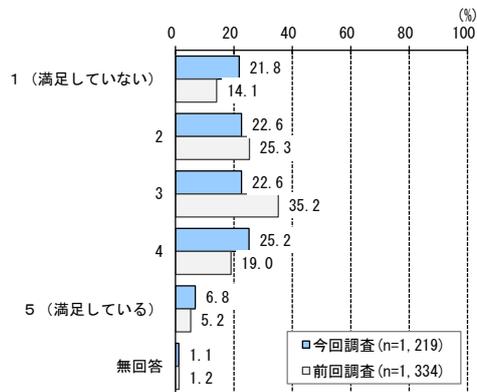
○流山市における子育ての環境や支援への満足度について、4及び5（満足している）を合わせた割合が最も高いのは、流山市の教育・保育施設の設備・環境の44.7%で、次いで流山市の子育ての環境や支援の38.6%となっています。

○一方、流山市のこどもの遊べる施設等（公園・児童館・プール等）の設備・環境（28.4%）及び流山市の医療機関等の設備・環境（32.0%）では、4及び5（満足している）を合わせた割合が約30%となっています。

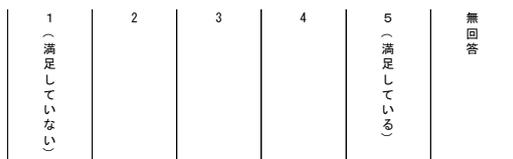
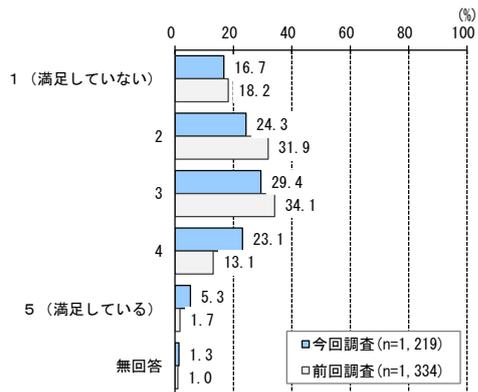
＜流山市の子育ての環境や支援への満足度＞



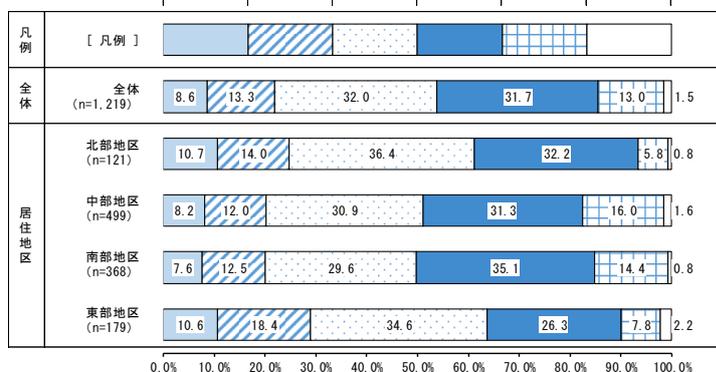
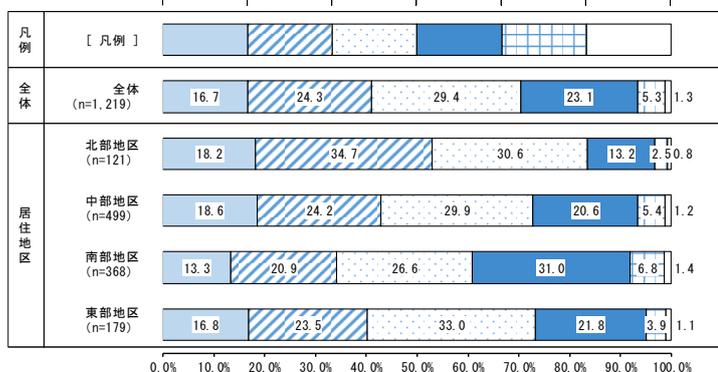
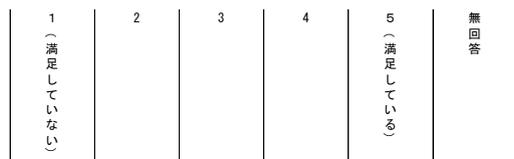
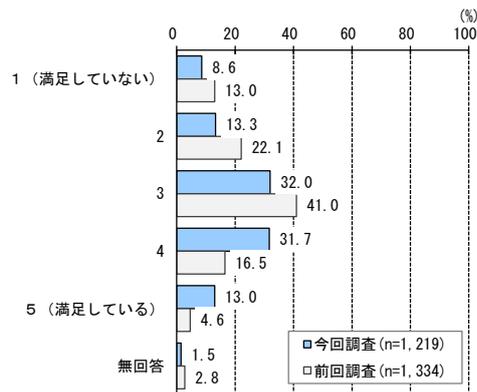
＜流山市の医療機関等の設備・環境への満足度＞



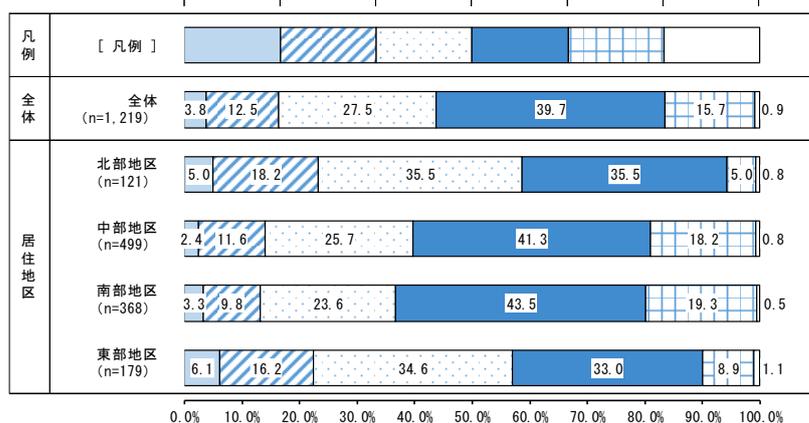
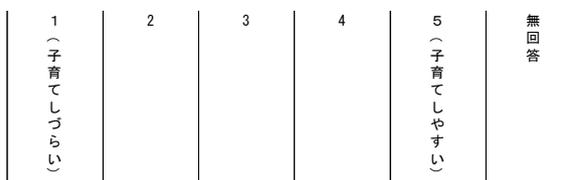
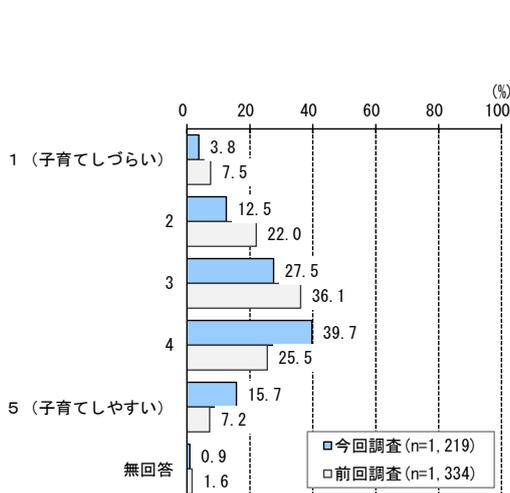
<流山市のこどもの遊べる施設等（公園・児童館・プール等）の設備・環境への満足度>



<流山市の教育・保育施設の設備・環境への満足度>

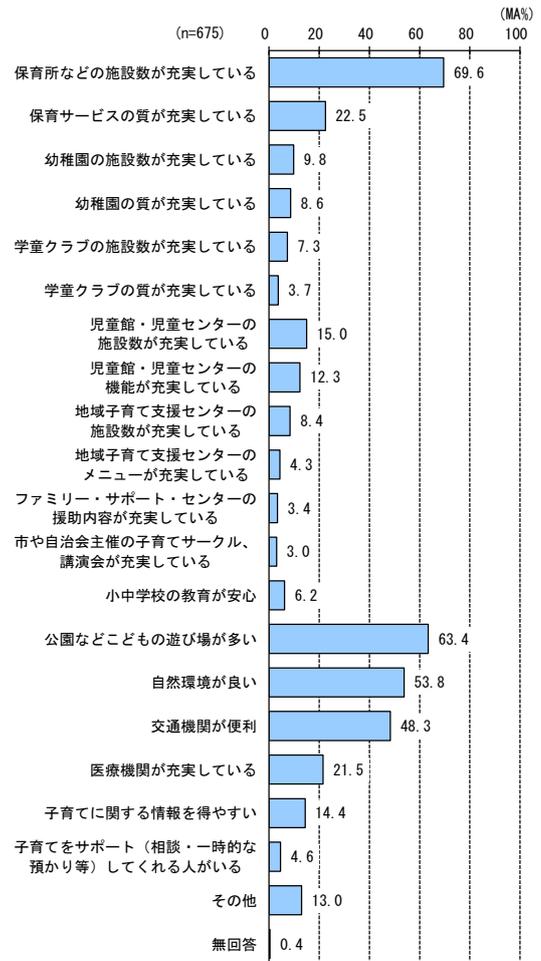
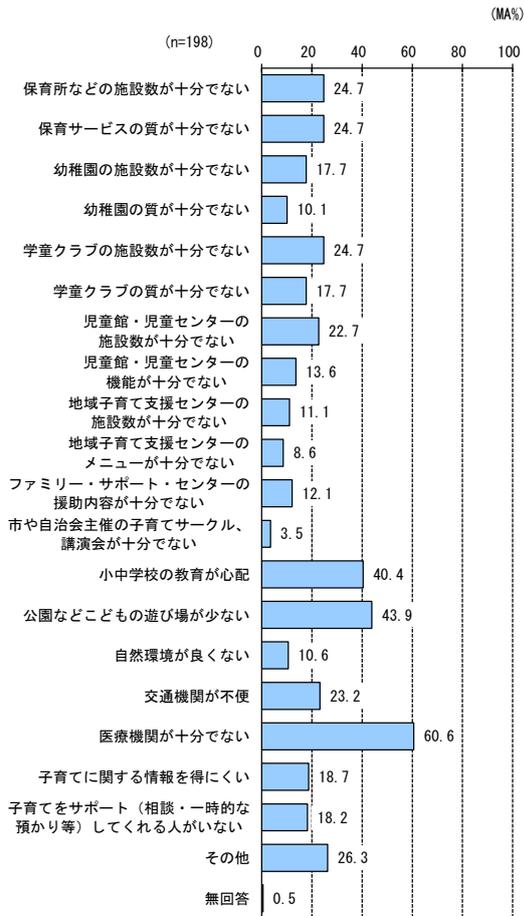


【流山市は子育てしやすい街だと思う】(就学前の子ども 問33)



- 流山市は子育てしやすい街だと思う度合いについて、4及び5（子育てしやすい）を合わせた割合は55.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、4及び5（子育てしやすい）を合わせた割合は32.7%から22.7ポイント上昇しています。
- 居住地区別にみると、4及び5（子育てしやすい）を合わせた割合は南部地区（62.8%）及び中部地区（59.5%）では約60%となっている一方、北部地区（40.5%）及び東部地区（41.9%）では約40%にとどまっています。

【子育てしづらいと思う理由】(就学前の子ども問 33-1) 【子育てしやすいと思う理由】(就学前の子ども問 33-2)  
問 33 で「1、2 (子育てしづらい)」と回答した方 問 33 で「4、5 (子育てしやすい)」と回答した方

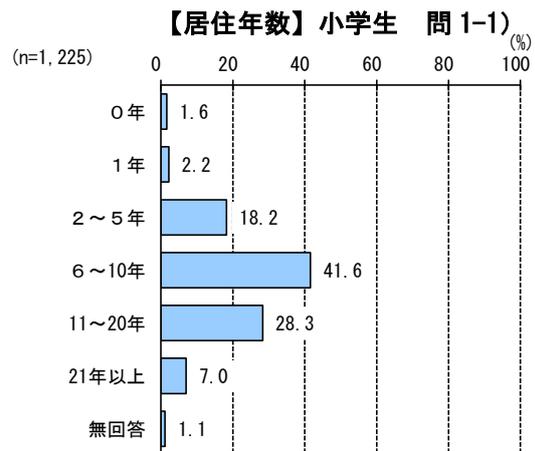
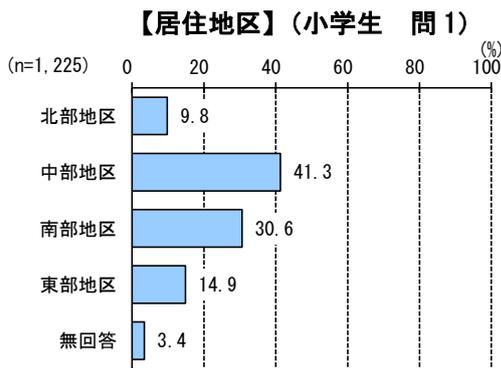


○子育てしづらいと思う理由について、「医療機関が十分でない」が60.6%で最も高く、次いで「公園などこどもの遊び場が少ない」が43.9%、「小中学校の教育が心配」が40.4%となっています。

○子育てしやすいと思う理由について、「保育所などの施設数が充実している」が69.6%で最も高く、次いで「公園などこどもの遊び場が多い」が63.4%、「自然環境が良い」が53.8%となっています。

# 【小学生】

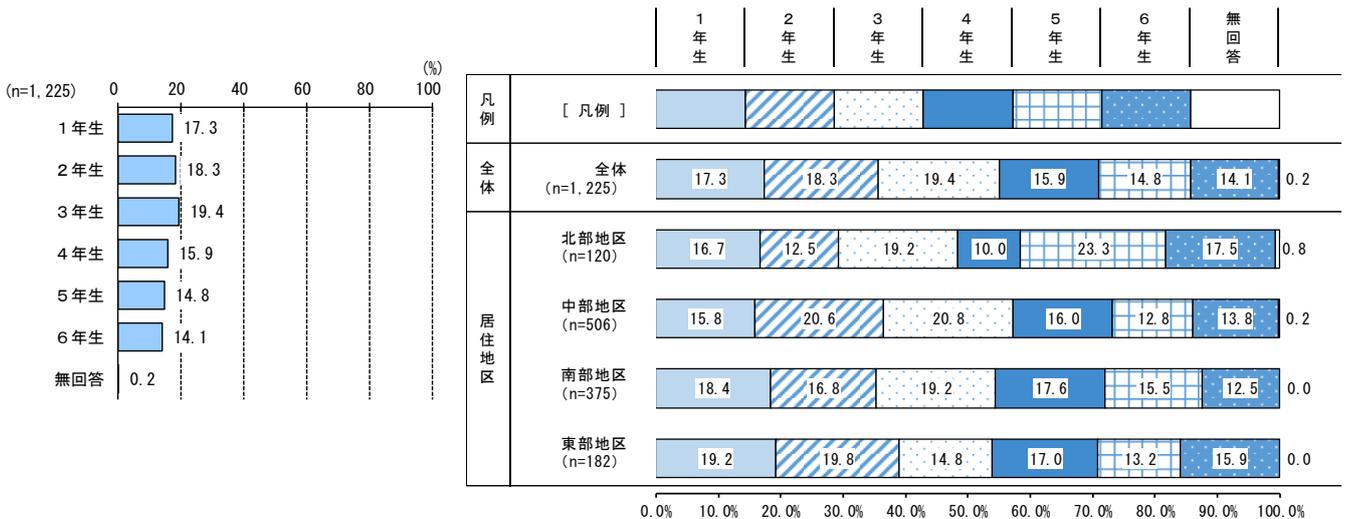
## 1. 回答者の属性



○居住地区は、中部地区が 41.3%で最も高く、南部地区が 30.6%、東部地区が 14.9%、北部地区が 9.8%となっています。

○居住年数は、6~10年が 41.6%で最も高く、次いで 11~20年が 28.3%、2~5年が 18.2%となっています。

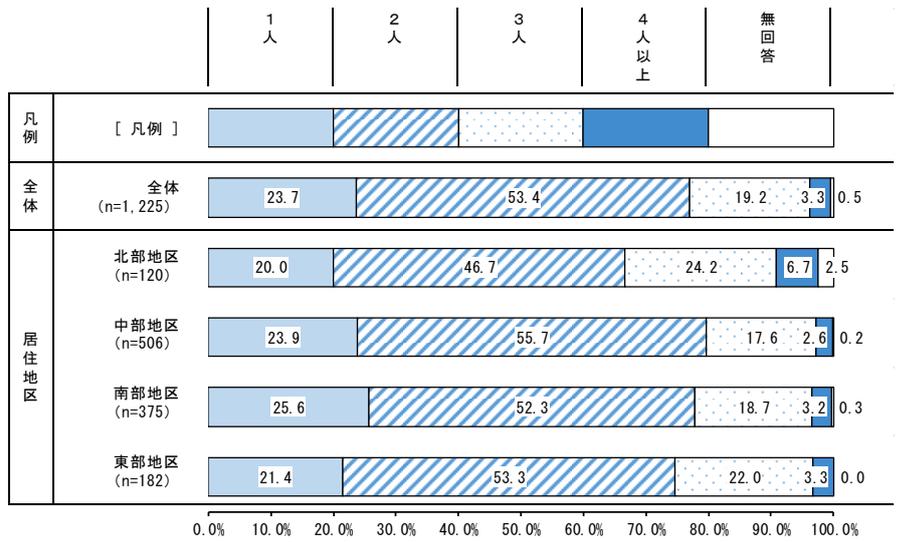
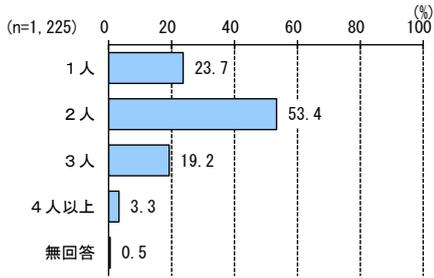
### 【対象児童の学年】(小学生 問2)



○対象児童の学年は、全体で3年生が 19.4%で最も高く、次いで2年生が 18.3%、1年生が 17.3%となっています。

○居住地区別にみると、北部地区では5年生、中部地区及び南部地区では3年生、東部地区では2年生が最も高くなっています。

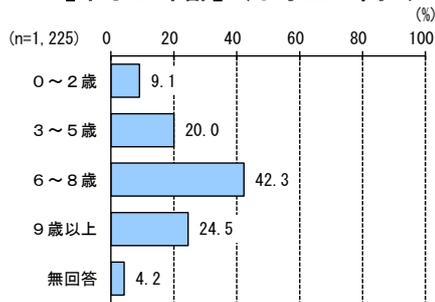
【きょうだいの人数】（小学生 問3）



○きょうだいの人数は、全体で2人が53.4%で最も高く、次いで1人が23.7%、3人が19.2%となっています。

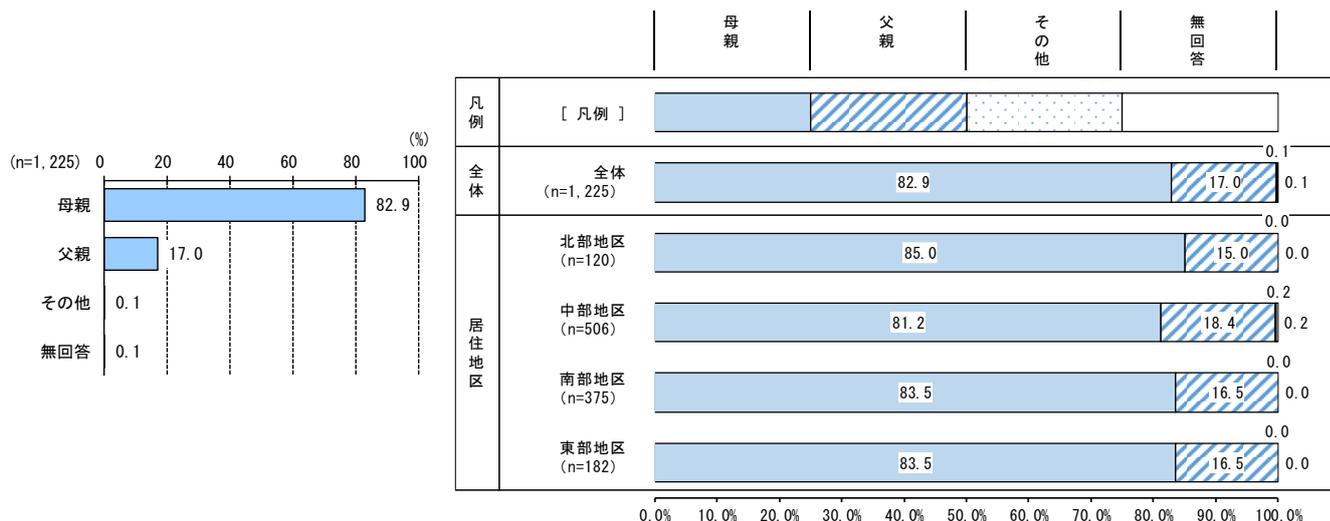
○居住地区別にみると、北部地区及び東部地区では3人以上が20%を超えており、他の地区より高くなっています。

【末子の年齢】（小学生 問3）



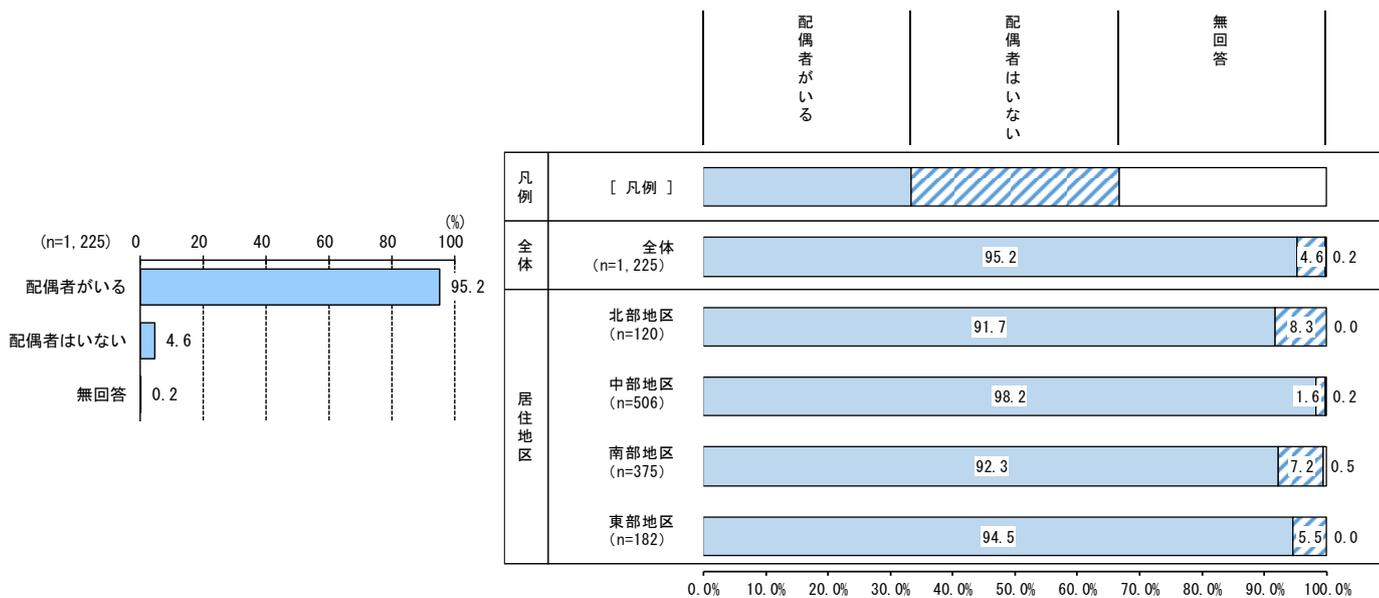
○末子の年齢は、全体で6～8歳が42.3%で最も高く、次いで9歳以上が24.5%、3～5歳が20.0%となっています。

### 【調査票の回答者】（小学生 問4）



○調査票の回答者は、全体で母親が82.9%で最も高く、父親が17.0%となっています。  
 ○居住地区別にみると、全体と同様の傾向となっています。

### 【回答者の配偶関係】（小学生 問5）

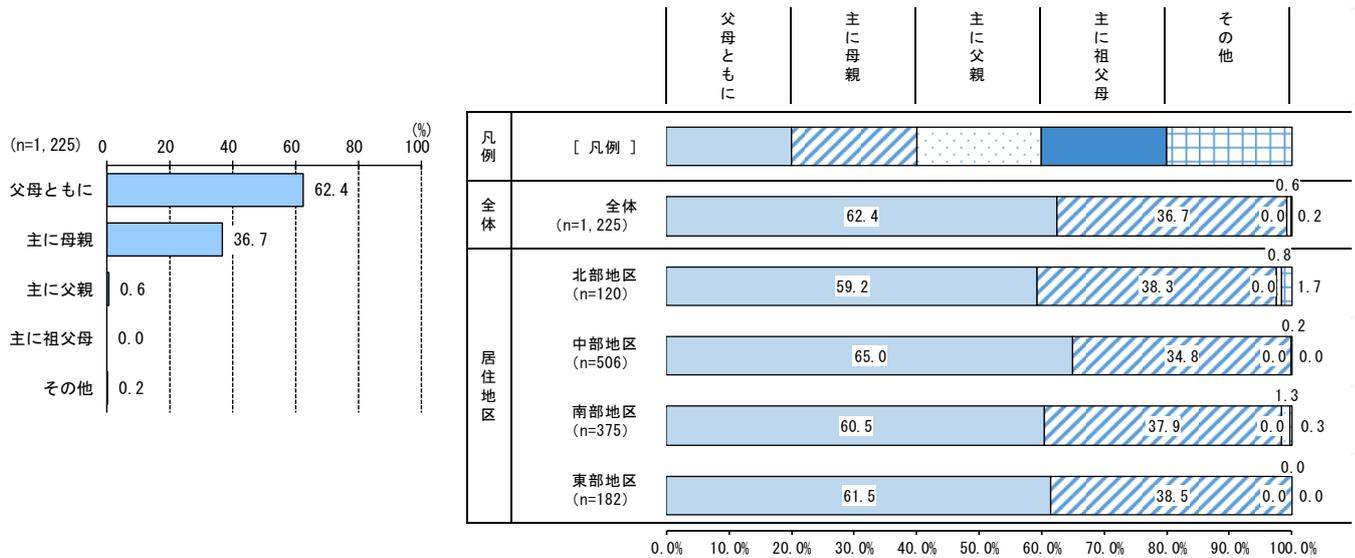


○回答者の配偶関係は、全体で配偶者がいるのは95.2%、配偶者がいないのは4.6%となっています。  
 ○居住地区別にみると、全体と同様の傾向となっています。

## 2. 調査結果

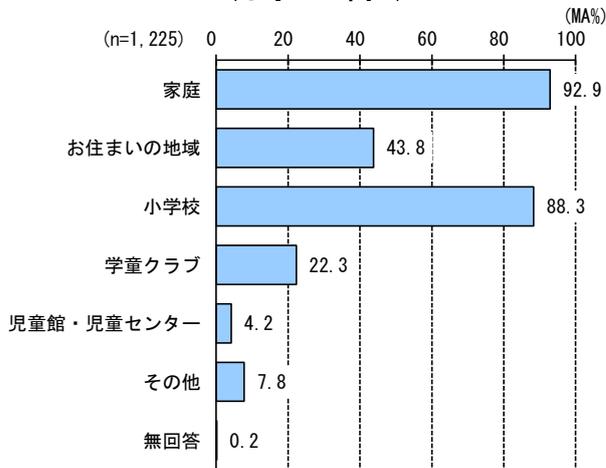
### (1) 主に子育てを行っている人の状況

【主に子育てを行っている人】(小学生 問6)



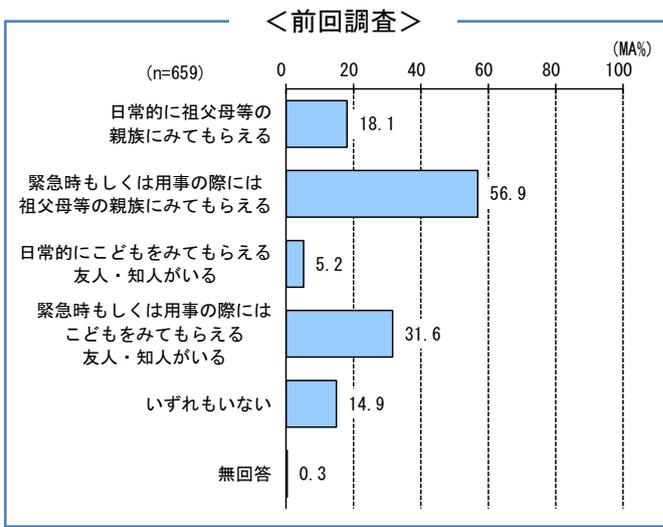
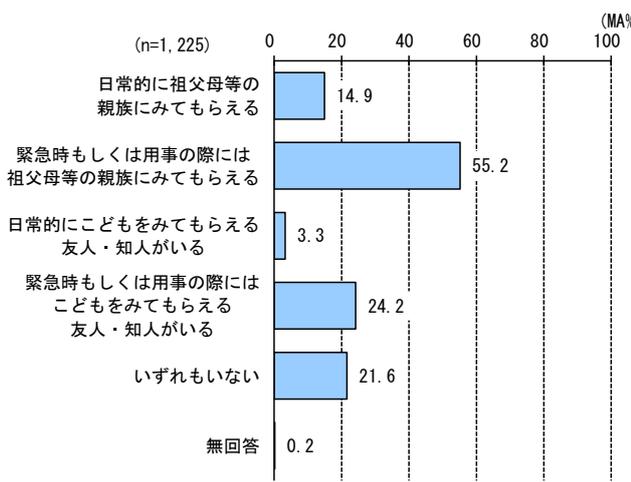
- 主に子育てを行っている人について、全体では「父母ともに」が62.4%で最も高く、「主に母親」が36.7%となっています。
- 居住地区別にみると、中部地区では「父母ともに」が65.0%で他の地区より高くなっています。

【子育てに最も影響すると思われる環境 (MA)】  
(小学生 問7)

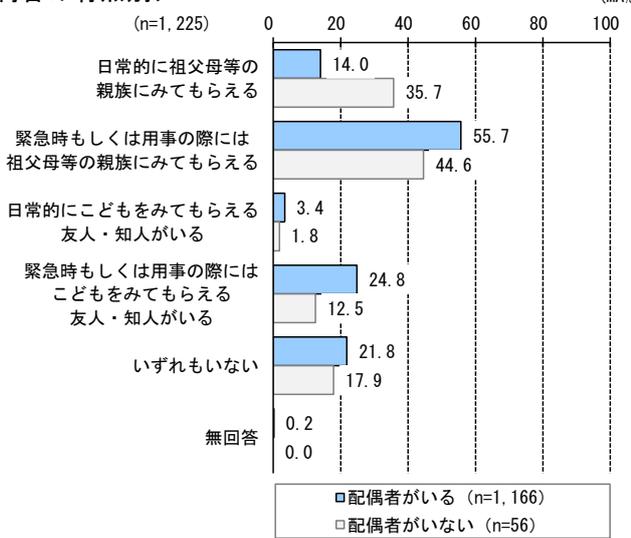


- 子育てに最も影響すると思われる環境について、全体では「家庭」が92.9%で最も高く、次いで「小学校」が88.3%、「お住まいの地域」が43.8%となっています。

【子どもを見てもらえる親族・知人(MA)】(小学生 問8)



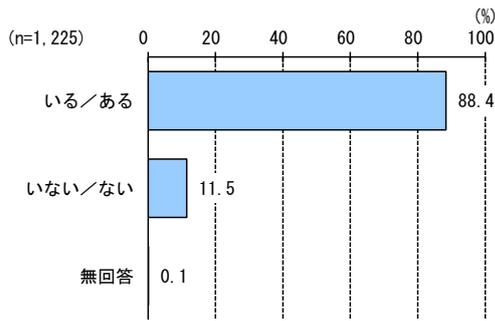
<配偶者の有無別>



○子どもをみてもらえる親族・知人について、全体では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.2%で最も高くなっています。また、「いずれもない」は21.6%となっており、前回調査から6.7%上昇しています。

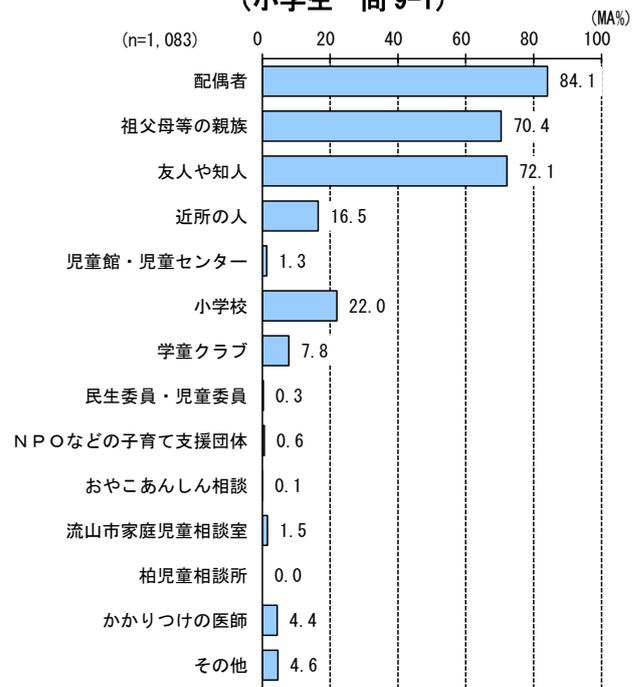
○配偶者の有無別では、配偶者がいない場合は「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が、配偶者がいる場合を20%以上上回っています。

【子育てをする上で気軽に相談できる人・場所の有無】  
(小学生 問9)



○子育てをする上で気軽に相談できる人・場所が「いる/ある」のは 88.4%となっています。  
○気軽に相談できる人・場所は、「配偶者」が 84.1%で最も高く、次いで「友人や知人」が 72.1%、「祖父母等の親族」が 70.4%となっています。

【子育てをする上で気軽に相談できる人・場所 (MA)】  
(小学生 問9-1)



【子育てをする上で今までに困ったこと、あればよいと考える周囲のサポート】抜粋 (小学生 問10)

●困ったこと

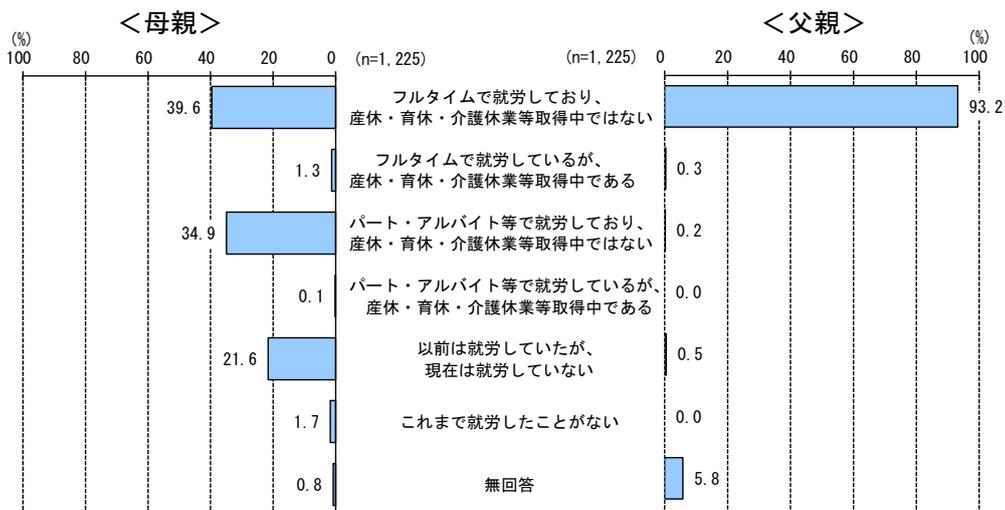
- イヤイヤ期の際、かんしゃくを起こした際、弟にやきもちをやいて不機嫌になった際など。
- こどもの発達について気軽に相談できる人、場所がない。
- 3歳児健診で発達遅れを指摘され、様子見、心配なら相談へ、と言われた。いつまで様子を見ればいいのか、何が心配の判断基準なのか明確に教えてほしかった。
- 医療機関にかかる際、インターネット予約の競争や待ち時間等が負担である。
- 幼稚園は朝9時以前に預かってもらえなかったため、就職活動が難しかった。こどもの数が多すぎて学童(どんぐり)が4年生以降新しく入れないと言われた。4年生のとき、長期休みに私が仕事中心で留守番をさせるのが心苦しかった。
- パートをしているが、小学校が長期休みの時の子どもたちの預け先で困っている。
- 兄弟や自分の用事の際に、他の兄弟を気軽に頼める預け先がない。
- ファミリーサポートの制度が複雑すぎる。
- ママ友が1人もいないので、地域の情報共有の場がない。
- ひとり親でこどもの学習面までみてあげることに限界を感じる。
- 共働き(フルタイム)のため、平日に習い事をしたくても送迎ができない。
- 安全に外で遊べる環境が少ない。

●あればよいと考える周囲のサポート

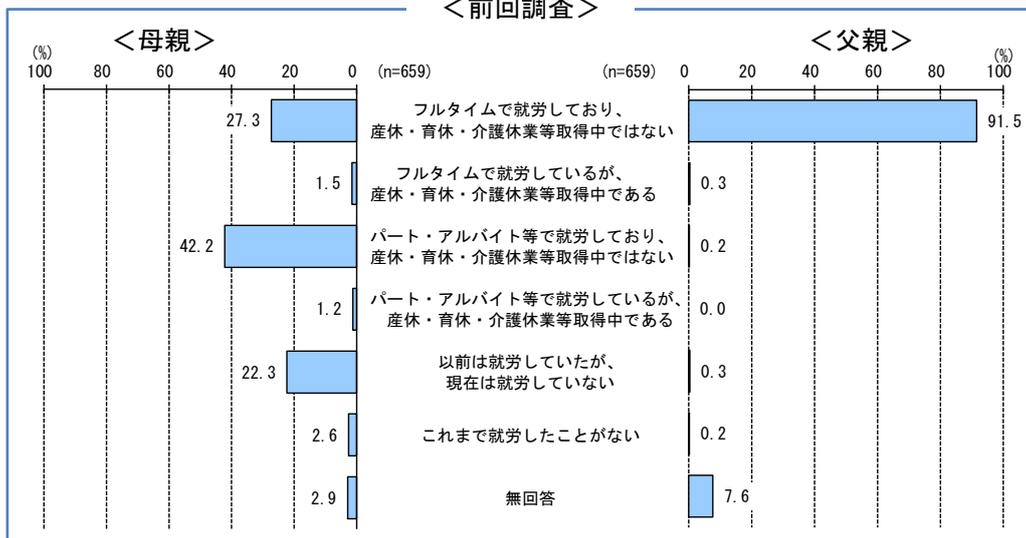
- 学童の定員数を増やしてほしい。
- こどもが小さいとき一時預かりが気軽にできる施設があればよかった。
- 隣の松戸市では、長期休みの時の預け先がある。
- 子どもたち自身が知っている近所、地域の中に、安くて安心して預けられる場所が欲しい。
- 学校以外で、こどもの学習面のサポートがあると助かる。
- 乳児期、幼児期、就学時など成長していく過程で、出産後にいただいた電話などでのヒアリングなどがあればよいと思う。

- こどものいやいや期のときは、保育園の先生の声かけに助けられた。2～3歳の頃は子育てしていて精神的に追い詰められることもあったので、祖母や保育園など半日や一時的に預かってもらうと助かる。
- 3歳児健診で発達遅れを指摘されたとき、幼稚園からの指摘で5歳から療育へつながった。
- こどもが学校に行きたがらなかったため1人で家で過ごすこともあり、フリースクールや学校に行きたがらない子のための塾があれば良いと思った。
- ファミリーサポートをもっと利用しやすくしてほしい。
- 土曜日・日曜日の校庭開放などを行ってほしい。
- 送迎可能な民間の学童を増やしていただき、手頃な価格で利用できるとうありがたい。

### 【現在の就労状況】（小学生 問11）

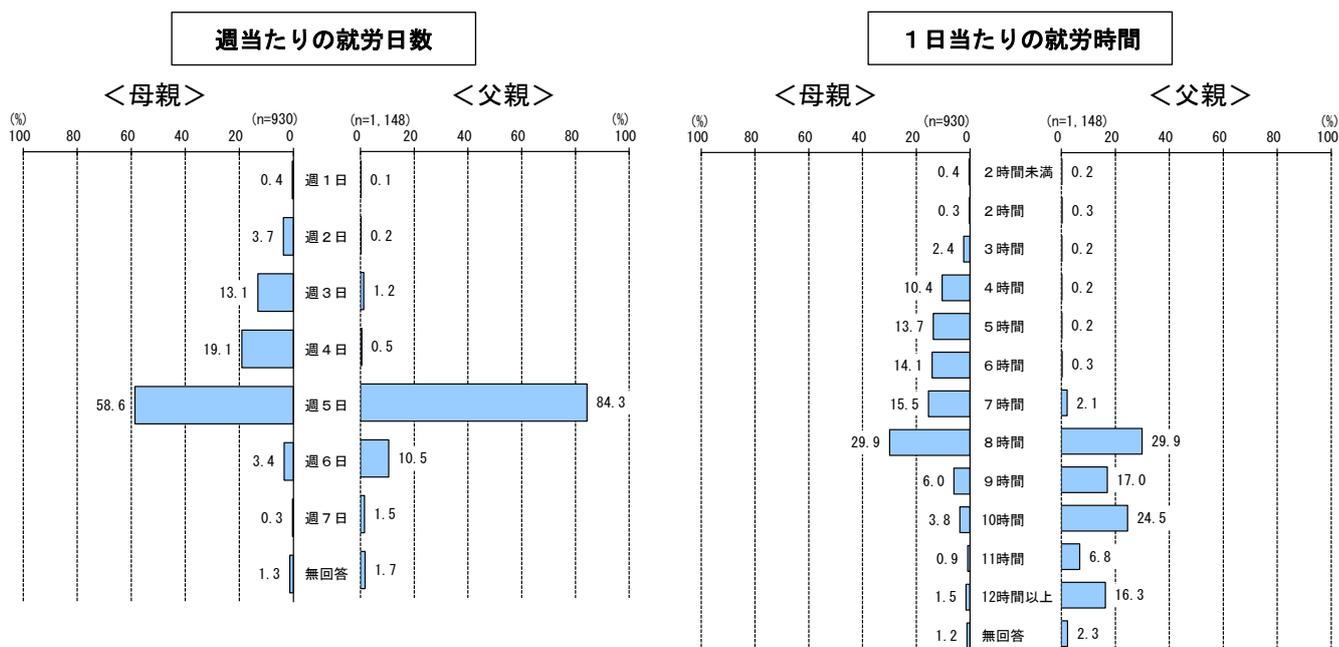


### ＜前回調査＞



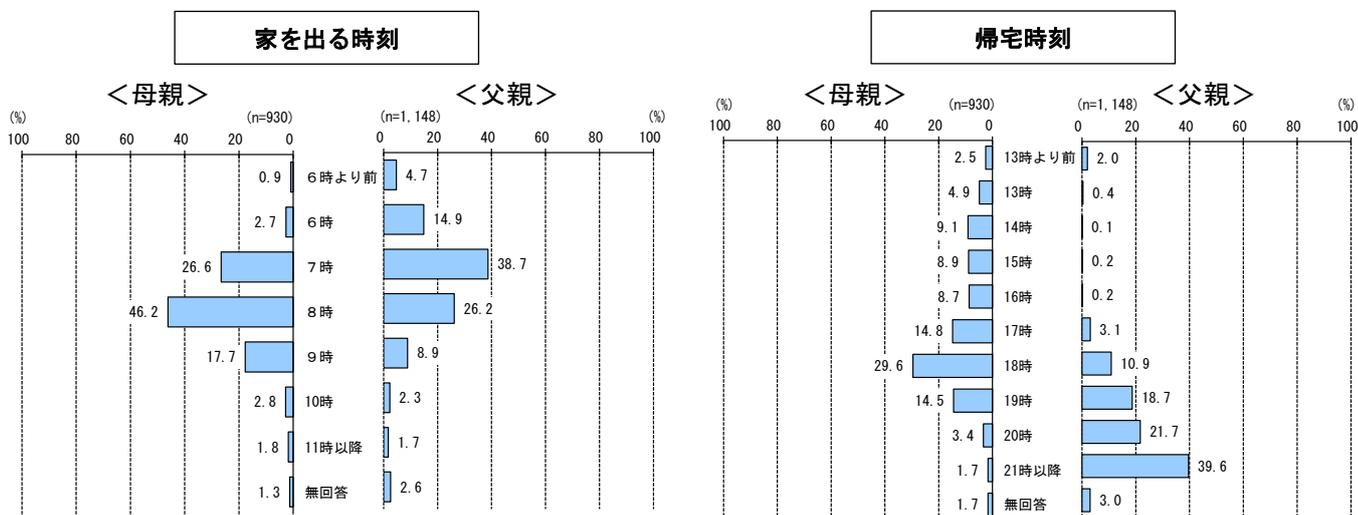
- 現在の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業等取得中ではない」が母親では 39.6%、父親では 93.2%となっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が、母親では 21.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、母親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業等取得中ではない」が 27.3%から 12.3ポイント上昇し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 22.3%から 0.7ポイント低下しています。

【週当たりの「就労日数」／1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」】（小学生 問 11-1）



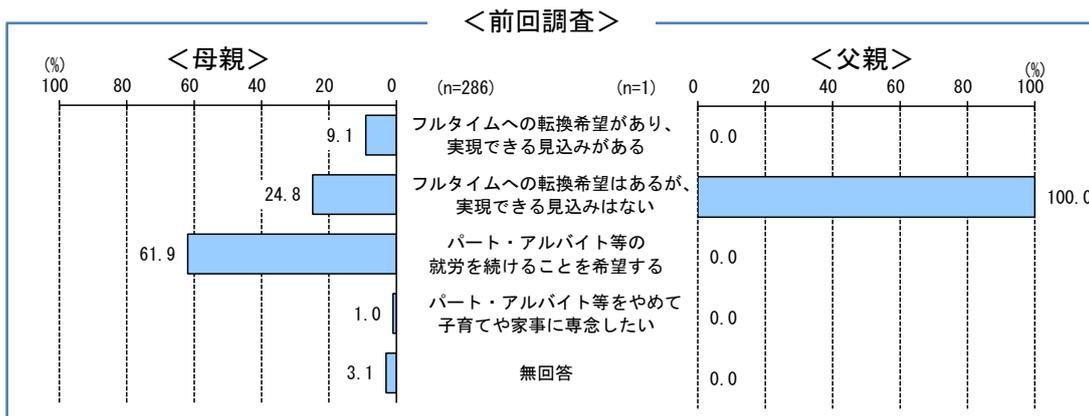
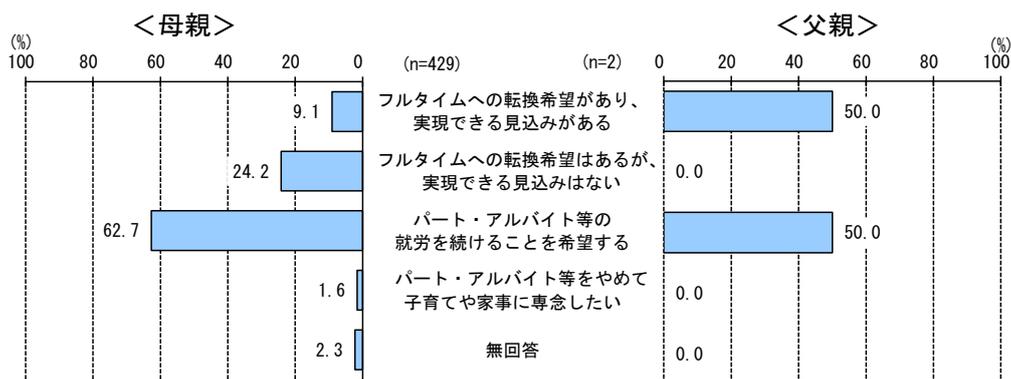
○週当たりの就労日数について、母親・父親のいずれも「週5日」が最も高くなっています。  
 ○1日当たりの就労時間について、母親・父親のいずれも「8時間」が最も高くなっています。母親では、「4時間」「5時間」「6時間」「7時間」がそれぞれ10%を超えています。父親では「10時間」が24.5%で「8時間」に次いで高く、「9時間」「12時間以上」がそれぞれ10%を超えています。

【家を出る時刻／帰宅時刻】（小学生 問 11-2）



○家を出る時刻は、母親では「8時」が46.2%で最も高く、次いで「7時」が26.6%、「9時」が17.7%となっています。父親では「7時」が38.7%で最も高く、次いで「8時」が26.2%、「6時」が14.9%となっています。  
 ○帰宅時刻は、母親では「18時」が29.6%で最も高く、次いで「17時」が14.8%、「19時」が14.5%となっています。父親では「21時以降」が39.6%で最も高く、次いで「20時」が21.7%、「19時」が18.7%となっています。

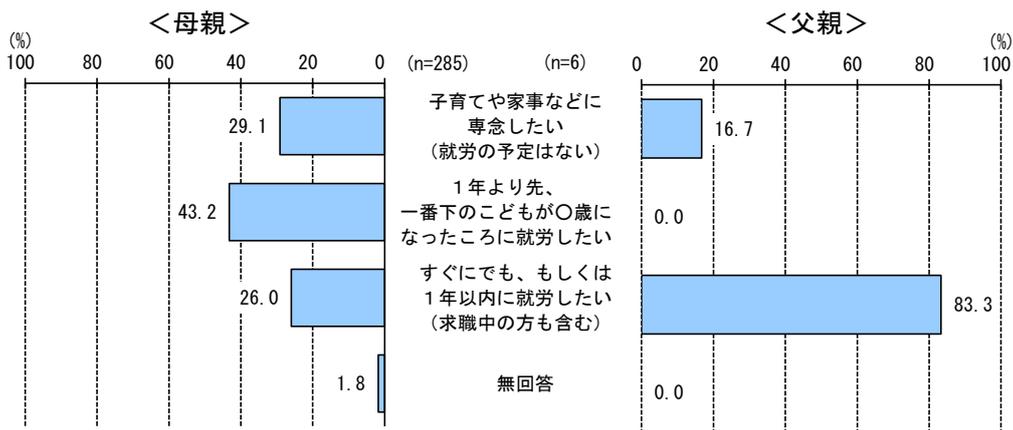
【フルタイムへの転換希望】（小学生 問12）  
 問11で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方



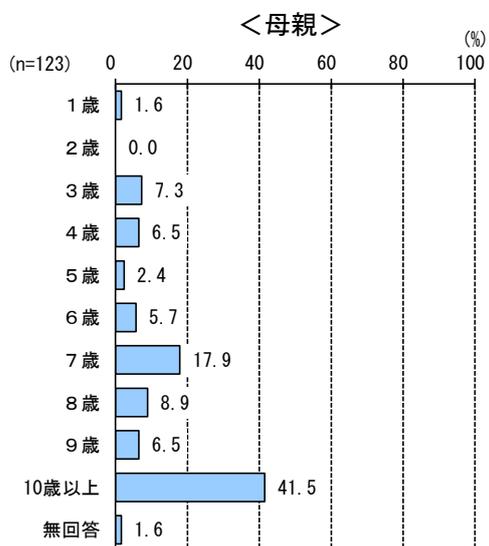
○フルタイムへの転換希望について、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が62.7%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.2%となっています。

【就労希望】(小学生 問13)

問11で「以前は就労していたが、現在は就労していない」  
「これまで就労したことがない」と回答した方



【就労を希望するこどもの年齢】(小学生 問13-2)

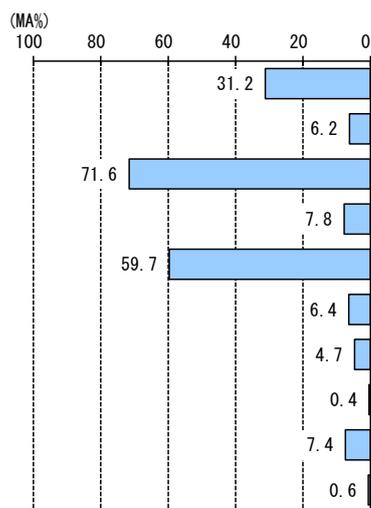


○就労希望について、母親では「1年より先、一番下のこどもが〇歳になったところに就労したい」が最も高くなっています。  
○就労を希望するこどもの年齢について、10歳以上が41.5%で最も高く、次いで7歳が17.9%、8歳が8.9%となっています。

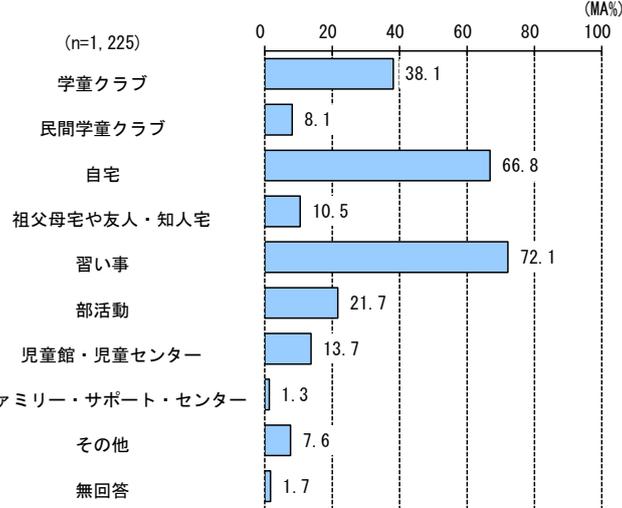
## (2) 放課後のこどもの過ごし方

【こどもが放課後に過ごしている場所／こどもを放課後に過ごさせたい場所(MA)】(小学生 問14/15)

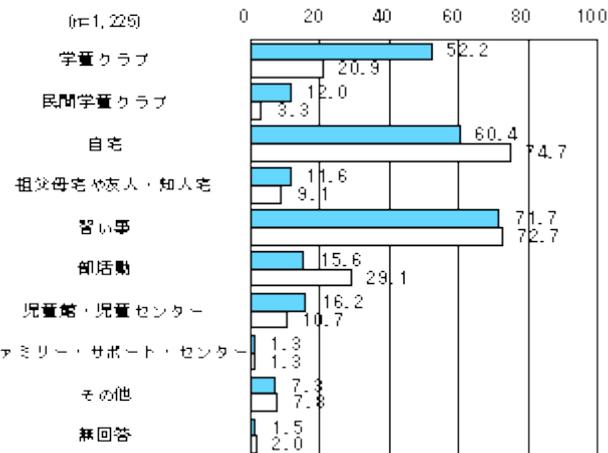
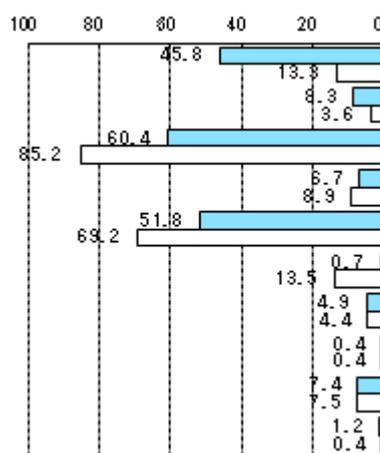
＜放課後に過ごしている場所＞



＜放課後に過ごさせたい場所＞

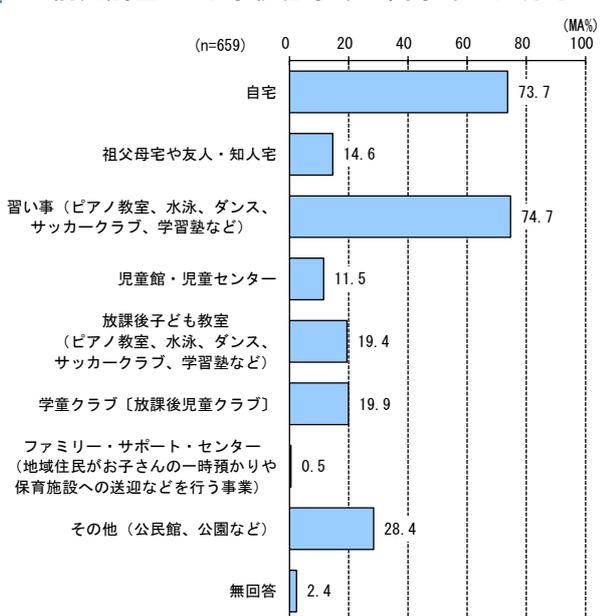


＜小学校低学年／高学年別＞



□低学年 □高学年

＜前回調査＞ 小学校低学年／高学年の区分なし



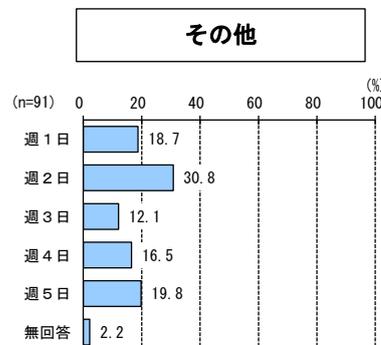
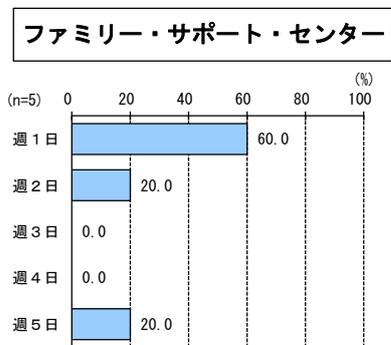
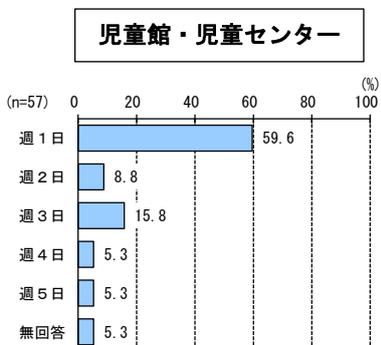
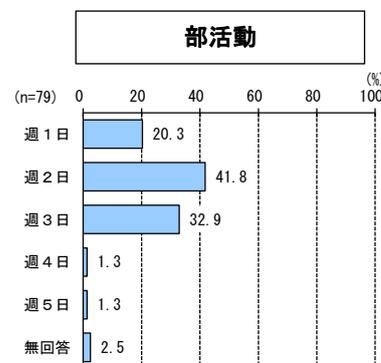
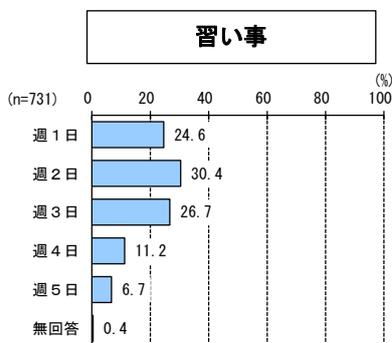
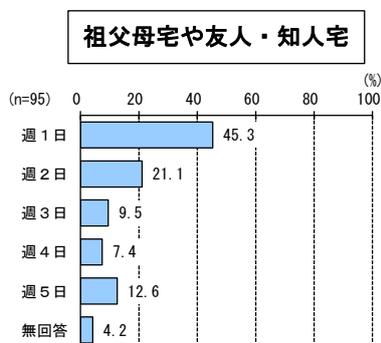
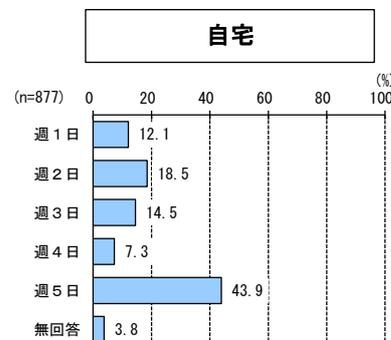
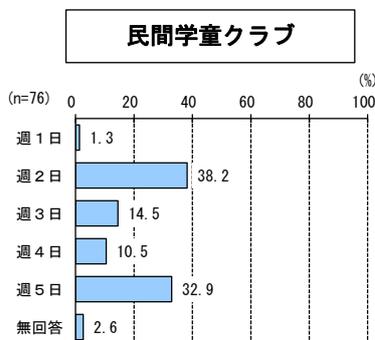
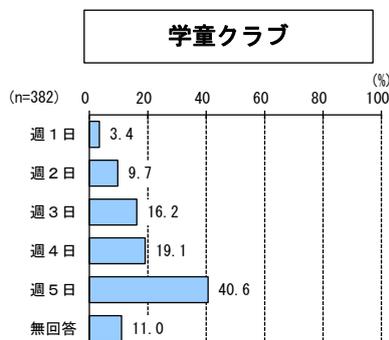
○こどもが放課後に過ごしている場所について、「自宅」が71.6%で最も高く、次いで「習い事」が59.7%、「学童クラブ」が31.2%となっています。

○こどもを放課後に過ごさせたい場所について、「習い事」が72.1%で最も高く、次いで「自宅」が66.8%、「学童クラブ」が38.1%となっています。

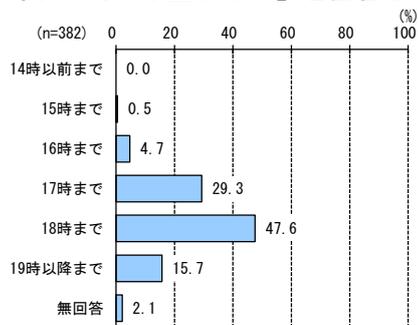
○前回調査では、「習い事」が74.7%で最も高く、次いで「自宅」が73.7%、「学童クラブ」が19.9%となっています。

### 【利用させたい日数】（小学生 問14）

- 「学童クラブ」「自宅」は、「週5日」が最も高く、40%を超えています。「民間学童クラブ」は、「週2回」が38.2%で最も高くなっています。
- 「習い事」「部活動」は、「週2回」が最も高く、次いで「週3回」「週1回」となっています。
- 「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館・児童センター」「ファミリー・サポート・センター」は、「週1回」が最も高くなっています。

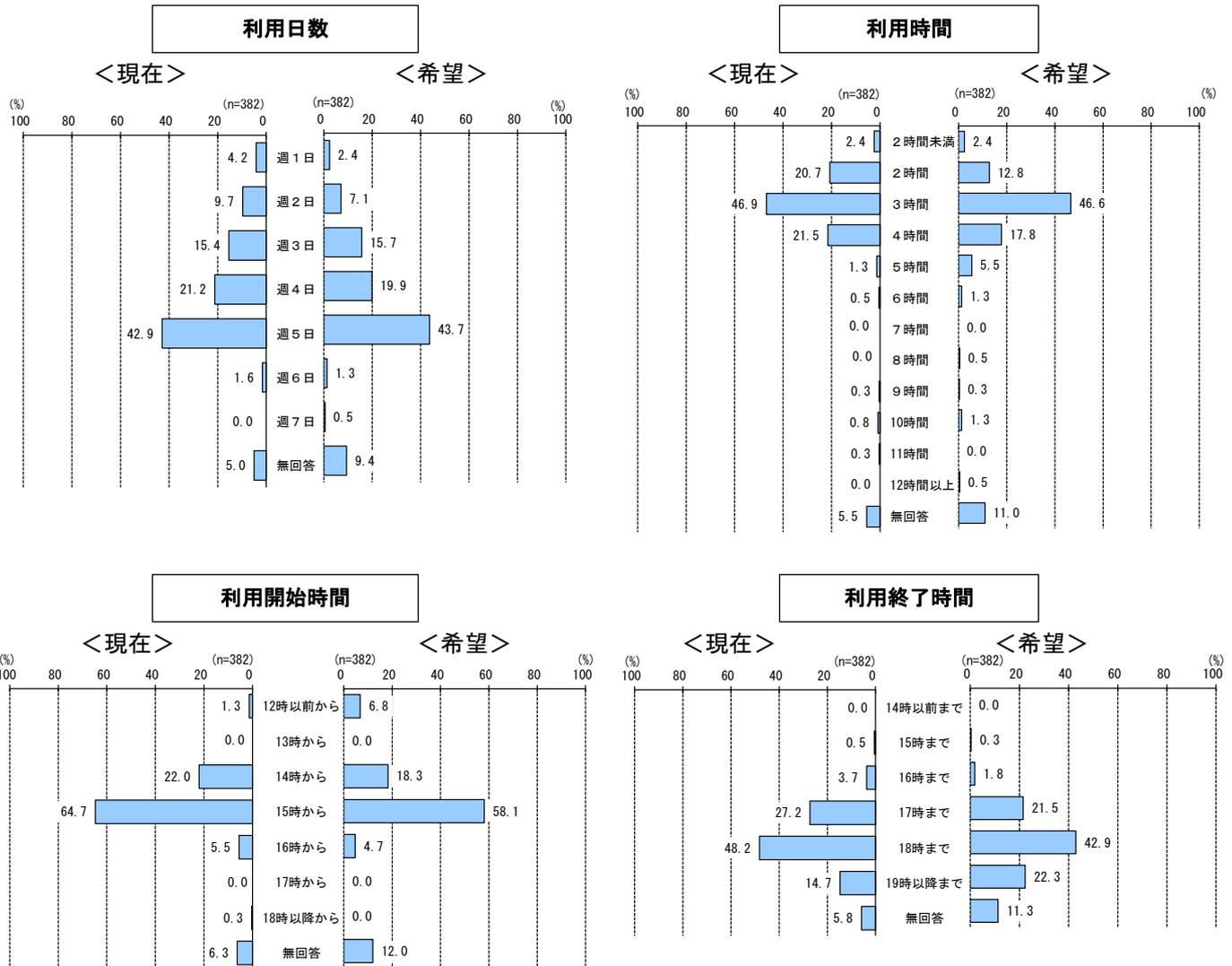


### 【学童クラブを利用したい時間】（小学生 問14） 問14で「学童クラブ」と回答した方



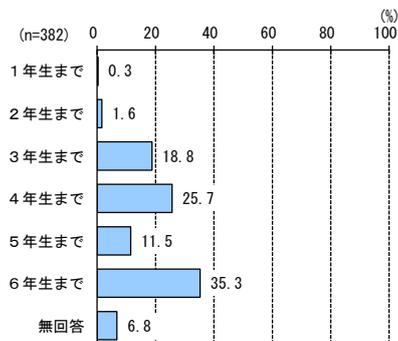
- 学童クラブを利用したい時間について、「18時まで」が47.6%で最も高く、次いで「17時まで」が29.3%、「19時以降まで」が15.7%となっています。

【学童クラブの利用日数／利用時間】（小学生 問 14-1）  
問 14 で「学童クラブ」と回答した方



- 学童クラブの利用日数について、現在・希望のいずれも「週 5 日」が最も高く 40%を超えています。
- 利用時間について、現在・希望のいずれも「3 時間」が最も高く 40%を超えています。
- 利用開始時間について、現在・希望のいずれも「15 時から」が最も高く 50%を超えています。
- 利用終了時間について、現在・希望のいずれも「18 時まで」が最も高く 40%を超えています。

【学童クラブを利用したい学年】（小学生 問 14）  
問 14 で「学童クラブ」と回答した方



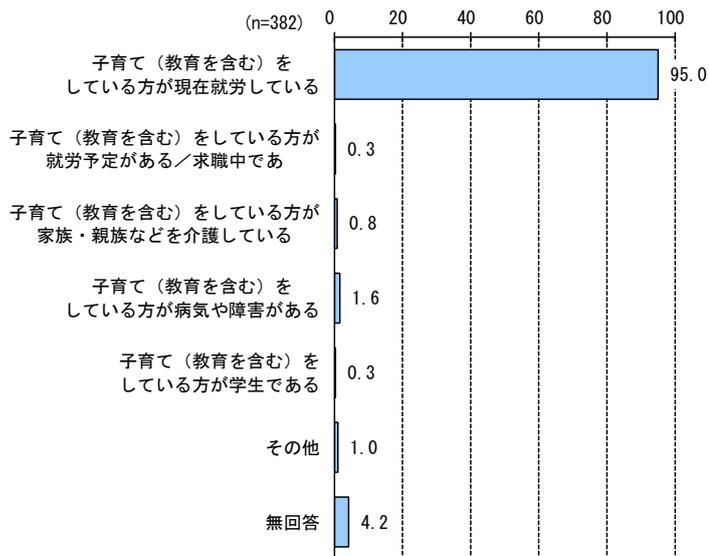
○学童クラブを利用したい学年について、「6 年生まで」が 35.3%で最も高く、次いで「4 年生まで」が 25.7%、「3 年生まで」が 18.8%となっています。

### 【学童クラブを利用している理由 (MA)】

(小学生 問 14-2)

問 14 で「学童クラブ」と回答した方

(MA%)

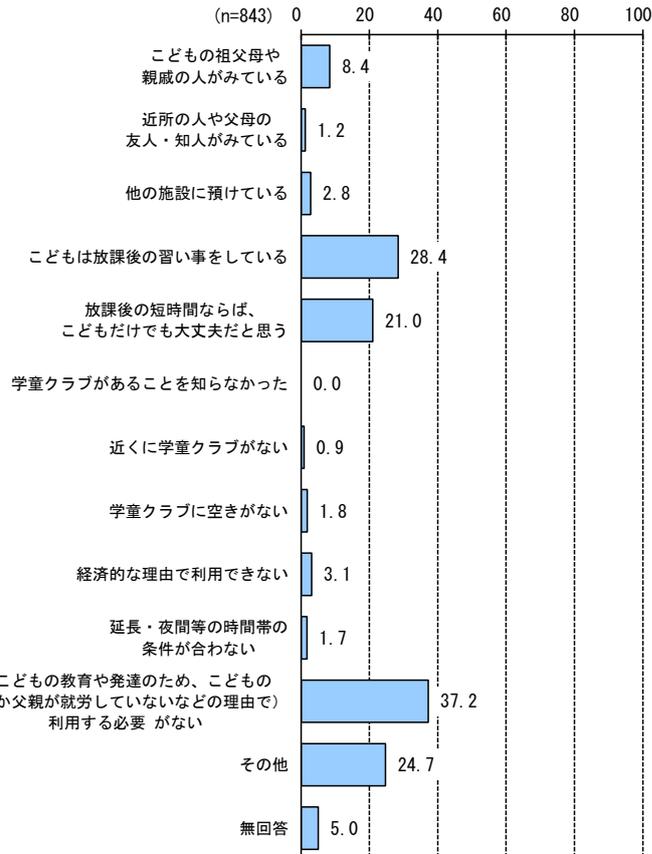


### 【学童クラブを利用していない理由 (MA)】

(小学生 問 14-2)

問 14 で「学童クラブ」と回答していない方

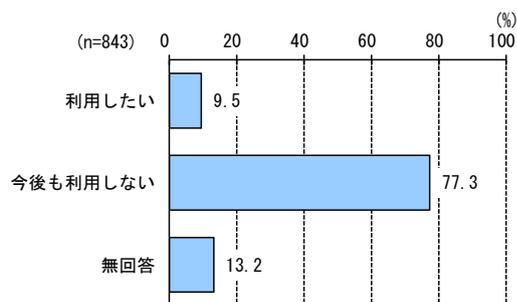
(MA%)



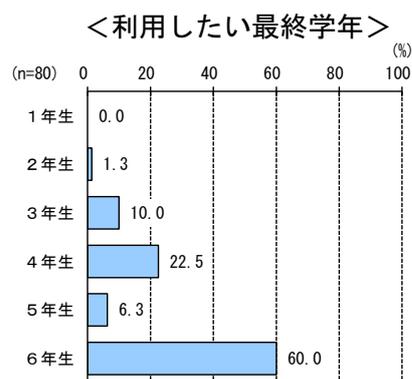
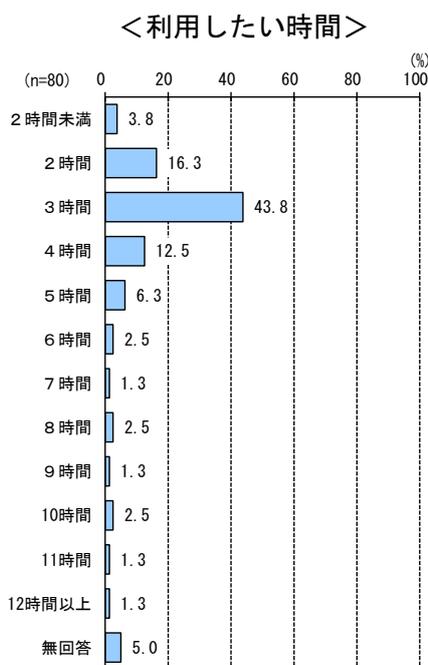
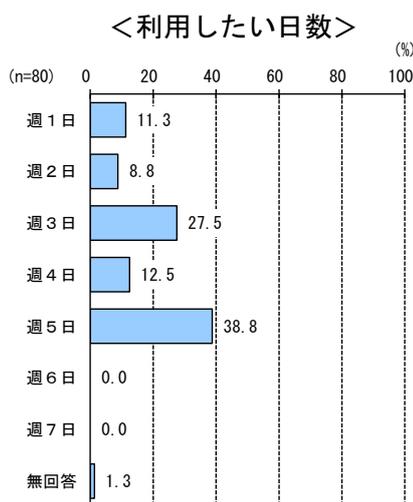
○学童クラブを利用している理由について、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が 95.0%で最も高くなっています。

○学童クラブを利用していない理由について、「(こどもの教育や発達のため、こどもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が 37.2%で最も高く、次いで「こどもは放課後の習い事をしている」が 28.4%、「放課後の短時間ならば、こどもだけでも大丈夫だと思う」が 21.0%となっています。

**【学童クラブの利用意向】（小学生 問 14-4）**  
**問 14 で「学童クラブ」と回答していない方**



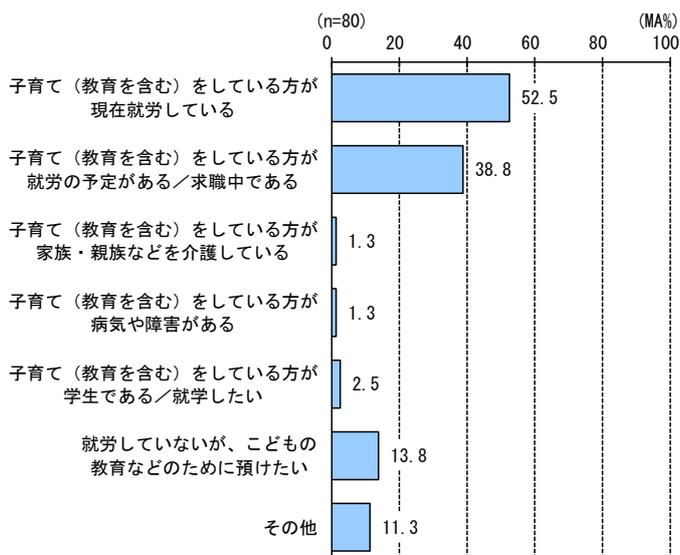
○学童クラブの利用意向について、「利用したい」は9.5%となっています。そのうち、利用したい日数は「週5日」、利用したい時間は「3時間」、利用したい最終学年は「6年生」が最も高くなっています。



**【その学年まで利用したい理由】 抜粋（小学生 問 14-4）**

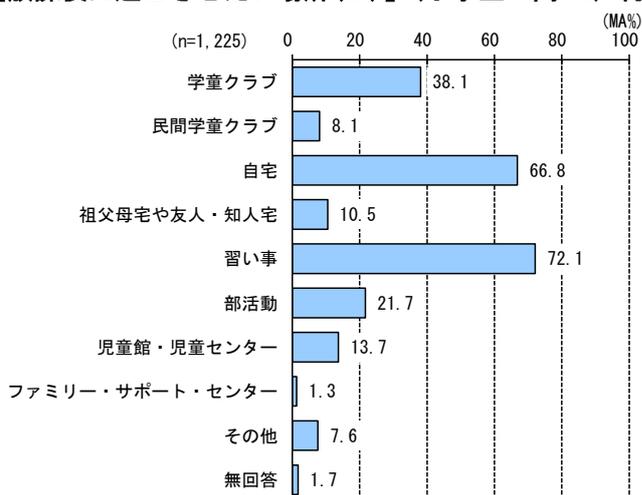
- 1人で留守番させることが不安だから。
- こどもだけで留守番するのは心配。大人の目があると安全面でも安心だし、友達と接することで時間を有意義に使えると思う。
- 小学5年生から6時間授業などで帰りが遅くなるから。
- 塾に通い始める前まで。家に一人であるよりは、充実した時間を過ごせそうだから。
- 両親が共働きで、在宅勤務はできないため。
- 夏休みなどの長期休みだけ利用したい。

**【学童クラブを利用したい理由 (MA)】(小学生 問 14-5)  
問 14 で「学童クラブ」と回答していない方**



○学童クラブを利用したい理由について、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が 52.5%で最も高くなっています。次いで、「子育て（教育を含む）をしている方が就労の予定がある／求職中である」が 38.8%、「就労していないが、こどもの教育などのために預けたい」が 13.8%となっています。

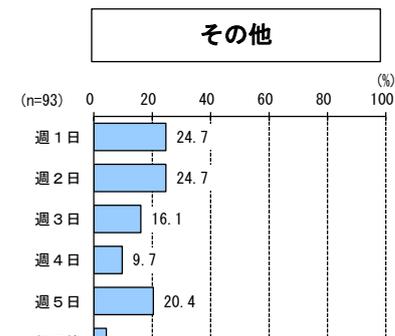
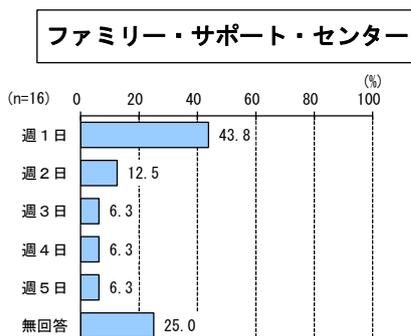
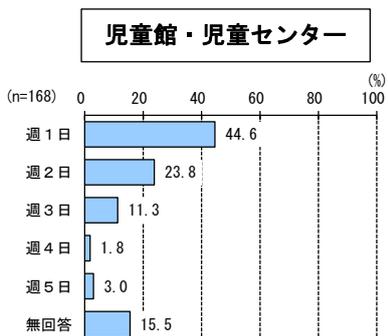
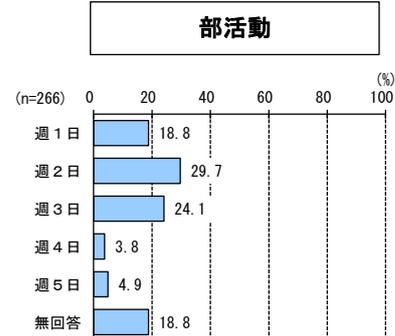
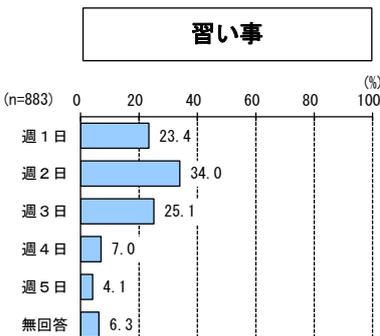
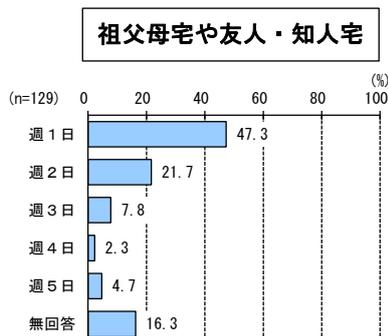
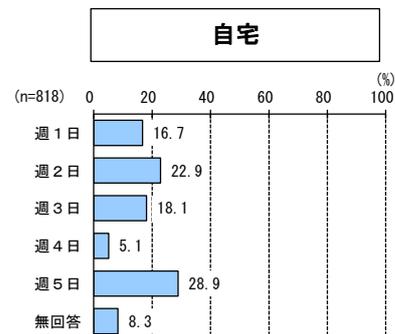
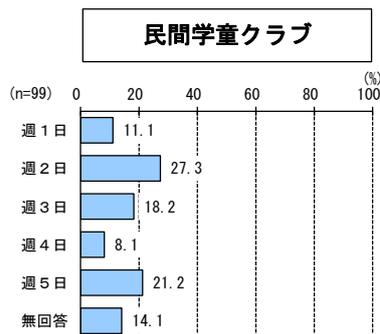
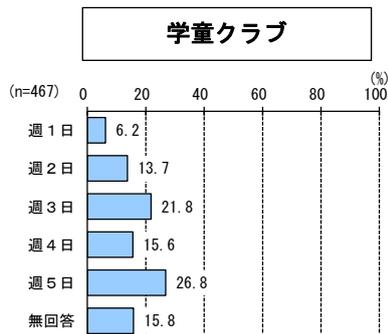
**【放課後に過ごさせたい場所 (MA)】(小学生 問 15) 再掲**



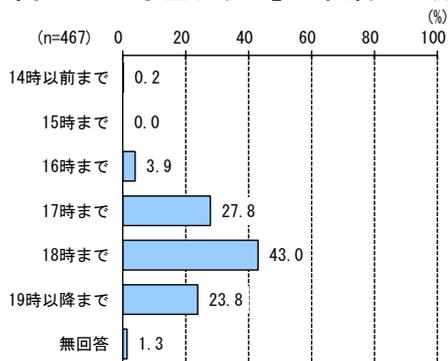
○放課後に過ごさせたい場所について、「習い事」が 72.1%で最も高く、次いで「自宅」が 66.8%、「学童クラブ」が 38.1%となっています。

【放課後に利用させたい日数】（小学校 問15）

○「学童クラブ」「自宅」は「週5日」、「民間学童クラブ」「習い事」「部活動」は「週2日」、「祖父母宅や友人・知人宅」「児童館・児童センター」「ファミリー・サポート・センター」は「週1回」が最も高くなっています。

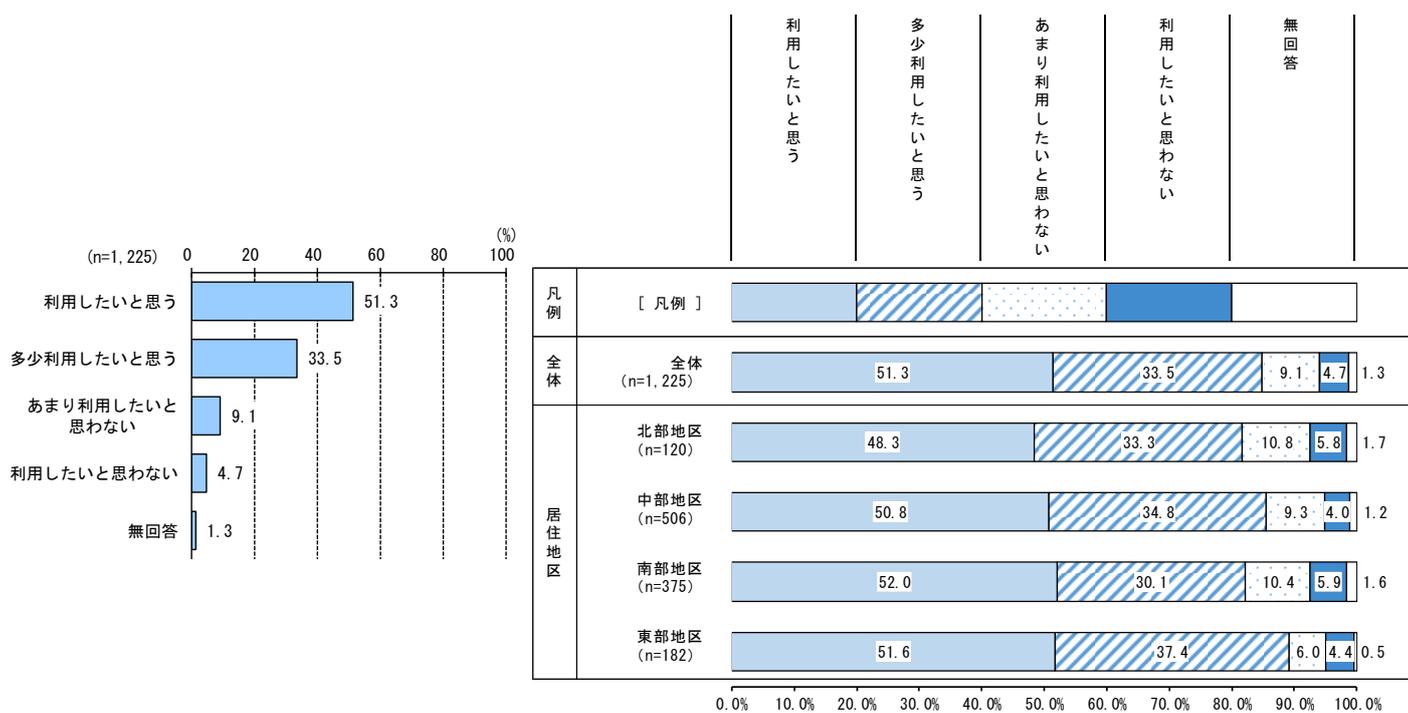


【学童クラブを利用したい時間】（小学生 問15）  
問15で「学童クラブ」と回答した方



○学童クラブを利用したい時間について、「18時まで」が43.0%で最も高く、次いで「17時まで」が27.8%、「19時以降まで」が23.8%となっています。

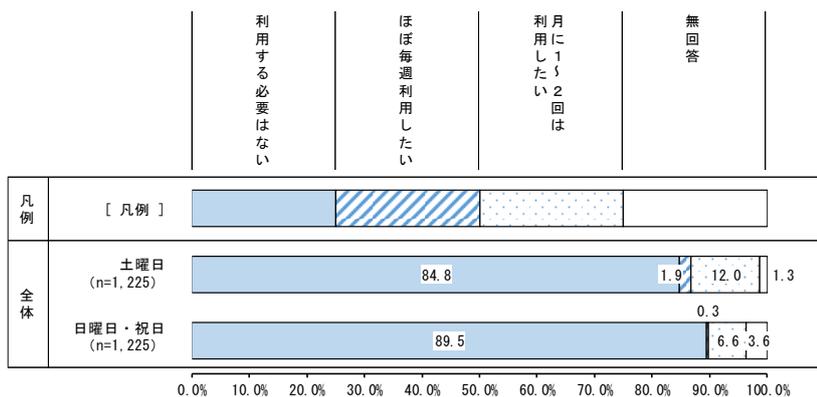
【「放課後のこどもの居場所」が身近にある場合の利用意向 (MA)】(小学生 問 15-1)



- 「放課後のこどもの居場所」が身近にある場合の利用意向について、「利用したいと思う」「多少利用したいと思う」が合わせて84.8%となっています。
- 居住地区別にみると、「利用したいと思う」「多少利用したいと思う」を合わせた割合が最も高いのは東部地区(89.0%)で、最も低いのは北部地区(81.6%)となっています。

### (3) 土曜日・日曜日、長期休暇期間中の学童クラブの利用意向

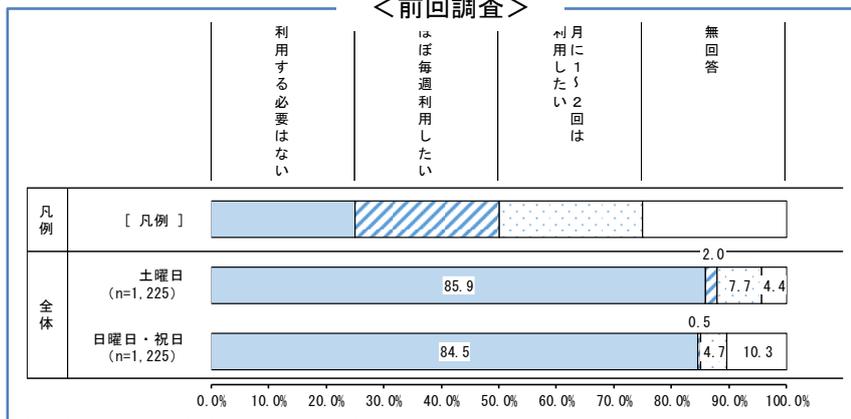
【土曜日／日曜日・祝日の学童クラブの利用意向】  
(小学生 問 16)



○土曜日／日曜日・祝日の学童クラブの利用意向について、「月に1～2回は利用したい」が土曜日は12.0%、日曜日・祝日は6.6%となっています。

○前回調査と比較すると、土曜日に「月に1～2回利用したい」のは7.7%から4.3ポイント上昇、日曜日・祝日に「月に1～2回利用したい」のは4.7%から1.9ポイント上昇しています。

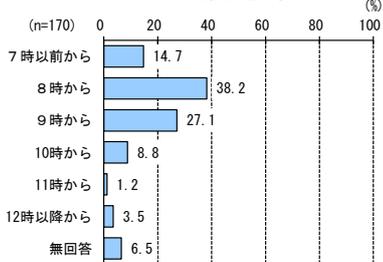
<前回調査>



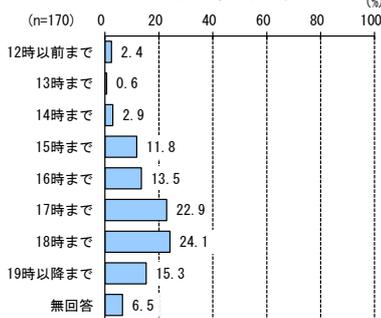
【学童クラブを利用したい時間帯】(小学生 問 16)

#### 土曜日

<利用開始時間>

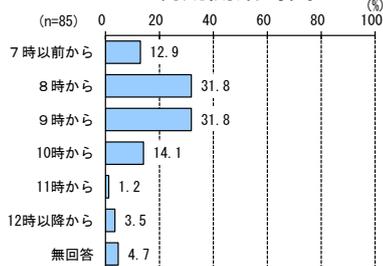


<利用終了時間>

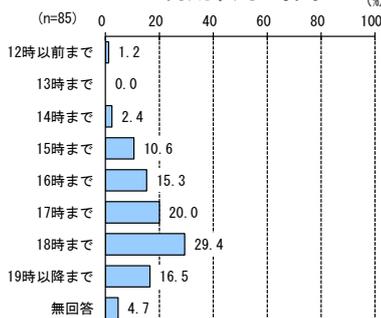


#### 日曜日・祝日

<利用開始時間>



<利用終了時間>

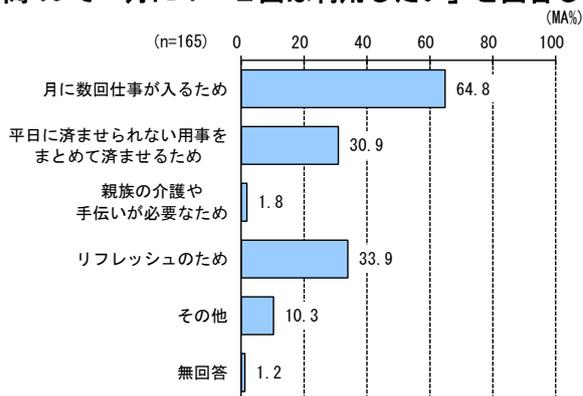


○学童クラブを利用したい時間帯について、土曜日では利用開始時間は「8時から」が38.2%で最も高く、次いで「9時から」が27.1%、利用終了時間は「18時まで」が24.1%で最も高く、次いで「17時まで」が22.9%となっています。

○日曜日・祝日では利用終了時間は「8時から」「9時から」が31.8%で最も高く、利用終了時間は「18時まで」が29.4%で最も高く、次いで「17時まで」が20.0%となっています。

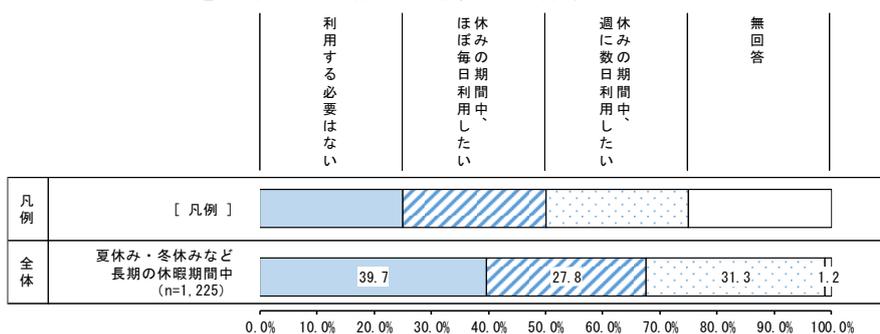
【月に1～2回利用したい理由(MA)】(小学生 問16-1)

問16で「月に1～2回は利用したい」と回答した方



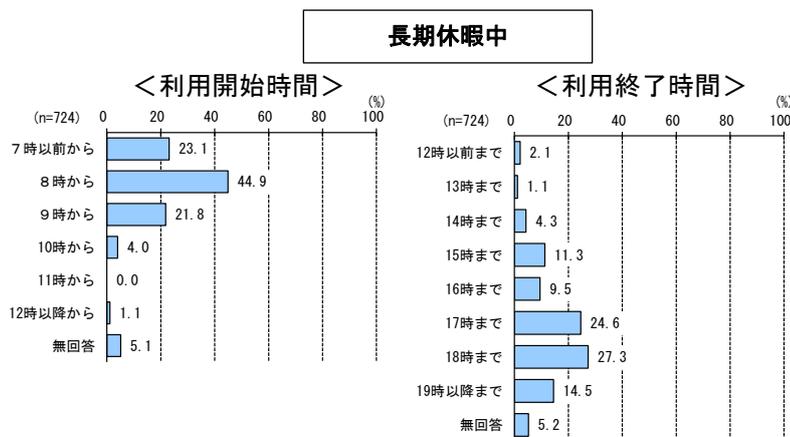
○月に1～2回は利用したい理由について、「月に数回仕事が入るため」が64.8%で最も高く、次いで「リフレッシュのため」が33.9%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が30.9%となっています。

【夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の学童クラブの利用意向】(小学生 問17)



○夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の学童クラブの利用意向について、「休みの期間中、週に数日利用したい」が31.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が27.8%となっています。

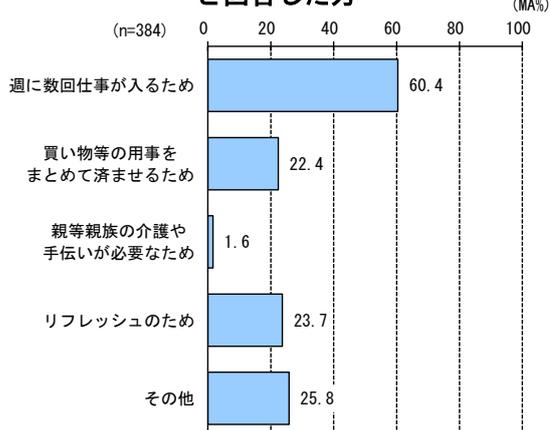
【学童クラブを利用したい時間帯】(小学生 問17)



○学童クラブを利用したい時間帯について、利用開始時間は「8時から」が44.9%で最も高く、次いで「7時以前から」が23.1%、利用終了時間は「18時まで」が27.3%で最も高く、次いで「17時まで」が24.6%となっています。

【週に数日利用したい理由(MA)】(小学生 問17-1)

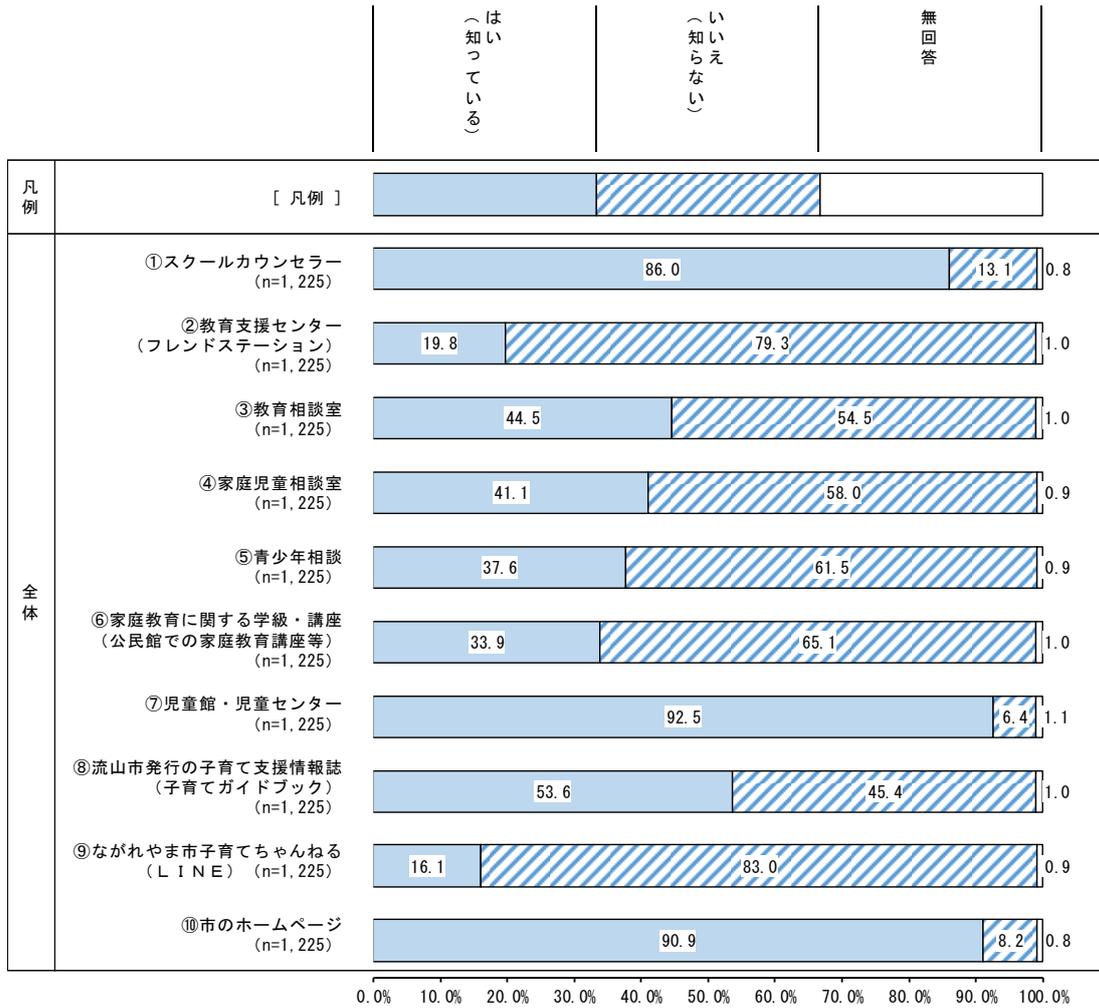
問17で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方



○週に数日利用したい理由について、「週に数回仕事が入るため」が60.4%で最も高く、次いで「リフレッシュのため」が23.7%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が22.4%となっています。

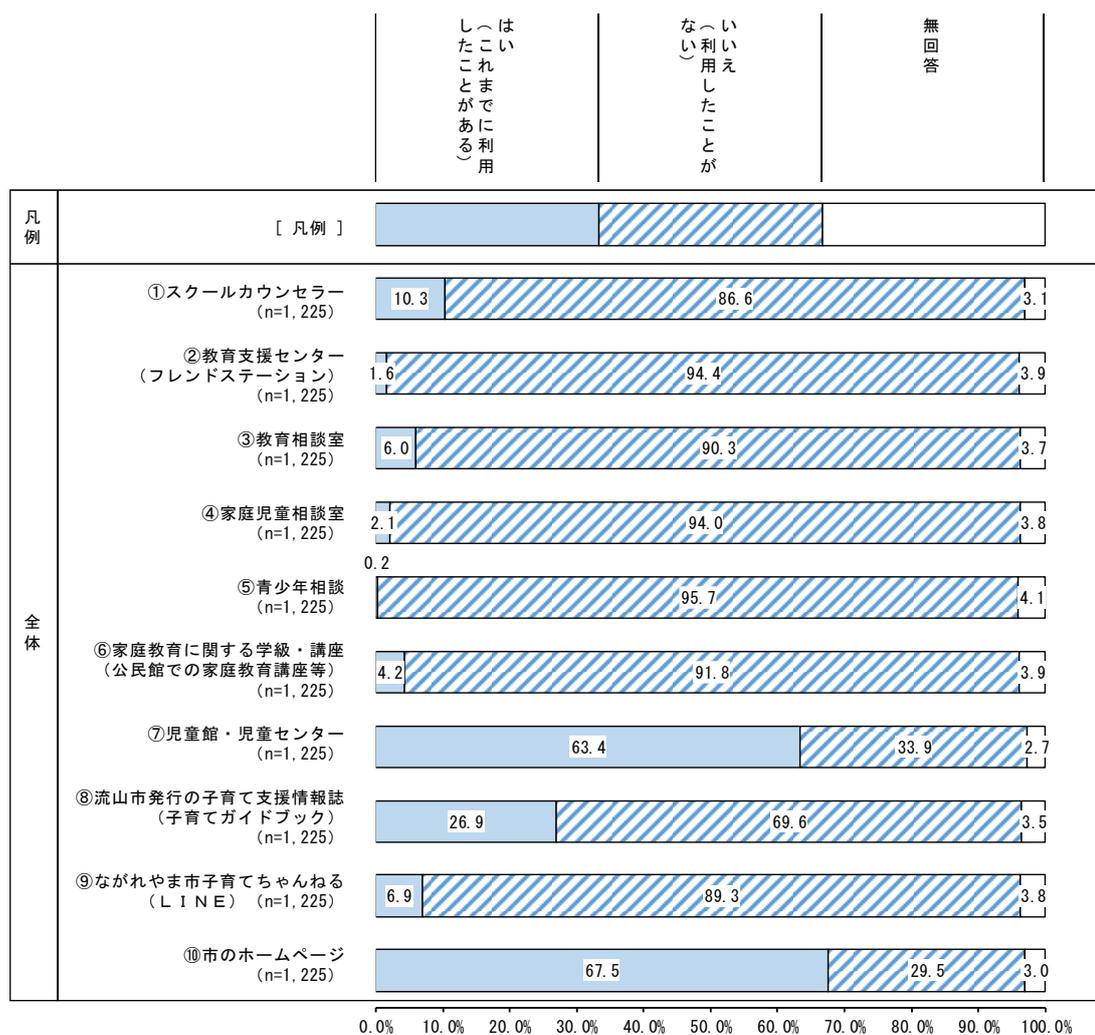
## (4) 地域の子育て支援事業の利用状況

【事業の認知度】(小学生 問 18-A)



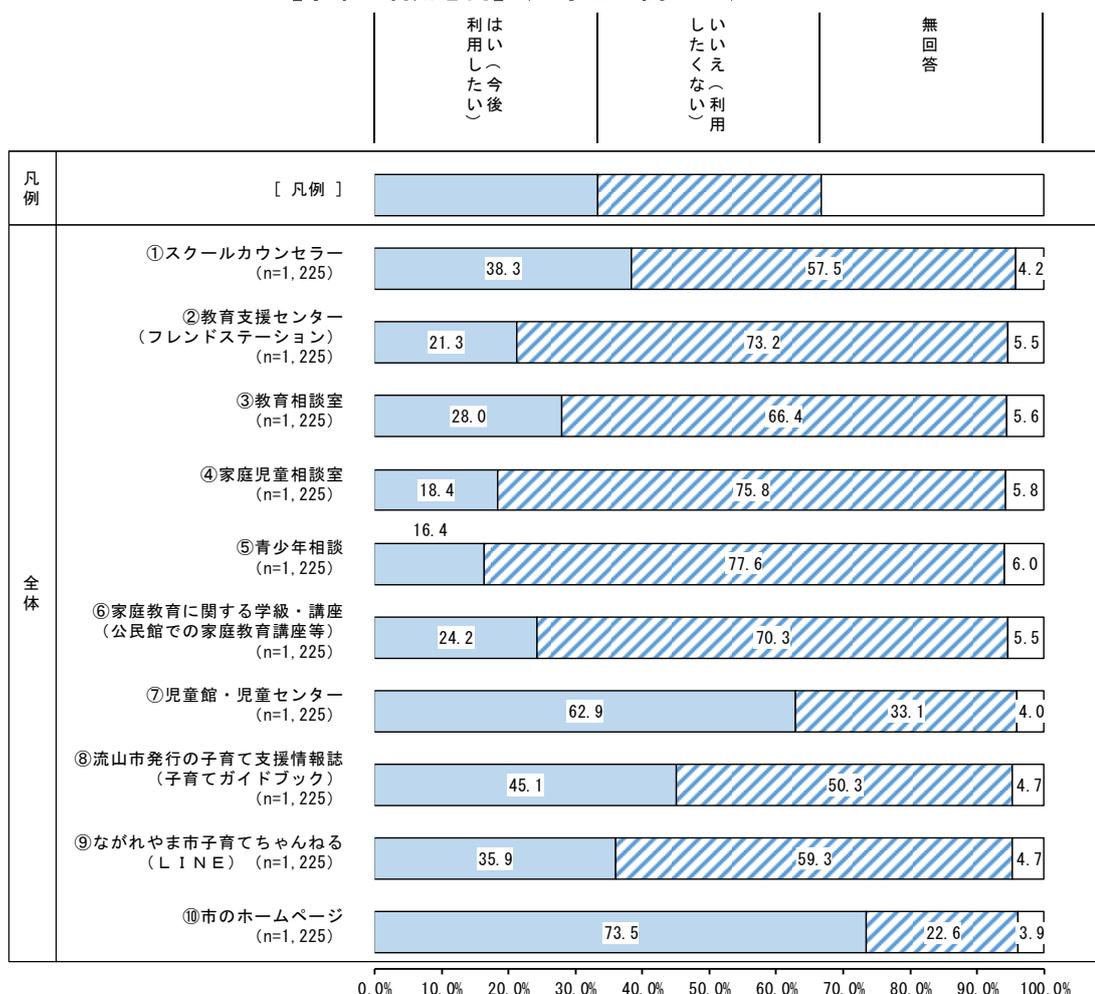
○事業の認知度について、はい（知っている）が最も高いのは⑦児童館・児童センター（92.5%）となっており、次いで、⑩市のホームページ（90.9%）、①スクールカウンセラー（86.0%）となっています。

### 【事業の利用経験】（小学生 問18-B）



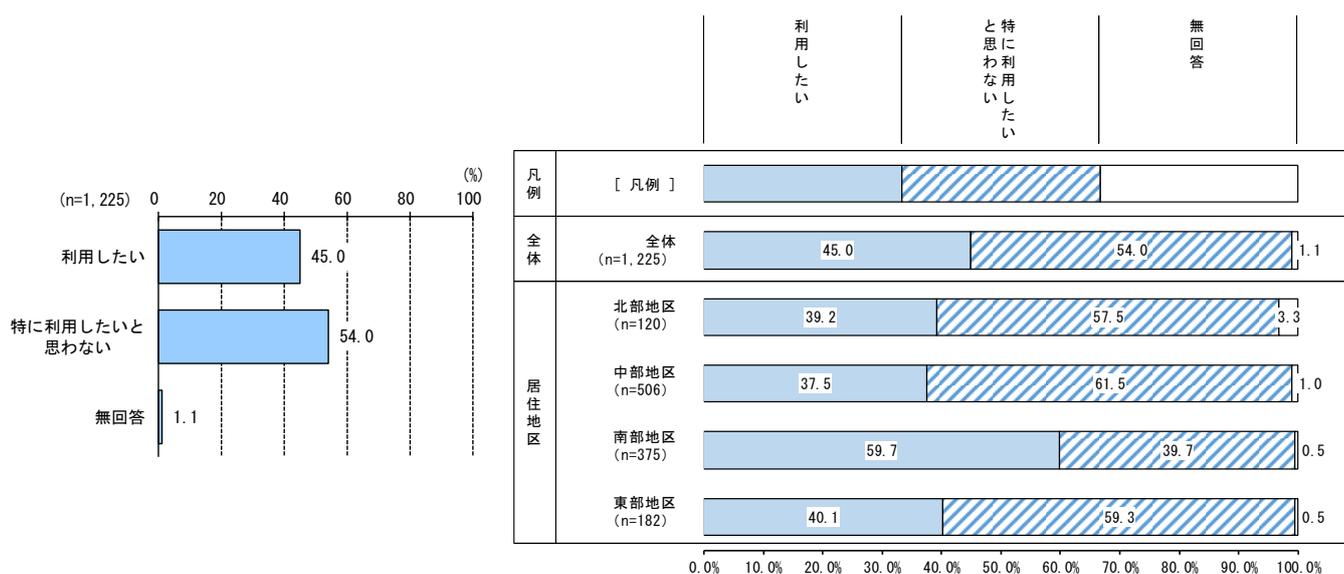
○事業の利用経験について、はい（これまで利用したことがある）が最も高いのは⑩市のホームページ（67.5%）となっており、次いで、⑦児童館・児童センター（63.4%）、⑧流山市発行の子育て支援情報誌（子育てガイドブック）（26.9%）となっています。

### 【事業の利用意向】（小学生 問 18-C）



○事業の利用意向について、はい（今後利用したい）が最も高いのは⑩市のホームページ（73.5%）となっており、次いで、⑦児童館・児童センター（62.9%）、⑧流山市発行の子育て支援情報誌（子育てガイドブック）（45.1%）となっています。

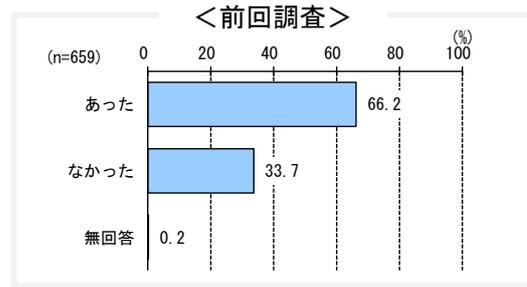
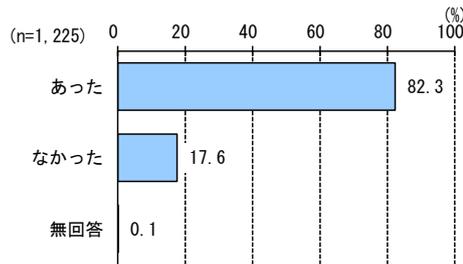
### 【日曜日・祝日の児童館・児童センターの利用意向】（小学生 問 19）



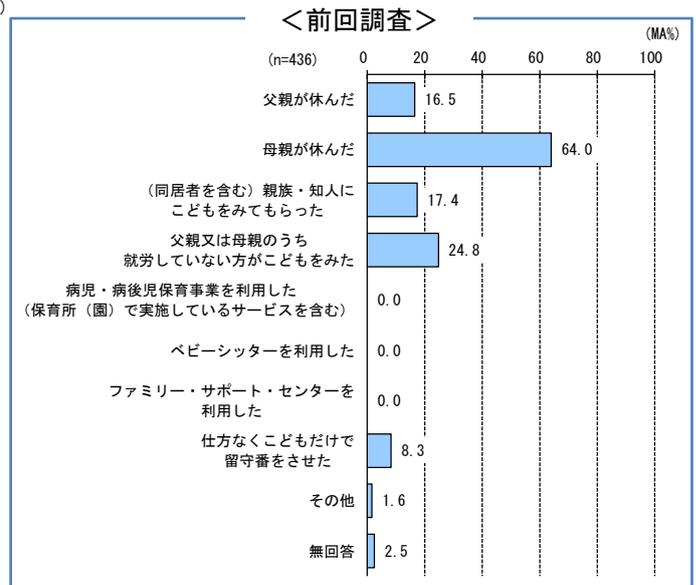
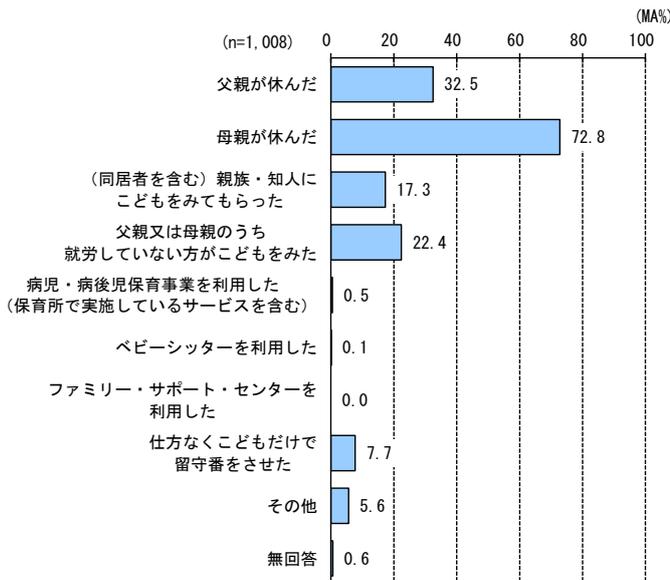
○日曜日・祝日の児童館・児童センターの利用意向について、「利用したい」は45.0%となっています。  
○居住地区別では、南部地区で「利用したい」が59.7%と、他の地区に比べて高くなっています。

## (5) 病気の際の対応

【病気やケガによるこどもの学校の欠席】(小学生 問20)



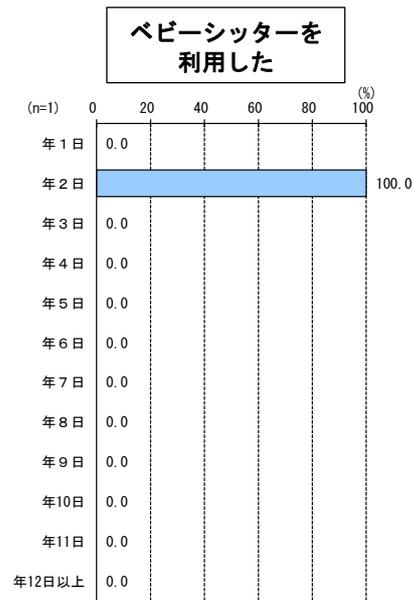
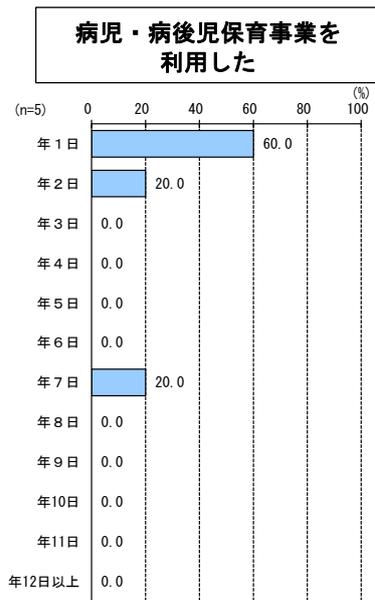
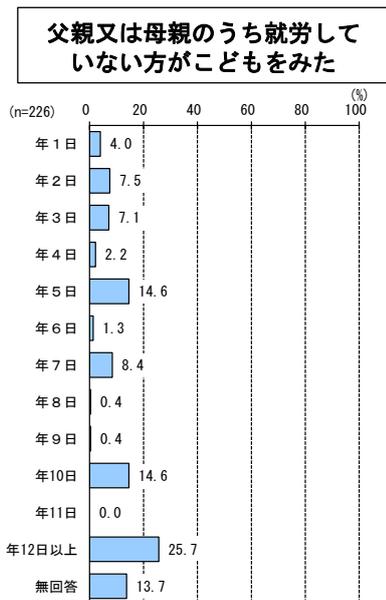
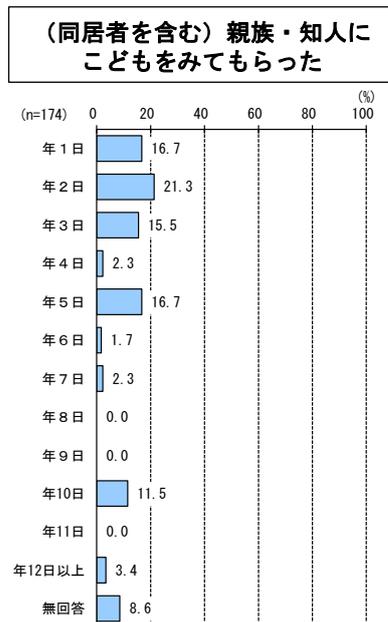
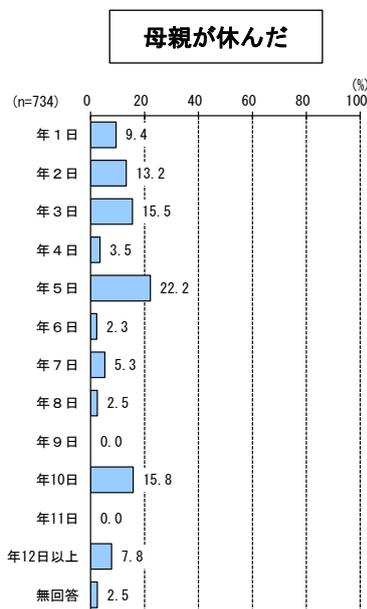
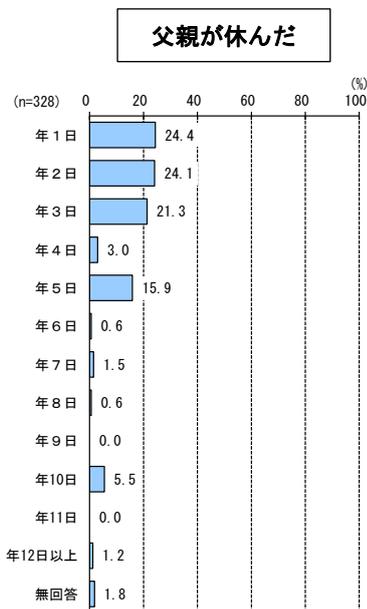
【学校の欠席で預かりサービス等が利用できなかった場合の対応 (MA)】  
(小学生 問20-1) 問20で「あった」と回答した方

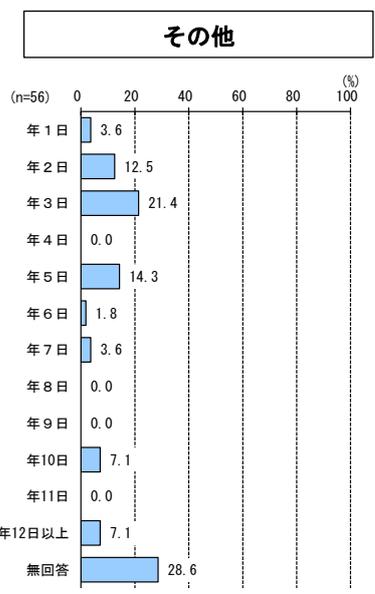
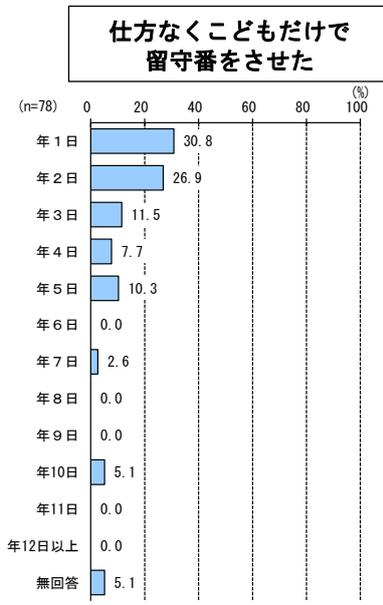


- 病気やケガによるこどもの学校の欠席が「あった」のは 82.3%となっています。前回調査と比較すると、「あった」のは 66.2%から 16.1ポイント上昇しています。
- そのうち、預かりサービス等が利用できなかった場合の対応について、「母親が休んだ」が 72.8%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が 32.5%、「父親又は母親のうち就労していない方がこどもをみた」が 22.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、「母親が休んだ」が 64.0%から 8.8ポイント、「父親が休んだ」が 16.5%から 16.0ポイント上昇しています。

【対応を行った日数】（小学生 問 20-1）

○対応を行った日数について、「父親が休んだ」「母親が休んだ」「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」のは、年5日以下の回答割合が高い傾向がみられます。「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」のは年12日以上が25.7%で最も高くなっています。

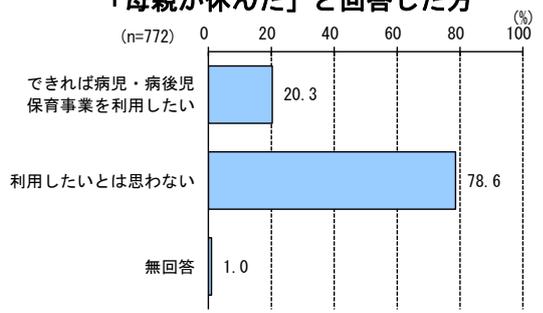




＜その他の内容＞抜粋  
 ○在宅で仕事をしながらみた。  
 ○パートの時間を調整し、必ず父母のどちらかが在宅している状況にした。  
 ○兄妹で留守番をさせた。

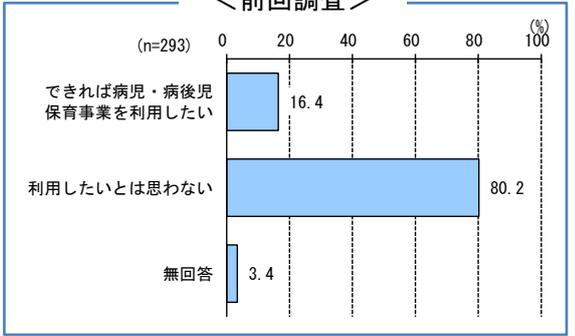
**【できれば病児・病後児保育施設等を利用したい】**  
 (小学生 問20-2)

問20-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した方



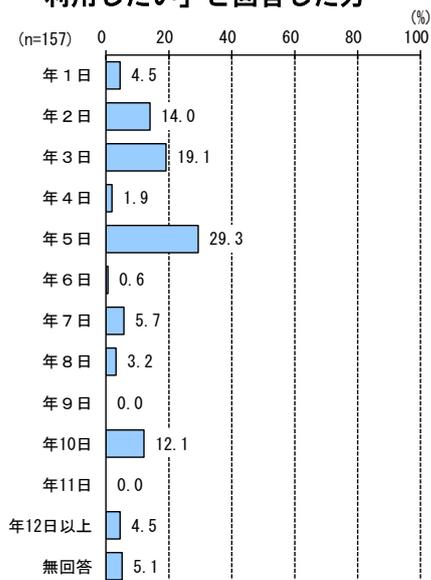
○できれば病児・病後児保育施設等を利用したいのは20.3%となっています。  
 ○前回調査と比較すると、できれば病児・病後児保育施設等を利用したいのは16.4%から3.9ポイント上昇しています。

**＜前回調査＞**



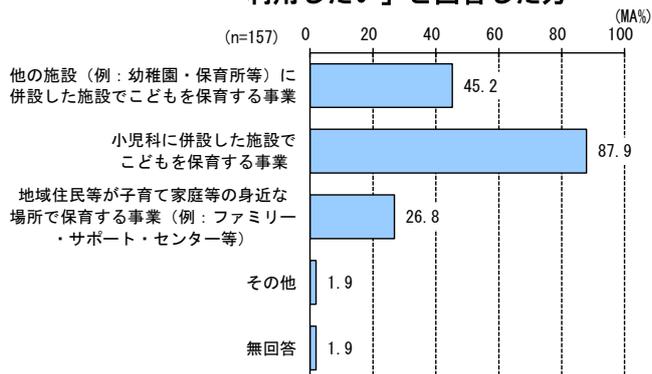
**【病児・病後児保育施設等で利用したい日数】**  
(小学生 問 20-2)

問 20-2 で「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」と回答した方



**【病児・病後児保育施設等で望ましい事業形態 (MA)】**  
(小学生 問 20-3)

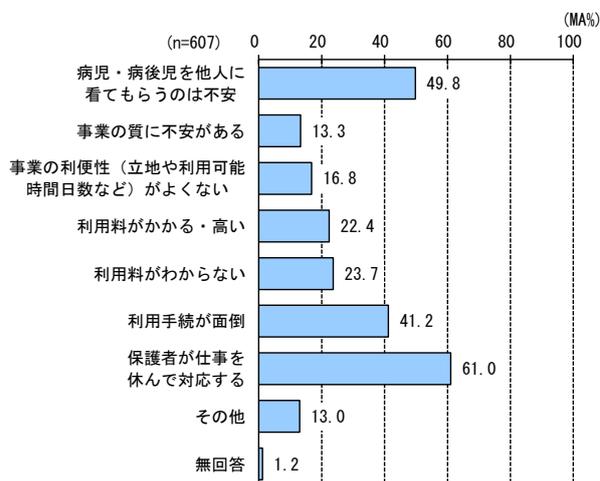
問 20-2 で「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」と回答した方



○病児・病後児保育施設等を利用したい日数について、「年 5 日」が 29.3%で最も高く、次いで「年 3 日」が 19.1%、「年 2 日」が 14.0%となっています。

○病児・病後児保育施設等で望ましい事業形態について、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 87.9%で最も高く、次いで「他の施設 (例: 幼稚園・保育所等) に併設した施設で子どもを保育する事業」が 45.2%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等)」が 26.8%となっています。

**【病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 (MA)】 (小学生 問 20-4)**  
問 22-2 で「利用したいとは思わない」と回答した方

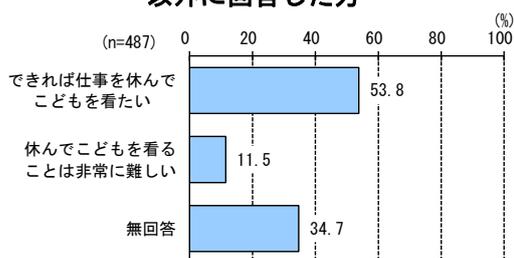


○病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由について、「保護者が仕事を休んで対応する」が 61.0%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 49.8%、「利用手続が面倒」が 41.2%となっています。

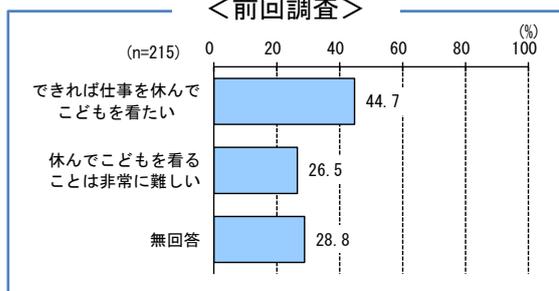
**【できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい】**

(小学生 問 20-5)

問 20-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」  
以外に回答した方



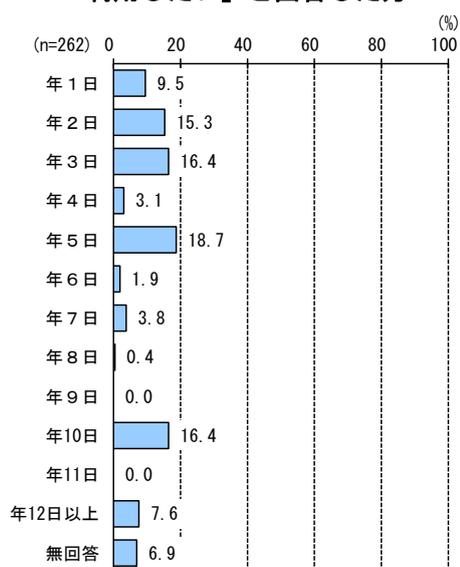
**< 前回調査 >**



**【仕事を休んで子どもを看たい日数】**

(小学生 問 20-5)

問 20-5 で「できれば病児・病後児保育事業を利用したい」と回答した方

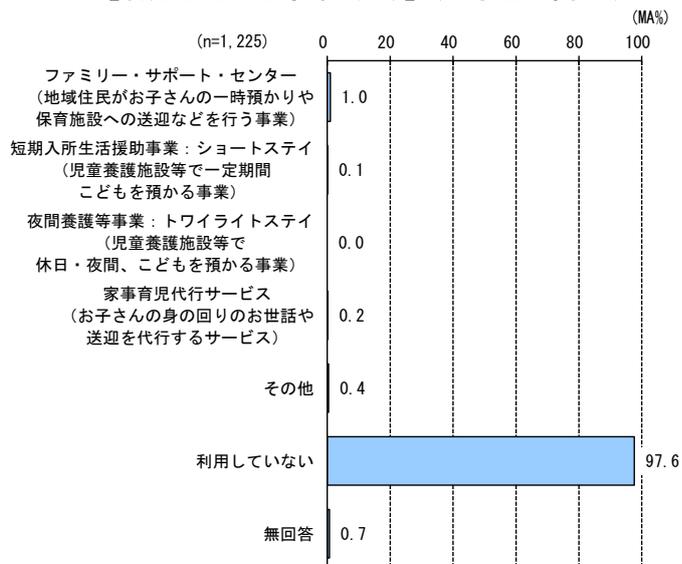


○できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいのは、53.8%となっています。前回調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」のは 44.7%から 9.1 ポイント上昇し、「仕事を休んで子どもを看るとは非常に難しい」のは 26.5%から 15.0 ポイント低下しています。

○仕事を休んで子どもを看たい日数について、「年 5 日」が 18.7%で最も高く、次いで「年 3 日」「年 10 日」が 16.4%、「年 2 日」が 15.3%となっています。

## (6) 一時的預かり等の利用状況

### 【利用している事業 (MA)】(小学生 問 21)

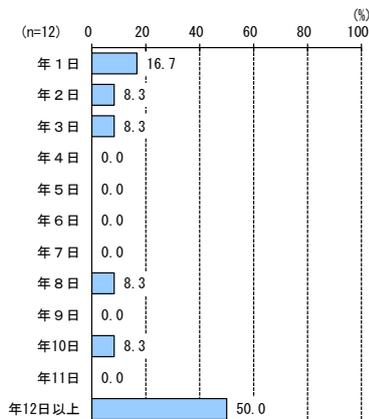


○一時預かり等の事業のうち、利用しているのが最も多いのは、「ファミリー・サポート・センター」となっています。また、「利用していない」が 97.6%となっています。

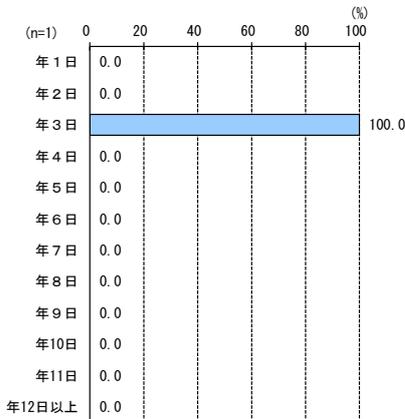
### 【利用している日数】(小学生 問 21)

○利用している日数について、「ファミリー・サポート・センター」では年 12 日以上回答割合が高い傾向がみられます。

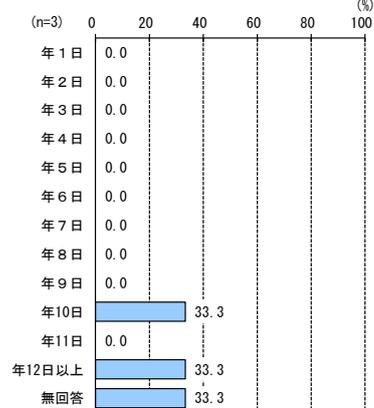
#### ファミリー・サポート・センター



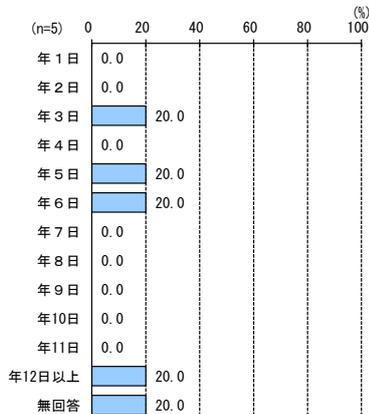
#### 短期入所生活援助事業：ショートステイ



#### 家事育児代行サービス



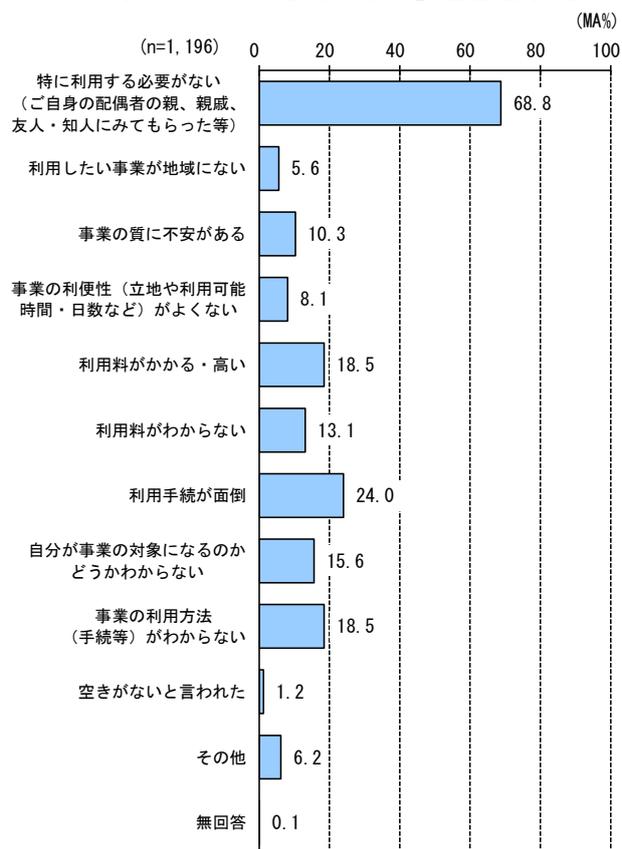
#### その他



#### <その他の内容>

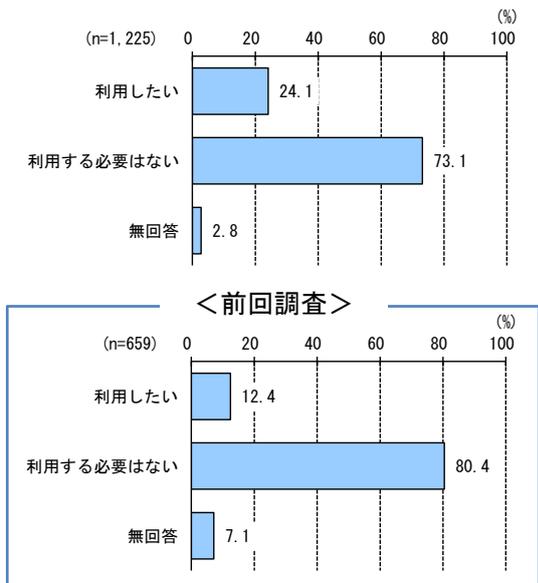
- 児童センター、保育園、一時預かり
- 放課後デイサービス
- 民間の幼児教室
- 友人宅

【一時預かり等を利用していない理由（MA）】（小学生 問 21-1）  
問 21 で「利用していない」と回答した方

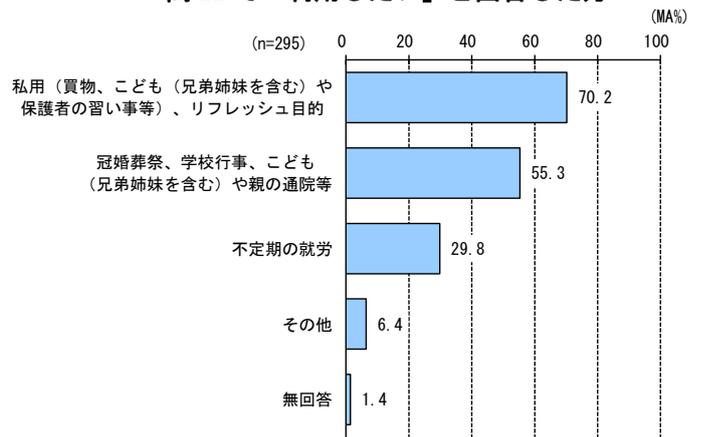


○一時預かり等を利用していない理由について、「特に利用する必要がある（ご自身の配偶者の親、親戚、友人・知人にみてもらった等）」が 68.8%で最も高く、次いで「利用手続が面倒」が 24.0%、「利用料がかかる・高い」「事業の利用方法（手続等）がわからない」が 18.5%となっています。

【一時預かり等事業の利用希望】（小学生 問 22）

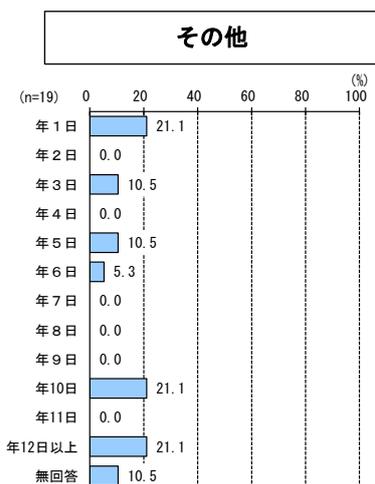
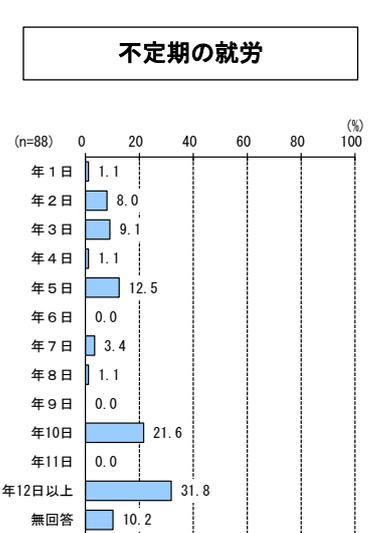
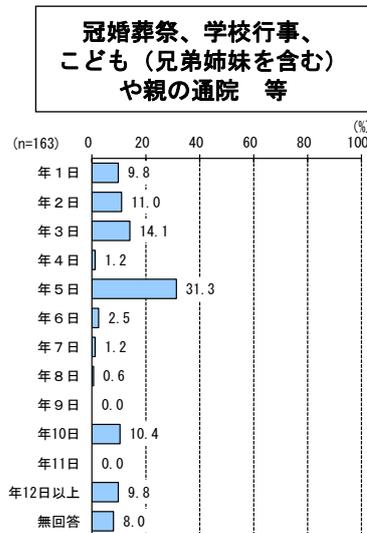
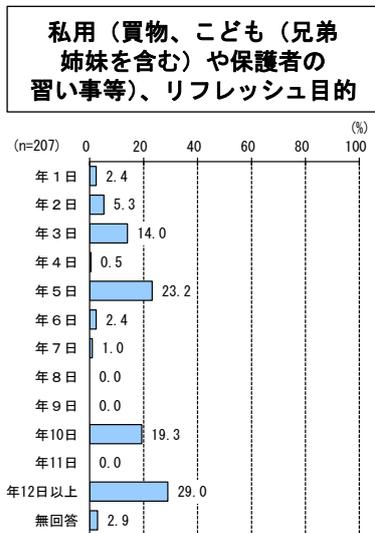


【事業の利用目的】（小学生 問 22）  
問 22 で「利用したい」と回答した方



- 一時預かり等の事業を利用したいのは24.1%となっています。前回調査と比較すると、「利用したい」は12.4%から11.7ポイント上昇しています。
- 事業を利用する目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的」が70.2%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が55.3%となっています。

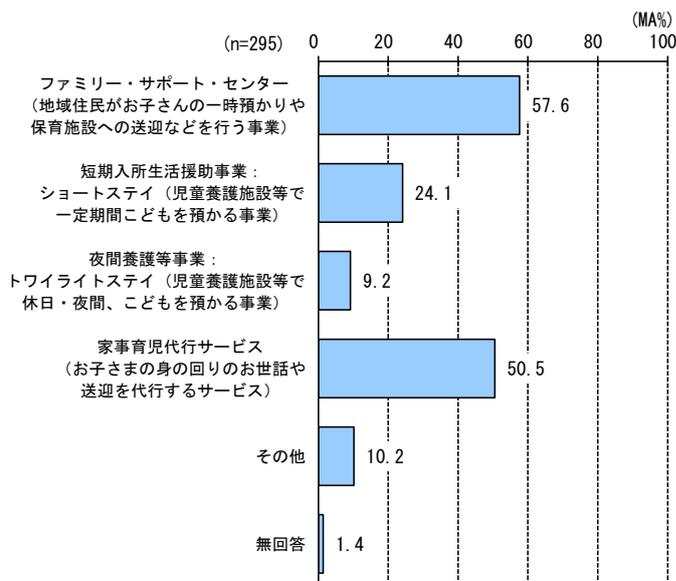
【利用したい日数】（小学生 問 22）  
問 22 で「利用したい」と回答した方



○利用したい日数について、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的」「不定期の就労」では「年12回以上」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」では「年5回」が最も高くなっています。

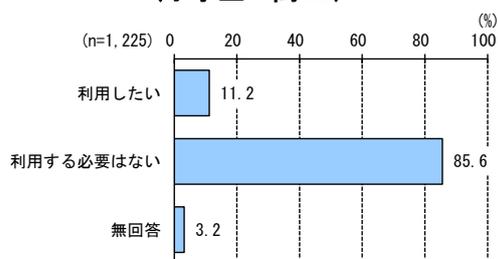
- <その他の内容>抜粋
- 自分が病気になった時
  - 祖父母の生活フォロー、介護
  - 黙々と家事を済ませたい

**【一時預かり等で望ましい事業形態（MA）】（小学生 問 22-1）**  
問 22 で「利用したい」と回答した方



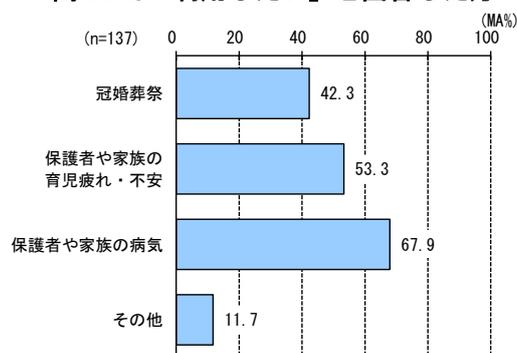
○一時預かり等で望ましい事業形態について、「ファミリー・サポート・センター」が57.6%で最も高く、次いで「家事育児代行サービス」が50.5%、「短期入所生活援助事業：ショートステイ」が24.1%となっています。

**【泊りがけでの一時預かり等事業の利用希望】**  
(小学生 問 23)

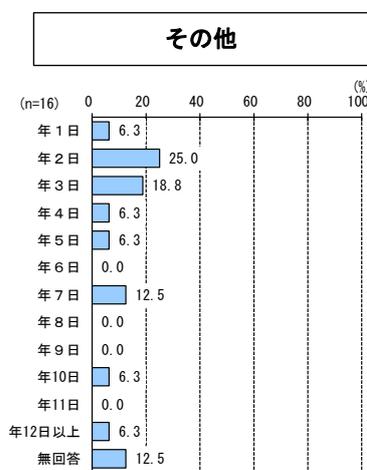
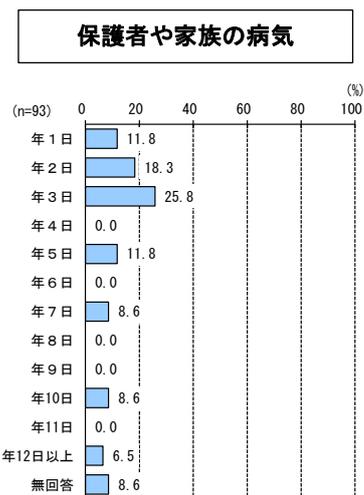
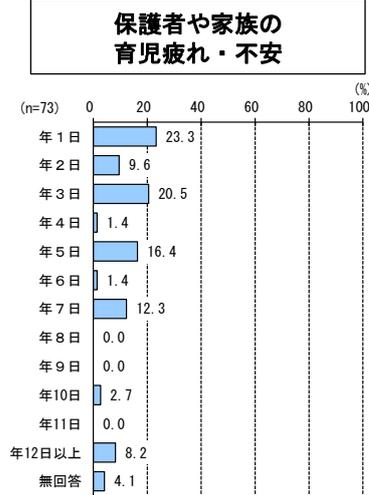
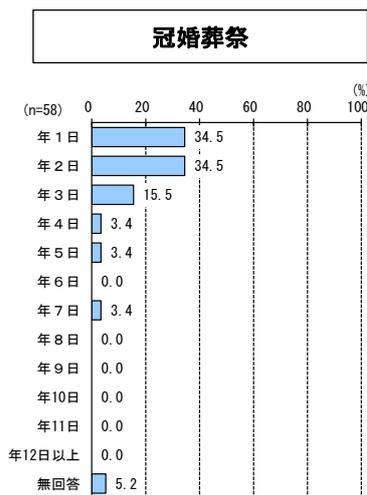


○泊りがけでの一時預かり等の事業を利用したいのは11.2%となっています。  
○事業を利用する目的は、「保護者や家族の病気」が67.9%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が53.3%、「冠婚葬祭」が42.3%となっています。

**【事業の利用目的】（小学生 問 23）**  
問 23 で「利用したい」と回答した方



【利用したい日数】(小学生 問23)  
問23で「利用したい」と回答した方

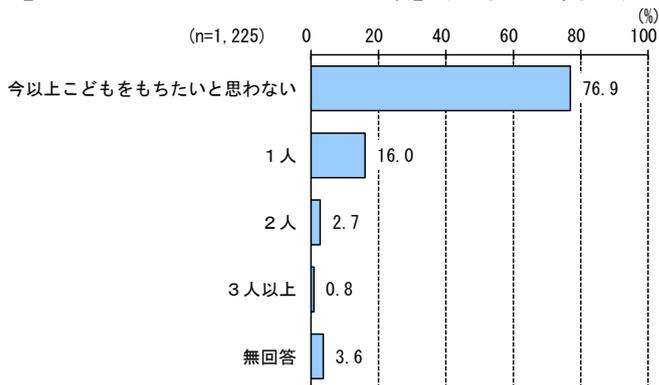


○利用したい日数について、「冠婚葬祭」では年3日以下が合わせて 84.5%、「保護者や家族の病気」では年3日以下が合わせて 55.9%となっています。「保護者や家族の育児疲れ・不安」では年3日以下が合わせて 50%を超えているほか、「年5回」「年7回」が10%を超えています。

- <その他の内容>
- その時の状況次第
  - 詳しくはわからない

## (7) 理想の人数のこどもを育てるために必要な支援

### 【これからもちたいこどもの人数】(小学生 問 24)



○これからもちたいこどもの人数について、「1人」が16.0%、「2人」が2.7%、「3人以上」が0.8%となっています。また、「今以上こどもをもちたいと思わない」が76.9%となっています。

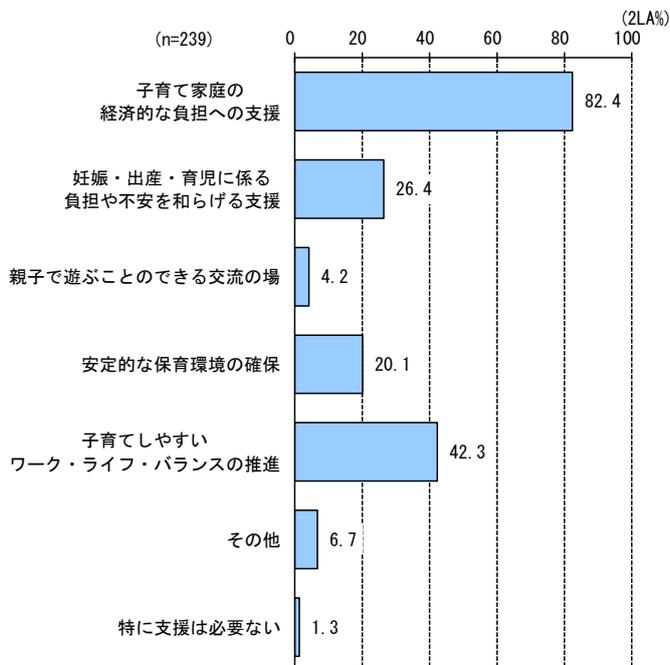
### 【今以上こどもをもちたいと思わない理由】(小学生 問 24)

#### 問 24 で「今以上こどもをもちたいと思わない」と回答した方

- 1人で十分。
- 2人でとても満足している／2人で精一杯
- 3人でとても満足している／3人で精一杯
- 経済的に余裕がない。
- 体力的に難しい。
- 年齢的に出産は難しい。
- 産休育休でキャリアを中断したくない。
- 仕事をしながらの育児は今のこどもで手一杯。時短勤務は給与が減るので、フルタイムにしようとする時間がなくなる。
- こどもを育てたいと思う支援がなく、家庭の負担が大きい。
- 現在の間取りでは手狭。

### 【これからこどもをもつために必要な支援 (2LA)】

#### (小学生 問 24-2) 問 24 で「1人」以上と回答した方



○これからこどもをもつために必要な支援について、「子育て家庭の経済的な負担への支援」が82.4%で最も高く、次いで「子育てしやすいワーク・ライフ・バランスの推進」が42.3%、「妊娠・出産・育児に係る負担や不安を和らげる支援」が26.4%となっています。

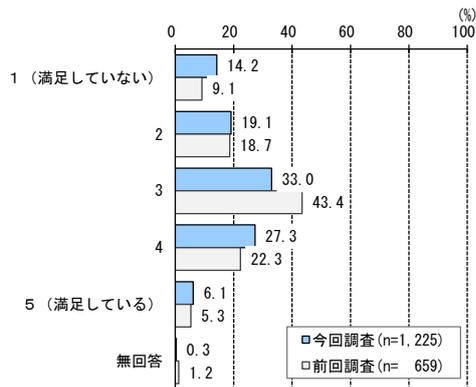
## (8) 流山市の子育ての環境や支援

### 【流山市における子育ての環境や支援への満足度】(小学生 問 25)

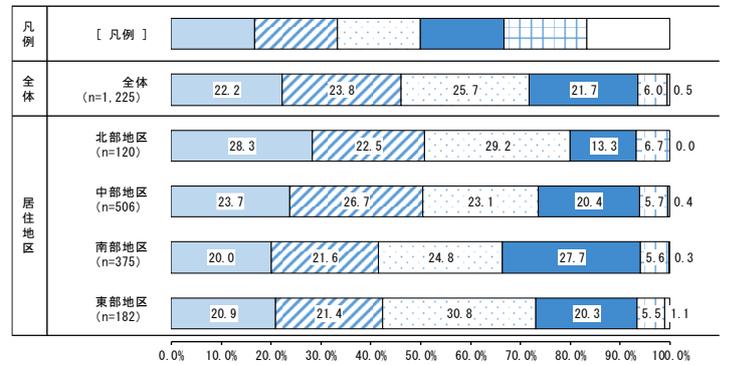
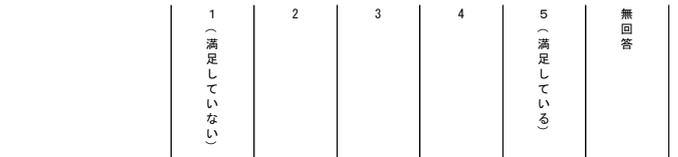
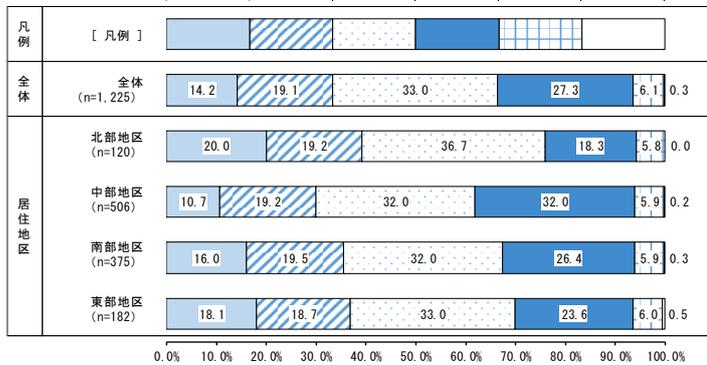
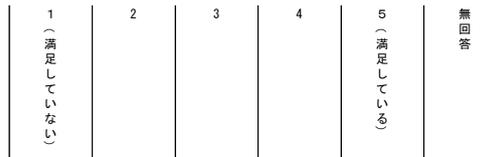
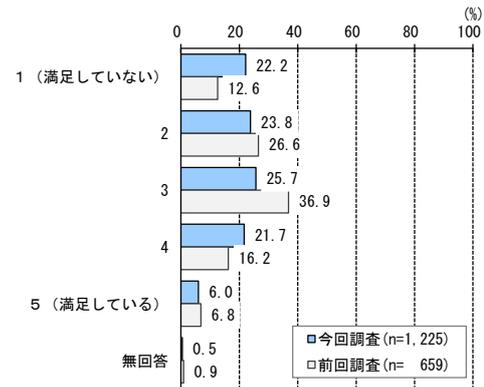
○流山市における子育ての環境や支援への満足度について、4及び5（満足している）を合わせた割合が最も高いのは、流山市の教育・保育施設の設備・環境の34.8%で、次いで流山市の子育ての環境や支援の33.4%となっています。

○一方、流山市のこどもの遊べる施設等（公園・児童館・プール等）の設備・環境（22.7%）及び流山市の医療機関等の設備・環境（27.7%）では、4及び5（満足している）を合わせた割合が30%を下回っています。

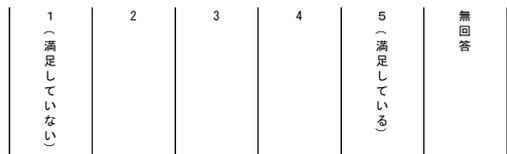
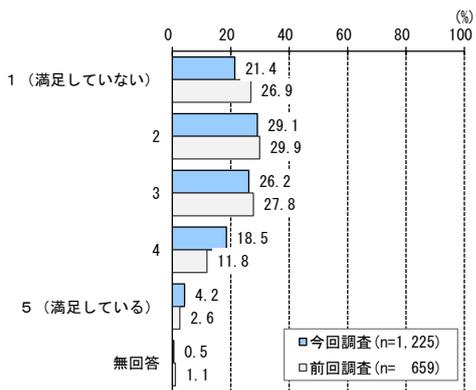
＜流山市の子育ての環境や支援への満足度＞



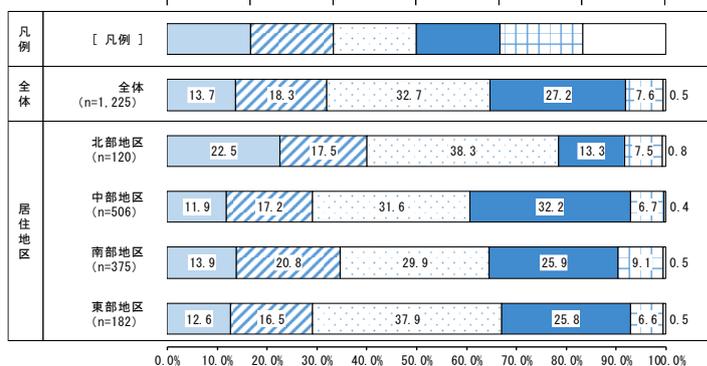
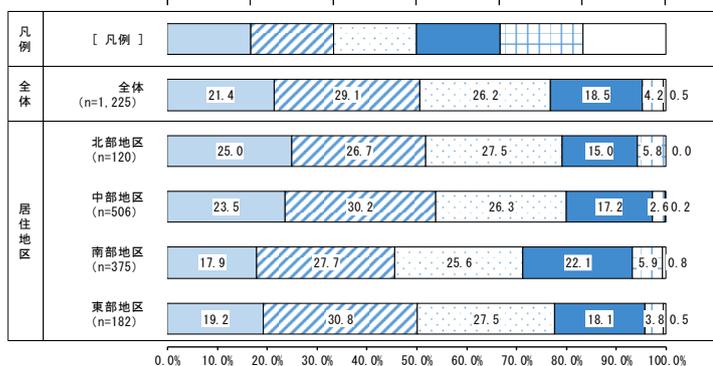
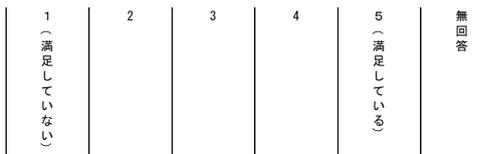
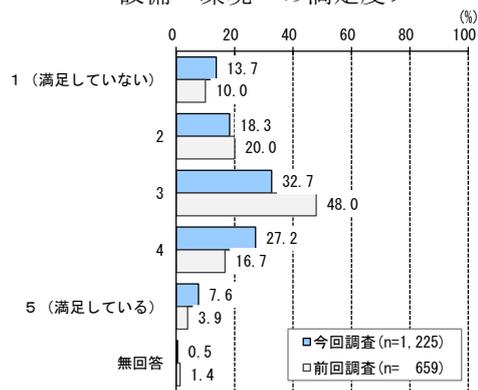
＜流山市の医療機関等の設備・環境への満足度＞



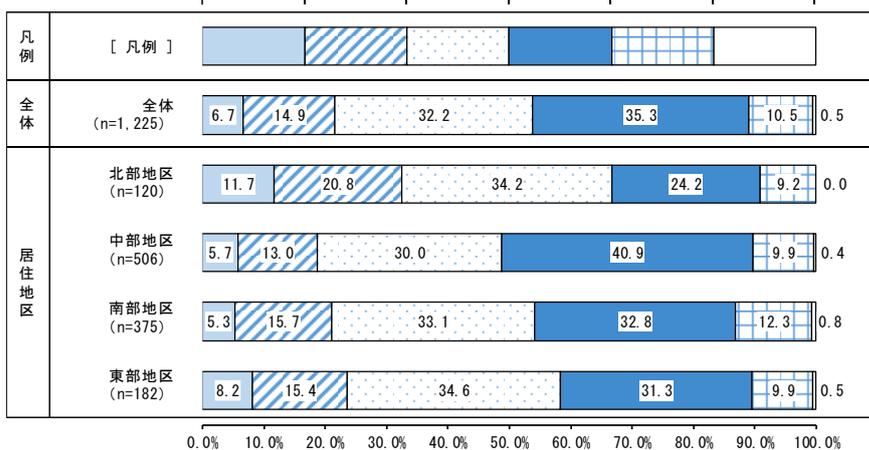
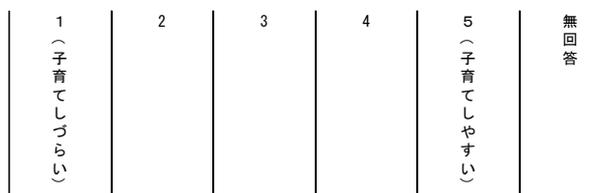
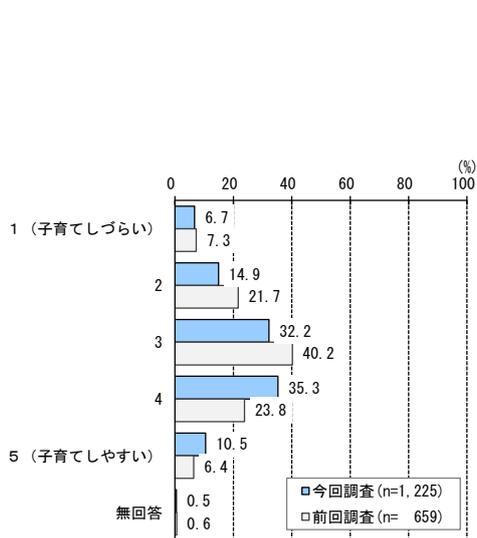
<流山市のこどもの遊べる施設等（公園・児童館・プール等）の設備・環境への満足度>



<流山市の教育・保育施設の設備・環境への満足度>

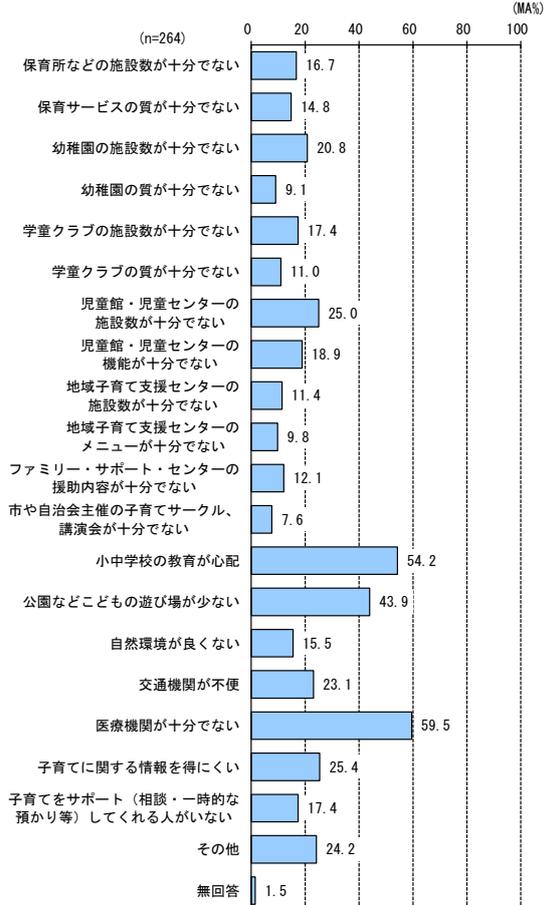


【流山市は子育てしやすい街だと思う】(小学生 問26)

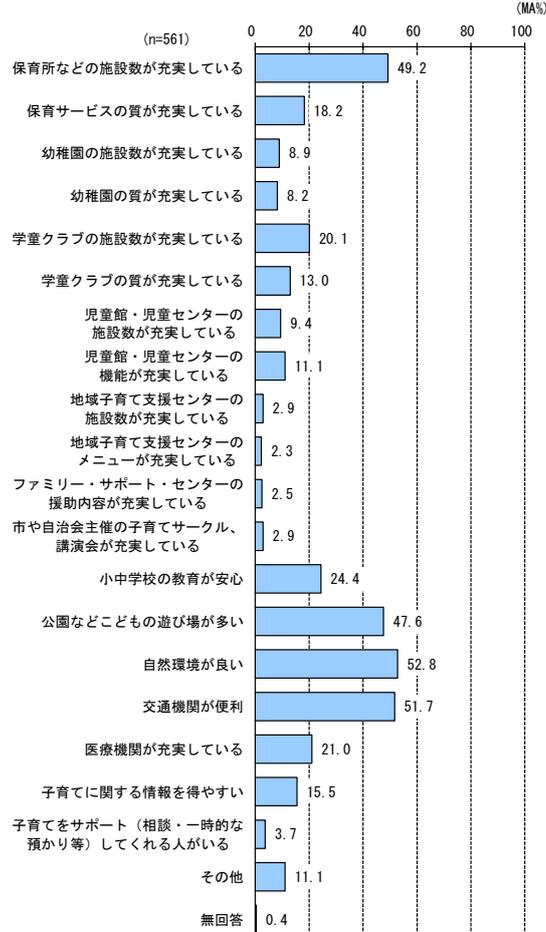


- 流山市は子育てしやすい街だと思う度合いについて、4及び5（子育てしやすい）を合わせた割合は45.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、4及び5（子育てしやすい）を合わせた割合は30.2%から15.6ポイント上昇しています。
- 居住地区別にみると、4及び5（子育てしやすい）を合わせた割合は中部地区（50.8%）が最も高く、北部地区では33.4%と他の地区に比べて低くなっています。

【子育てしづらいと思う理由】(小学生 問 26-1)  
問 26 で「1、2 (子育てしづらい)」と回答した方



【子育てしやすいと思う理由】(小学生 問 26-2)  
問 26 で「4、5 (子育てしやすい)」と回答した方



○子育てしづらいと思う理由について、「医療機関が十分でない」が59.5%で最も高く、次いで「小中学校の教育が心配」が54.2%、「公園などこどもの遊び場が少ない」が43.9%となっています。

○子育てしやすいと思う理由について、「自然環境が良い」が52.8%で最も高く、次いで「交通機関が便利」が51.7%、「保育所などの施設数が充実している」が49.2%となっています。